

ANNUAL REPORT

平成27年度

長崎県美術館年報

Nagasaki Prefectural Art Museum ANNUAL REPORT 2015

No. 10

目次

1. 沿革・主な出来事	2
2. 利用者数一覧	3
3. 展覧会事業	
1) 企画展	4
2) コレクション展	32
4. 教育普及・生涯学習事業	51
5. 補助金等による事業	69
6. 収集事業	71
7. 保存・修復事業	72
8. 作品貸出記録	73
9. 調査・研究事業	74
10. アートボランティア事業	88
11. 広報マーケティング事業	93
12. イベント等	101
13. 貸施設事業	104
14. ショップ、カフェ	107
15. 収支	108
16. 組織	110
17. 建築概要	112
18. 基本理念	112
19. 関係法規	113

1. 沿革・主な出来事

1) 沿革・主な出来事

- 平成12年11月 「諏訪の森再整備に関する基本方針」を長崎県・長崎市で公表
- 平成13年1月 長崎県新美術館基本構想専門家会議設置
- 平成13年4月 長崎県新美術館（仮称）建設基本構想（案）公表
（4～6月、構想（案）に対するパブリックコメント募集）
- 平成13年7月 長崎県新美術館（仮称）建設基本構想策定
- 平成13年10月 公募型プロポーザルの結果、「株式会社日本設計／協力：隈研吾」を設計者に決定
- 平成14年1月 環長崎港地域アーバンデザイン専門家会議との協議（同年4、7、10月）
- 平成14年3月 長崎県新美術館（仮称）美術館機能検討会議設置
- 平成14年10月 建築設計完了
- 平成15年3月 着工
- 平成15年10月 美術館条例制定
- 平成16年1月 財団法人長崎ミュージアム振興財団設立
- 平成16年4月 長崎県美術館指定管理者開始
伊東順二館長就任
- 平成16年11月 スペイン国立プラド美術館にて、プラド美術館との交流に関する覚書を締結
- 平成17年4月 開館
- 平成17年6月 「マーブルアーキテクチャーアワード2005 イーストアジア1等賞」受賞
- 平成17年10月 「グッドデザイン賞 建築・環境デザイン部門」受賞
- 平成17年12月 「ランドスケープライティングアワード2005 建築外構照明部門 部門最優秀賞」受賞
- 平成18年2月 「2005長崎市都市景観賞：大きな建物部門」受賞
- 平成18年5月 「平成17年度プレストレストコンクリート技術協会賞（作品部門）」受賞
「平成17年度照明普及賞（優秀施設賞）」受賞
- 平成18年6月 「2006ILDA 賞（国際部門）」入賞
- 平成18年10月 「第14回 CS デザイン賞（サイン部門）」受賞
「カサ・アジア賞」受賞
「日本建築士連合会賞」受賞
- 平成18年11月 「第47回建築業協会（BCS）賞」受賞
- 平成18年12月 「第40回 SDA 賞 公共サイン・システムサイン部門（奨励賞）」受賞
- 平成19年3月 入館者100万人達成
- 平成19年4月 米田耕司館長就任
- 平成19年5月 「日本建築家協会賞」受賞
- 平成20年1月 「2007きゅうでんイルミネーションコンテスト in Nagasaki（団体部門特別賞）」受賞
- 平成21年4月 指定管理者第2期開始
- 平成21年9月 入館者200万人達成
- 平成21年10月 皇太子殿下行啓
- 平成22年4月 開館5周年記念「プラド美術館所蔵 エル・グレコ《聖母戴冠》特別展示」開催
- 平成22年6月 公益財団法人長崎ミュージアム振興財団設立
- 平成22年7月 海フェスタながさき「海の総合展」に秋篠宮ご夫妻お成り
- 平成23年8月 釜山市立美術館との交流に関する協定書を締結
- 平成24年8月 入館者300万人達成
- 平成25年4月 自主企画展「現代スペイン・リアリズムの巨匠 アントニオ・ロペス展」全国巡回
- 平成25年9月 釜山市立美術館で「長崎県美術館所蔵品展 スペイン／長崎」開催
- 平成26年11月 「釜山市立美術館所蔵品展 路地に建てられた都市―釜山」開催
- 平成27年2月 入館者400万人達成
- 平成27年4月 開館10周年記念「プラド美術館所蔵 スペイン黄金世紀の静物画―ボデゴンの神秘」開催

2) 会議ほか

- (1) 理事会／第1回5月13日、第2回7月30日、第3回11月17日、第4回3月2日
- (2) 評議員会／第1回5月27日、第2回12月3日、第3回3月9日
- (3) 県民ギャラリー利用審査会／11月4日
- (4) スペイン美術アドバイザーボード／11月15日
- (5) 長崎県美術資料収集委員会／第1回4月6日、第2回1月19日
- (6) 長崎県美術資料価格評価委員会／第1回4月10日、第2回1月31日

2. 利用者数一覧

平成27年度入館者実績

単位：人

	総入館者			有料入館者			無料入館者		
	計画	実績	対比	計画	実績	対比	計画	実績	対比
企画展	131,000	101,473	77.5%	105,400	76,252	72.3%	25,600	25,221	98.5%
常設展	60,000	55,056	91.8%	49,000	36,582	74.7%	11,000	18,474	167.9%
教育普及	30,000	31,749	105.8%	—	—	—	—	—	—
県民ギャラリー等	205,000	224,698	109.6%	—	—	—	—	—	—
*重複調整	△26,000	△23,750	91.3%	—	—	—	—	—	—
合計	400,000	389,226	97.3%	154,400	112,834	73.1%	36,600	43,695	119.4%

3. 展覧会事業

1) 企画展

藤城清治 聖なる光

平成27年4月1日(水)～5月31日(日) *59日間 会場：企画展示室

概要：

長崎県美術館の開館10周年を記念して開催した、日本を代表する影絵作家・藤城清治（1924-）の6年ぶり2度目の個展。モノクロで制作された初期の影絵や油彩画から、長崎に取材したものを含む最新作まで約230点を展示し、91歳を迎えてなお旺盛な作家活動の全貌に迫る展覧会となった。

開催形態：共催展（受託方式）

運営体制：

主催：長崎新聞社、長崎県美術館

共催：長崎県、NBC 長崎放送、KTN テレビ長崎、NCC 長崎文化放送、NIB 長崎国際テレビ

協賛：佐世保玉屋、大誠ハウス、昭和堂、長崎外国語大学

協力：藤城清治事務所、HORIPRO、藤城清治美術館 那須高原、長崎県医師会、長崎新聞販売センター

後援：長崎市、長崎県教育委員会、長崎市教育委員会、エフエム長崎、長崎ケーブルメディア、長崎県立長崎図書館、長崎市立図書館、長崎県美術協会、長崎県社会福祉協議会、長崎商工会議所、長崎県PTA 連合会、長崎県校長会、長崎県国公立幼稚園協会、長崎県私立幼稚園連合会、長崎市私立幼稚園協会、長崎県保育協会、長崎市保育会、長崎県青少年育成県民会議、長崎県子ども会育成連合会、長崎県学童保育連絡協議会、長崎県民生委員児童委員協議会、長崎県地域婦人団体連絡協議会、長崎いのちを大切に作る会、長崎県子ども劇場連絡会、長崎県老人福祉施設協議会、長崎県観光連盟、長崎国際観光コンベンション協会、軍艦島を世界遺産にする会、長崎県歯科医師会、長崎県看護協会、長崎県薬剤師会、JR九州長崎支社、長崎電気軌道、長崎県バス協会、長崎県タクシー協会、長崎県書店商業組合、長崎県理容生活衛生同業組合、長崎県生活協同組合連合会、生活協同組合ララコープ、長崎大学生協同組合、長崎花市場、長崎花商協同組合、長崎県花き振興協議会、長崎県水彩画協会ほか（順不同）

観覧料：

一般1,400 (1,200) 円、高校・大学1,000 (800) 円、小学・中学700 (500) 円

※（ ）内は、前売券および15名以上の団体料金



入場者数：45,855人（一日あたり、約777人）

出品点数：222点（会期中のレイアウト変更作業に伴う追加資料約10点を除く）

関連事業：

(1)藤城清治トークショー「聖なる光」（無料／要観覧券＋整理券）

日時：4月1日(水) 16：00～

出演：藤城清治、米田耕司

会場：ホール

参加人数：100名

(2)藤城清治氏サイン会（無料／要観覧券＋整理券）

日時：5月5日(火・祝)、6日(水・祝)、30日(土) 13：30～

会場：橋の回廊（2F カフェ前）

参加人数：各日100名

※4月25日、26日は、作家が体調不良のため中止

主要記事等：

・中村修二「18世紀の長崎版画に躍動感 進化を遂げる光と影の芸術」『長崎新聞』4月18日

・中村修二「光の息吹（全5回）」『長崎新聞』4月21日～25日

出品リスト：

番号	作品名	制作年	サイズ (cm)
1	五島列島	2015	180.0×150.0
2	日本二十六聖人	2015	48.3×164.5
3	紅毛本國船之図2015	2015	130.0×180.0
4	白い服の少女	1944	
5	千代像	1949	
6	ギニョールの楽屋	1950	
7	おんぶ	1943	
8	青の女の子	1945	
9	マーガレットとお姉さん	1942	
10	つりのこびと	2014	80.0×120.0
11	日の出の踊り	1953	42.0×60.0
12	竜宮城の魚のダンス	1952	90.0×65.0
13	銀鈴の砂	1996	49.0×71.0
14	月夜の道	1972	43.0×60.0
15	笛ふき鳥	1976	49.5×59.5
16	人魚姫	1976	74.5×51.0
17	水の音	1959	57.7×66.5
18	海に落ちたピアノ	1988	40.0×39.5
19	玉ねぎと子うさぎとねこ1	1955	55.0×70.0
20	玉ねぎと子うさぎとねこ2	1955	53.0×53.0
21	玉ねぎと子うさぎとねこ3	1955	70.0×100.0
22	玉ねぎと子うさぎとねこ4	1955	70.0×48.0
23	玉ねぎと子うさぎとねこ5	1955	70.0×80.0
24	玉ねぎと子うさぎとねこ6	1955	60.0×80.0
25	玉ねぎと子うさぎとねこ7	1955	56.0×118.0
26	笠をかぶったお地蔵さん1	1954	53.0×60.0
27	笠をかぶったお地蔵さん2	1954	53.0×60.0
28	笠をかぶったお地蔵さん3	1954	55.0×70.0
29	笠をかぶったお地蔵さん4	1954	53.0×60.0
30	笠をかぶったお地蔵さん5	1954	53.0×60.0
31	西遊記 ニセ悟空現わる	1961	76.0×106.0
32	西遊記 女の顔	1959	77.0×60.0
33	西遊記 孫悟空の顔	1959	75.0×60.0
34	西遊記 悟空 虎を打つ	1959	49.5×69.5
35	西遊記 蒸し物にされる!!	1962	160.0×90.0
36	西遊記 女ばかりの都	1961	75.0×200.0
37	西遊記 羅刹女悟空を吹きとばす	1962	47.0×60.0
38	西遊記 牛魔王よ、芭蕉扇を貸せ!!	1962	73.0×200.0
39	西遊記 吊るされた八戒とくさりにつながれた悟空	1959	112.0×140.0
40	西遊記 三つの鈴	1962	75.0×105.0
41	西遊記 紅孩児	1960	95.0×120.0
42	西遊記 ニセ牛魔王	1960	95.0×120.0
43	ビルゼン街角で乾杯／壁画	1952	
44	ビルゼン酒樽馬車と男	1952	
45	ビルゼン酒樽小屋	1952	
46	ビルゼンバックラス（ピヤホール）	1952	
47	ビルゼン丘にのぼる酒樽馬車	1952	
48	光のプレリュード	1984	56.0×55.0
49	みかんの花咲く丘	1976	39.5×55.0
50	角笛と少年	1977	90.0×85.0
51	蝶と少女	1983	59.5×59.5
52	日の出の響き	1990	59.0×59.0
53	月光の響	1981	63.8×63.8
54	夏 魚しました	1990	62.0×63.0
55	木馬の夢	1998	100.0×180.0
56	生きるよろこび	1995	101.0×115.5
57	悲しきピエロ	1973	73.5×59.5

番号	作品名	制作年	サイズ (cm)
58	たんぼぼ	1982	81.0×101.0
59	ぼくの窓	1982	55.0×55.0
60	青空のメルヘン	1980	56.0×56.0
61	アリスのハート	2005	79.0×59.0
62	雪の日のこびとたち	1975	79.0×69.0
63	森のこびと	1974	44.0×44.5
64	こねこのルミちゃん	1997	61.5×62.0
65	ぶどう酒びんのふしぎな旅 表紙絵	2010	48.5×55.0
66	ぶどう酒びんのふしぎな旅 中扉絵	2010	52.0×52.0
67	ぶどう酒びんのふしぎな旅1	2004	70.5×99.5
68	ぶどう酒びんのふしぎな旅2	2010	52.0×52.0
69	ぶどう酒びんのふしぎな旅3	2004	45.0×45.0
70	ぶどう酒びんのふしぎな旅4	2004	
71	ぶどう酒びんのふしぎな旅5	2010	49.8×59.8
72	ぶどう酒びんのふしぎな旅6	2004	
73	ぶどう酒びんのふしぎな旅7	2010	34.8×50.0
74	ぶどう酒びんのふしぎな旅8	2004	
75	ぶどう酒びんのふしぎな旅9	2004	49.5×39.9
76	ぶどう酒びんのふしぎな旅10	2010	44.5×60.0
77	ぶどう酒びんのふしぎな旅11	2004	46.5×39.0
78	ぶどう酒びんのふしぎな旅12	2004	64.7×84.7
79	ぶどう酒びんのふしぎな旅13	2010	59.9×59.9
80	ぶどう酒びんのふしぎな旅14	2004	49.7×59.5
81	ぶどう酒びんのふしぎな旅15	2010	
82	ぶどう酒びんのふしぎな旅16	2004	40.0×50.0
83	ぶどう酒びんのふしぎな旅17	2010	50.0×50.0
84	ぶどう酒びんのふしぎな旅18	2004	59.8×79.8
85	ぶどう酒びんのふしぎな旅19	2004	
86	ぶどう酒びんのふしぎな旅20	2004	40.0×60.0
87	ぶどう酒びんのふしぎな旅21	2010	
88	ぶどう酒びんのふしぎな旅22	2010	
89	ぶどう酒びんのふしぎな旅23	2010	
90	ぶどう酒びんのふしぎな旅24	2004	29.7×39.8
91	ぶどう酒びんのふしぎな旅25	2004	49.5×30.0
92	ぶどう酒びんのふしぎな旅26	2004	59.5×89.7
93	ぶどう酒びんのふしぎな旅27	2004	60.0×60.0
94	ぶどう酒びんのふしぎな旅28	2010	39.7×45.0
95	ぶどう酒びんのふしぎな旅29	2010	59.7×95.0
96	ぶどう酒びんのふしぎな旅30	2004	50.0×55.5
97	ぶどう酒びんのふしぎな旅31	2004	49.9×59.7
98	ぶどう酒びんのふしぎな旅32	2010	
99	ぶどう酒びんのふしぎな旅33	2010	
100	ぶどう酒びんのふしぎな旅34	2010	39.3×59.5
101	ぶどう酒びんのふしぎな旅35	2010	
102	ぶどう酒びんのふしぎな旅36	2010	
103	ぶどう酒びんのふしぎな旅37	2010	
104	ぶどう酒びんのふしぎな旅38	2004	49.7×59.8
105	ぶどう酒びんのふしぎな旅39	2009	
106	長崎 山王神社の一本足の鳥居と生き続ける大クス	2009	210.0×180.0
107	長崎 鍋冠山から稲佐山をながめて	2009	70.0×250.0
108	軍艦島	2009	110.0×240.0
109	ムネアカドリのおはなし1	1986	59.8×43.6
110	ムネアカドリのおはなし2	1986	39.5×60.0
111	ムネアカドリのおはなし3	1986	49.1×103.5
112	ムネアカドリのおはなし4	2008	119.5×89.6
113	ムネアカドリのおはなし5	2008	75.0×100.0
114	日月星辰	1991	85.0×85.0
115	混沌	1991	74.0×106.0

番号	作品名	制作年	サイズ (cm)
116	混沌 説明文		91.5×72.0
117	獣と人間	1991	75.0×105.5
118	アダムとイブと蛇 (誘惑)	1991	83.5×115.5
119	洪水に翻弄されるノアの箱舟	1991	68.5×98.5
120	希望	1991	69.5×100.0
121	祝福	1991	75.5×106.0
122	バベルの塔	1991	87.5×117.5
123	イエスの顔	1980	34.0×26.0
124	イエス受洗	1981	57.5×42.5
125	ガリラヤ湖の嵐	1981	45.0×67.0
126	エルサレム入城	1980	66.5×99.5
127	最後の晚餐	1980	69.0×99.5
128	ゲッセマネの祈り	1980	58.0×42.0
129	ヤコブの夢	1995	78.0×106.0
130	海を渡るモーゼ	1986	56.0×79.0
131	イエスさまの誕生	1980	51.0×51.5
132	博士たちのクリスマス	1995	40.0×36.0
133	5千人が食べたパン	1980	60.5×83.5
134	十字架のイエス	1995	59.0×81.0
135	イエスの復活	1980	51.0×71.0
136	イエスの奇跡	2001	80.5×91.0
137	山上の説教	1998	44.5×67.0
138	アッシジの街並み	2013	90.0×210.0
139	騎士の夢	2013	50.0×90.0
140	サン・ダミアノ	2013	65.0×100.0
141	教会を建てなおす	2013	60.0×90.0
142	父との別れ	2013	60.0×90.0
143	最初の兄弟ベルナルド	2013	55.0×90.0
144	リボ・トルトの貧しき兄弟たち/下絵	2013	60.0×90.0
145	クララとの出会い	2013	60.0×100.0
146	聖フランシスコと小鳥たち	2003	97.5×76.0
147	聖痕	2011	60.0×90.0
148	三つのオレンジ 1	1974	64.0×57.0
149	三つのオレンジ 2	1974	64.0×58.0
150	三つのオレンジ 3	1974	50.0×55.0
151	三つのオレンジ 4	1974	55.0×119.0
152	三つのオレンジ 5	1974	59.0×80.0
153	高千穂真名井滝	2013	510.0×150.0
154	MISIA 恋する季節 1	2001	180.0×39.0
155	MISIA 恋する季節 2	2001	180.0×39.0
156	MISIA 恋する季節 3	2001	180.0×39.0
157	MISIA 恋する季節 4	2001	180.0×39.0
158	MISIA 恋する季節 5	2001	180.0×39.0
159	MISIA 恋する季節 6	2001	180.0×39.0
160	湿原のミズバショウとこびと	2011	120.0×160.0
161	天の岩屋戸	2013	180.0×400.0
162	ルードヴィヒ二世とノイシュヴァンシュタイン城	2006	154.0×180.0
163	三台のピアノノスタルジア	2007	99.5×119.5
164	祈る姉妹	2001	90.0×80.0
165	人はみなこびとを一人もっている	2003	76.0×99.0
166	夢生まれる (悠仁様誕生記念)	2006	120.0×180.0
167	生きかえれフェニックス	2011	120.0×150.0
168	地球讃歌	1992	77.5×174.5
169	こびとくんこの指とまれ	2006	100.0×80.0
170	悲しくも美しい平和への遺産	2005	150.0×200.0
171	広島赤十字病院の曲がった窓枠	2006	120.0×160.0
172	福島 原発ススキの里	2012	120.0×200.0
173	南三陸町防災庁舎 がれきは宝石	2012	59.0×90.0

番号	作品名	制作年	サイズ (cm)
174	日輪	2007	172.5×225.0
175	こうもり傘と少女	1979	54.5×55.0
176	夜明けの響き	1980	51.0×51.0
177	きん色の窓	1980	54.0×39.0
178	こびとの帽子	1982	56.0×119.0
179	はくの目は猫の目	1987	40.0×40.5
180	猫たちのパーティー	1988	60.5×80.0
181	猫ずもう	2003	69.5×89.5
182	風のメルヘン	1984	57.0×58.0
183	人魚姫	1986	59.0×59.0
184	天空に登る龍	2011	80.0×120.0
185	ピエロ	1994	59.0×59.0
186	「良き隣人」活動を広げよう	2011	40.5×46.0
187	星空のメルヘン	1990	43.5×43.5
188	秋のうた	2004	75.0×90.0
189	リンゴの唄	1997	59.0×58.5
190	海の中のピアノ	1997	59.5×59.5
191	スイカ割り	1999	59.0×59.0
192	天使のともしび	1999	60.0×132.0
193	そよ風の天使	2001	75.0×100.0
194	ねずみの海賊船	2007	90.0×120.0
195	へびは永遠の象徴	2012	90.0×90.0
196	こびと BOX		
197	愛のカクテル	2004	74.0×54.0
198	カステラ福砂屋本店/デッサン	2009	
199	グラバー邸より望む/デッサン	2009	
200	五島列島 頭ヶ島教会/デッサン	2009	
201	五島列島 旧五輪教会/デッサン	2009	
202	五島列島 青砂ヶ浦教会/デッサン	2009	
203	五島列島 江上教会/デッサン	2009	
204	五島列島 堂崎教会/デッサン	2009	
205	五島列島 土井ノ浦教会/デッサン	2009	
206	眼鏡橋/デッサン	2009	
207	思案橋横丁/デッサン	2009	
208	アンティークな丸山交番/デッサン	2009	
209	大浦天主堂/デッサン	2009	
210	軍艦島 第2堅坑/デッサン	2009	
211	軍艦島 船上より描く/デッサン	2009	
212	五島列島 貝津教会/デッサン	2009	
213	五島列島 旧五輪教会/デッサン	2009	
214	五島列島 水ノ浦教会/デッサン	2009	
215	五島列島 大曾教会/デッサン	2009	
216	五島列島 旧鯛ノ浦教会/デッサン	2009	
217	五島列島 楠原教会/デッサン	2009	
218	五島列島 浜脇教会/デッサン	2009	
219	五島列島 福見教会/デッサン	2009	
220	五島列島 冷水教会/デッサン	2009	
221	出津教会/デッサン	2009	
222	五島列島/デッサン	2009	

スペインの彫刻家 フリオ・ゴンサレス展

平成27年6月7日(日)～7月20日(月・祝) *41日間 会場：企画展示室

概要：

スペイン、バルセロナ出身で20世紀鉄彫刻の父と評される彫刻家フリオ・ゴンサレス（1876-1942）の国内初となる本格的回顧展。バレンシア現代美術館（IVAM）および著作権継承者であったフィリップ・グリマンジェ氏の所蔵品により構成。鉄のオリジナル作品を含む彫刻、ドローイング、金工細工・アクセサリーなどの資料を通し、20世紀の彫刻の流れに大きなインパクトを与えたゴンサレスの10代後半から最晩年にいたるまでの仕事を網羅的に紹介した。

開催形態：共催展（巡回展）

主催：長崎県美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会

後援：駐日スペイン大使館、在福岡スペイン国名誉領事館、長崎県、長崎県教育委員会、長崎市教育委員会、長崎県立長崎図書館、長崎市立図書館、NIB 長崎国際テレビ、NHK 長崎放送局、長崎ケーブルメディア、エフエム長崎

協力：日本航空

協賛：ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜

助成：タカシマヤ文化基金（※記念フォーラムに対する助成）

企画協力：株式会社 SD アート

観覧料：

一般1,200（1,000）円、大学生・70歳以上1,000（800）円、高校生700（500）円

※中学生以下無料

※（ ）内は、前売券および15名以上の団体料金

入場者数：4,475人（1日あたり109人）

出品点数：94点（彫刻55点、ドローイング29点、金工細工・アクセサリー10点）

関連事業：

(1)記念フォーラム「フリオ・ゴンサレス—その可能性の中心」(無料)

日時：6月7日(日)

第1部 | 13:00～14:45 (講師：トマス・リョレンス氏、フィリップ・グリマンジェ氏)

第2部 | 15:00～16:00 (講師：青木野枝氏、野中明)

会場：ホール

参加人数：67人

※タカシマヤ文化基金助成事業



(2)学芸員によるギャラリートーク（無料／要観覧券）

日時：6月21日(日)、7月5日(日)、7月19日(日) 14:00～

会場：企画展示室

参加人数：各回40人

(3)ワークショップ はんだでゴンサレス ※事前申込制

日時：6月20日(土)、6月27日(土) 10:30～15:00

会場：アトリエ

対象：小学5年生～高校生

参加費：500円（※高校生は要観覧券）

参加人数：6人／9人

主要記事等：

- ・野中明「スペインの彫刻家 フリオ・ゴンサレス展」『美連協ニュース』No. 126、2015年4月29日
- ・中村修二「『鉄彫刻の父』足跡たどる」『長崎新聞』6月5日
- ・野中明「独自のスタイル『空間の中のドローイング』」『新美術新聞』6月11日
- ・野中明「フリオ・ゴンサレス展（全3回）」『読売新聞』6月17日～19日
- ・田中修二（大分大学教授）「空間の表情変える鉄の切断」『朝日新聞』6月30日
- ・白石知子「『鉄彫刻の父』長崎で回顧展」『読売新聞』7月2日

出品リスト：

番号	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	所蔵
S-01	首をかしげ立つ裸婦	1910年頃	ブロンズ (casting : ed. 5/9)	23.8×8.8×7.5	個人蔵
S-02	少女の横顔	1912-14年頃	銅 (叩き出し)	26.7×20×3	IVAM
S-03	二人の裸婦	1912-14年頃	銅 (叩き出し)	27.2×28.1	IVAM
S-04	膝を抱える女	1914年頃	ブロンズ (casting : ed. 7/9)	14.5×16×12.5	個人蔵
S-05	横たわる裸婦Ⅱ	1914年	ブロンズ (casting : ed. 7/9)	7.8×21.8×10.8	個人蔵
S-06	恋人たち	1914年頃	ブロンズ (casting : ed. E. A.)	13.8×17.3×10.8	個人蔵
S-07	不安気なマスク	1919-21年頃	ブロンズ (casting : ed. 4/9)	19.6×18×8.8	個人蔵
S-08	母と子	1924-26年頃	真鍮 (叩き出し)	24×16	IVAM
S-09	座る裸婦の後ろ姿	1927年	銅 (叩き出し)	18.9×20.1	IVAM
S-10	噴水にて	1927-29年頃	鉄 (鍛造、切断、曲げ、エングレービング)	19.5×13.8×1.1	IVAM
S-11	ひざまづく裸婦のプロフィール	1929年	鉄 (切断、エングレービング、エッチング)	18.6×14.6×2.5	IVAM
S-12	横たわり本を読む女	1930年	ブロンズ (切断、鍛造)	12.2×26.6×6.8	IVAM
S-13	果物鉢	1930年	ブロンズ (casting : ed. 6/6)	14.3×10×4.2	IVAM
S-14	農婦のプロフィール (小)	1927-29年頃	ブロンズ (casting : ed. 0)	15×5.4×1.3	個人蔵
S-15	女とアンフォアラⅡ	1929-30年頃	ブロンズ (casting : ed. 1/4)	35.2×10.2×0.7	個人蔵
S-16	「三つ折り」と呼ばれる女	1931-32年頃	ブロンズ (casting : ed. H. C.)	125.3×27.7×16	個人蔵
S-17	陽光の中のロベルタⅠ	1929年頃	鉄 (切断、溶接)	18×16×2.2	IVAM
S-18	尖ったマスク	1929-30年頃	鉄 (鍛造、切断、曲げ、溶接)	26×17.5×4.3	IVAM
S-19	切り抜かれたマスク (小) : モンセラ	1930-33年頃	鉄 (鍛造、切断)	19.5×15.8×4.0	IVAM
S-20	光輪のある頭部	1932年頃	鉄 (鍛造、溶接)	21×14.8×3.8	IVAM
S-21	アルルカン/ピエロ、あるいはコロンビーヌ	1930年頃	ブロンズ (casting : ed. 0)	43×30×30	IVAM
S-22	恋人たちⅠ	1932-33年頃	ブロンズ (casting : ed. E. A.)	12.3×7.8×8.3	個人蔵
S-23	恋人たちⅡ	1932-33年頃	ブロンズ (casting : ed. 0)	44.5×19.5×19	個人蔵
S-24	トランベット (大)	1932-33年頃	ブロンズ (casting : ed. E. A.)	93×62×45	IVAM
S-25	鏡の前の頭部	1934年頃	ブロンズ (casting : ed. 00)	56×29×31	IVAM
S-26	「使徒」と呼ばれる頭部	1933-34年頃	ブロンズ (casting : ed. 1/6)	30.2×22.3×4.5	個人蔵
S-27	あごひげと口ひげ	1933-34年頃	ブロンズ (casting : ed. 5/8)	20.5×10×2.5	個人蔵
S-28	座る母と子 (小)	1933-34年頃	ブロンズ (casting : ed. 0)	13×7×11	個人蔵
S-29	立つ人 (大)	1935年頃	ブロンズ (casting : ed. E. A.)	128×67×16	IVAM
S-30	小さな頭部—モンティオン	1934-36年頃	ブロンズ (casting : ed. 1/6)	17.5×11.3×5.5	個人蔵
S-31	スカーフを巻くモンセラの農婦	1934-36年頃	ブロンズ (casting : ed. 3/8)	29×20×24	個人蔵
S-32	誇らしげな少女	1934-36年頃	ブロンズ (casting : ed. 4/6)	31×18×27	個人蔵
S-33	物憂げな少女	1934-36年頃	ブロンズ (casting : ed. 5/9)	27×18×14	個人蔵
S-34	ノスタルジックな少女	1934-36年頃	ブロンズ (casting : ed. 4/9)	27.7×16×19	個人蔵
S-35	頭部—二つの頭部	1934-36年頃	ブロンズ (casting : ed. 0)	21.5×20×19	個人蔵
S-36	横たわる女の頭部Ⅰ	1934-36年頃	ブロンズ (casting : ed. 3/9)	18×22×17	個人蔵
S-37	横たわる男の頭部—モンティオン	1934-36年頃	ブロンズ (casting : ed. 6/9)	14.5×21.5×15.2	個人蔵
S-38	横たわる男の頭部—モンティオン	1934-36年頃	石 (直彫り)	14.5×21.5×15.2	IVAM
S-39	平らなマスク—モンティオンⅠ	1934-36年頃	ブロンズ (casting : ed. 1/9)	20×15.5×11.5	個人蔵
S-40	「接吻」と呼ばれる平らな頭部	1936年頃	ブロンズ (casting : ed. 2/9)	25.7×21.3×5.6	個人蔵
S-41	メダル	1934年頃	ブロンズ (casting : ed. 8/9)	3.3×17.5(φ)	個人蔵
S-42	「女と馬」と呼ばれるレリーフ	1934年頃	ブロンズ (casting : ed. 4/8)	29×8×6.5	個人蔵
S-43	座る女Ⅰ	1935年頃	ブロンズ (casting : ed. 0)	118×54×36	IVAM
S-44	エジプト風のトルソ (小)	1935-36年頃	ブロンズ (casting : ed. 0)	25.5×8.5×7	個人蔵
S-45	足	1934-36年頃	ブロンズ (casting : ed. 5/8)	22×21×7.5	個人蔵
S-46	ひたい	1934-36年頃	ブロンズ (casting : ed. 2/8)	19×13.2×3	個人蔵
S-47	歯のある半面のマスク	1935-36年頃	鉄 (鍛造、切断、溶接)	19.1×6.4×1.2	IVAM
S-48	タフネ	1937年頃	ブロンズ (casting : ed. H. C.)	140×66×29	IVAM
S-49	棘のある手	1937年頃	ブロンズ (casting : ed. 1/8)	23.7×14.4×8	個人蔵
S-50	差し上げられた手	1937年頃	ブロンズ (casting : ed. 7/8)	39.4×23.8×12	個人蔵
S-51	横たわる手	1937年頃	ブロンズ (casting : ed. 0)	19×29.5×2.7	個人蔵
S-52	叫ぶモンセラのマスク	1938-39年頃	ブロンズ (casting : ed. 00)	32.8×14.9×12	IVAM
S-53	「マリー=テレーズの平らなマスク」と呼ばれる灰色の頭部	1941-42年頃	ブロンズ (casting : ed. 1/6)	28.5×17.5×8	個人蔵

番号	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	所蔵
S-54	抽象的な像	1942年頃	ブロンズ (铸造: ed. 5/6)	31.5×22×23	個人蔵
S-55	差し上げられた右手 no. 1	1942年頃	ブロンズ (铸造: ed. 1/8)	45.5×15.5×11.6	IVAM
D-01	自画像	1937年11月10日	鉛筆・紙	24×15.9	個人蔵
D-02	自画像	1938年頃	鉛筆・紙	27.1×21.1	個人蔵
D-03	自画像	1937年4月29日	鉛筆・紙	11×8	個人蔵
D-04	自画像	1941年5月13日	鉛筆・紙	16×14	個人蔵
D-05	少女の顔	1903年頃	墨・紙	13.6×10.8	個人蔵
D-06	白い服の女	1938年頃	インク、グワッシュ・紙	24×15.7	個人蔵
D-07	少女	1939年7月31日	インク、墨・紙	31×20.2	個人蔵
D-08	籠を持つ農婦	1935年頃	インク、墨・紙	25.5×19.1	個人蔵
D-09	母と子	1938年6月12日	鉛筆、インク・紙	27×20.4	IVAM
D-10	会話する二人の女	1940年2月12日	インク、墨・紙	23.7×15.8	個人蔵
D-11	色のある顔	1941年3月23日	インク、水彩・紙	16×12.3	個人蔵
D-12	恐れ no. 1	1941年11月16日	鉛筆・紙	21×27	個人蔵
D-13	サイエンスフィクションの女	1942年2月28日	鉛筆・紙	15.9×24	個人蔵
D-14	小さな横顔	1942年3月13日	インク・紙	17.1×10.1	個人蔵
D-15	七宝細工のための習作	1937年12月8日 ／1939年12月1日	鉛筆、インク、墨、グワッシュ・紙	24×15.8	個人蔵
D-16	バロック風の頭部	1937-41年頃	鉛筆・紙	16.9×24.2	個人蔵
D-17	様々な頭部の習作	1938-40年頃	鉛筆、インク・紙	18.9×29.3	個人蔵
D-18	頭部の習作	1938年5月9日 ／1939年7月31日	鉛筆、インク・紙	10.7×19.2	個人蔵
D-19	アフリカ風のマスクのための習作	1940年頃	鉛筆・紙	20.1×15.5	個人蔵
D-20	悲しみのマスク	1940年9月15日	インク・紙	24×15.6	個人蔵
D-21	聖なるマスクのための習作	1941年5月15日	鉛筆、パステル・紙	20.1×31	個人蔵
D-22	横たわる人物	1936年	インク、パステル・紙	15.8×24	個人蔵
D-23	「座る女I」のための習作	1935年	インク、パステル・紙	24.6×15.6	IVAM
D-24	異形の人物	1937年1月9日	鉛筆、インク・紙	25.6×16.3	個人蔵
D-25	白いかたちの人物	1937年3月10日	鉛筆、インク、パステル、コラージュ・紙	32.7×25	IVAM
D-26	鏡の前の女	1937年7月8日	鉛筆、インク・紙	33.6×24.5	IVAM
D-27	鳥人間	1938年4月3日	鉛筆、インク・紙	19.8×31	個人蔵
D-28	女の頭部とサボテン人間	1939年6月23日	鉛筆、インク、パステル・紙	15.9×20	個人蔵
D-29	鏡の前のたくましい人物	1940年5月23日	鉛筆、インク、水彩・紙	31.7×24.1	IVAM
A-01	花 (菊)	1890-1900年頃	鉄、真鍮 (鍛造、着彩)	28.6×16.5×9	IVAM
A-02	花 (菊)	1890-1900年頃	鉄、真鍮 (鍛造、溶接)	29.4×13×7.1	IVAM
A-03	花 (菊)	1890-1900年頃	鉄 (鍛造)	28.3×7.1×4.6	IVAM
A-04	バックル	1908-18年頃	銅 (叩き出し)	9.6×6.5	IVAM
A-05	アクセサリー	1920-30年頃	銀、ガラス	6(φ)	IVAM
A-06	ブローチ	1929-33年頃	真鍮	4.2×5.5	IVAM
A-07	ブローチ	1929-33年頃	真鍮	8.5×3	IVAM
A-08	蝶 (ピン)	不詳	銀	2×1.7	IVAM
A-09	アクセサリー	不詳	銅、エナメル (七宝)	4.9×4.9	IVAM
A-10	ネックレス	1920-40年頃	銅、ガラス	47(Length)	IVAM

戦後70年、被爆70年—瀬戸内寂聴展～これからを生きるあなたへ～

平成27年7月25日(土)～8月31日(月) *37日間 会場：企画展示室

概要：

小説家（文化勲章受章）、僧侶として精力的に活動を続ける瀬戸内寂聴（1922-）の作品や交友を通してその文学世界と劇的な半生を振り返るとともに、戦後70年の長崎から平和の願い、メッセージを発信する展覧会。寂聴の写真や直筆原稿、所蔵の美術品などに加え、横尾忠則とのコラボレーション、「源氏物語現代語訳」の装丁に使用された日本画家・石踊達哉の屏風絵なども紹介した。

開催形態：共催展（受託方式）

主催：長崎新聞社、長崎県美術館

共催：長崎県、長崎市、NBC長崎放送、KTNテレビ長崎、NCC長崎文化放送、NIB長崎国際テレビ

協賛：ジャパネットたかた、メモリード、文明堂総本店、出口医院レディースクリニック、インテックス

協力：長崎県医師会、長崎新聞販売センター

企画協力：徳島県立文学書道館、寂庵、講談社、ヨコオズ・サーカス

企画制作：NHK サービスセンター

後援：長崎県教育委員会、長崎市教育委員会、エフエム長崎、長崎ケーブルメディア、長崎県立長崎図書館、長崎市立図書館、長崎県美術協会、長崎県社会福祉協議会、長崎商工会議所、長崎県観光連盟、長崎国際観光コンベンション協会、長崎県PTA連合会、長崎県校長会、国際ソロプチミスト長崎、長崎親善人形の会（瓊子の会）、キッズゲルニカ国際委員会、長崎県仏教連合会、長崎市仏教連合会、長崎積尊鑽仰会、長崎県宗教者懇話会、長崎県老人福祉施設協議会、長崎県歯科医師会、長崎県看護協会、長崎県薬剤師会、長崎電気軌道、長崎県タクシー協会、長崎県書店商業組合、長崎県生活協同組合連合会、生活協同組合ララコープ、長崎花市場、長崎花商協同組合、長崎県花き振興協議会ほか（順不同）

観覧料：

一般1,200（1,000）円、高校・大学900（700）円、小学・中学700（500）円

※（ ）内は、前売券および15名以上の団体料金

入場者数：17,205人（1日あたり465人）

出品点数：194件

関連事業：

(1)「瀬戸内寂聴×美輪明宏トークショー」上映会（無料／要観覧券）

日時：8月3日(月)～5日(水)、24日(月)～26日(水)、31日(月)

①11:00～13:00 ②14:00～16:00 ③17:00～19:00



会場：ホール

参加人数：3日171人、4日208人、5日230人、24日317人、25日139人、26日354人、31日277人

(2)書家・原雲涯さんによる書道ワークショップ（無料／要観覧券）※事前申込制

日時：8月3日(月) 14:00～15:30

講師：原雲涯（書家）

会場：アトリエ

参加人数：16人

(3)映画「この子を残して」「長崎の鐘」上映会（無料）

※事前申込制

日時：8月7日(金)、8日(土) 10:30～

会場：ホール

参加人数：370人／726人

(4)「希望の木」出版記念山本二三×新井満 朗読と対談の会（無料／要観覧券）※事前申込制

日時：8月20日(木) 14:00～16:15

会場：ホール

参加人数：120人

(5)学芸員トークショー「寂聴と遠藤周作」（無料／要観覧券）

日時：8月22日(土) 14:00～15:30

講師：北村沙緒里（遠藤周作文学館学芸員）

会場：ホール

参加人数：50人

主要記事等：

・生中継『あつぷる』NBC長崎放送 7月29日

・「戦後70年・夏 長崎にて対談 瀬戸内寂聴×美輪明宏『これからを生きるあなたへ』」NHK総合 8月9日、BSプレミアム 8月16日

・「水や空」『長崎新聞』7月26日

・瀬戸内寂聴「長崎展に寄せて（全3回）」『長崎新聞』6月

29日、7月17日、8月18日

・中村修二「出会いこそ生きる証 (全5回)」『長崎新聞』7

月29日～8月2日

・「特集 瀬戸内寂聴×美輪明宏トークショー」『長崎新聞』

8月8日

出品リスト：

1. 寂庵へようこそ

番号	種別	作者名	作品名	サイズ(cm)	所蔵	備考
1	ポスター	横尾忠則	寂庵ポスター	103.5×73	徳島県立文学書道館	
2		梅原猛	桃源郷はここ	101×51	徳島県立文学書道館	
3	石仏	瀬戸内寂聴	石仏	12×12×30	徳島県立文学書道館	
4	食器		遊山箱、酒器、茶器		瀬戸内寂聴	
5	小石	瀬戸内寂聴	布の仏さま		瀬戸内寂聴	
6			はなひら		瀬戸内寂聴	

2. 寂聴源氏の世界

7	著書		寂聴源氏 全十巻		徳島県立文学書道館	
8	著書		寂聴源氏新装版全十巻		徳島県立文学書道館	
9	ゲラ		源氏物語ゲラ一式		徳島県立文学書道館	
10	愛用品		万年筆		徳島県立文学書道館	
11		石踊達哉	第七条「紅葉賀」(青海波)	91×145.7	講談社	
12		石踊達哉	第八帖「花宴」(朧月夜)	90.9×116.7	講談社	
13	屏風	石踊達哉	第十三帖「明石」	169.5×320	講談社	四曲半双
14	屏風	石踊達哉	第十六帖「関屋」(月あかり)	170.1×320.6	講談社	四曲半双
15		石踊達哉	第二十帖「朝顔」	109.5×143.5	講談社	
16	屏風	石踊達哉	第三十一帖「真木柱」	150×333	講談社	六曲半双
17	屏風	石踊達哉	第三十三帖「藤裏葉」(春暁)	149×329.5	講談社	六曲半双
18	屏風	石踊達哉	第四十五帖「橋姫」(有明月)	160×360	講談社	六曲半双
19	屏風	石踊達哉	「雲隠」	163×324	講談社	四曲半双
20		石踊達哉	第四十九帖「宿木」(秋の響)	112.5×146	講談社	二曲半双
21	映像		「源氏物語」 約5分			

3. 寂聴文学～出家～美の宴～ほれほれ手作り

22	板絵		晴美ポートレート	41×32×厚6	瀬戸内寂聴	
23	著書		同人誌「文学者」		徳島県立文学書道館	
24	著書		同人誌「乙」		徳島県立文学書道館	
25	書簡	小田仁二郎	小田仁二郎から瀬戸内晴美へ		徳島県立文学書道館	
26	著書	小田仁二郎	「触手」		徳島県立文学書道館	
27	扇		田村俊子賞受賞記念の扇		徳島県立文学書道館	
28	著書		「夏の終り」		徳島県立文学書道館	
29	原稿		「夏の終り」直筆原稿		徳島県立文学書道館	
30	灰皿	岡本太郎	銘「蘭を焼く」灰皿		徳島県立文学書道館	
31	著書		「かの子撩乱」 講談社		徳島県立文学書道館	
32	書		ドストエフスキー「罪と罰」の英訳本		徳島県立文学書道館	菅野須賀子が獄中の荒畑寒村に送ったもの
33	万年筆	モンブラン製	荒畑寒村の形見の万年筆		徳島県立文学書道館	小説「遠い声」資料
34	著書		「遠い声」 新潮社		徳島県立文学書道館	
35	著書		「比叡」 新潮社		徳島県立文学書道館	
36	著書		「草筏」 中央公論社		徳島県立文学書道館	
37	著書		「手毬」 新潮社		徳島県立文学書道館	良寛と貞心尼
38	著書		「花に問え」 中央公論社		徳島県立文学書道館	一遍上人
39	著書		「白道」 講談社		徳島県立文学書道館	西行法師
40	著書		「釈迦」 新潮社		徳島県立文学書道館	釈迦(仏陀)
41	著書		「秘花」 新潮社		徳島県立文学書道館	
42	書簡	遠藤順子	出家祈念の写経 普門品偈		徳島県立文学書道館	
43	書簡	瀬戸内寂聴	遠藤周作宛 出家を告げる手紙		遠藤周作文学館	
44	書簡	遠藤周作	遠藤周作からの手紙		徳島県立文学書道館	1973年
45	書簡	遠藤周作夫人・順子	遠藤順子からの手紙		徳島県立文学書道館	1973年

番号	種別	作者名	作品名	サイズ(cm)	所蔵	備考
46	着物		有髪最後の色留袖		徳島県立文学書道館	裾模様扇子を散る鶯色の色留袖
47	帯		帯		徳島県立文学書道館	
48	髪		剃髪髪	箱24.5×22	瀬戸内寂聴	
49	仏具		賀詞 今東光		徳島県立文学書道館	
50	書		得度式後に出した挨拶状		徳島県立文学書道館	
51	写真	天台寺提供	今東光		徳島県立文学書道館	
52	着物		巡礼衣裳		徳島県立文学書道館	
53			新聞広告「反対イラク武力攻撃瀬戸内寂聴」		徳島県立文学書道館	
54	著書		瀬戸内寂聴全集 新潮社		徳島県立文学書道館	
55	著書		月の輪草子		徳島県立文学書道館	
56	著書		爛		徳島県立文学書道館	
57	著書		風景		徳島県立文学書道館	
58	著書		死に支度 講談社		徳島県立文学書道館	
59	著書		烈しい生と美しい死を		徳島県立文学書道館	
60	著書		私小説		徳島県立文学書道館	
61	写真		雲仙普賢岳噴火災害見舞の写真		徳島県立文学書道館	
62	賞状		女流文学賞 賞状		徳島県立文学書道館	
63	指輪		女流文学賞 副賞の指輪		徳島県立文学書道館	
64	時計		新潮同人雑誌賞 副賞の時計		徳島県立文学書道館	
65	著書		「蘭を焼く」		徳島県立文学書道館	
66	著書		「花芯」		徳島県立文学書道館	
67	著書		「美は乱調にあり」		徳島県立文学書道館	
68	原稿		「美は乱調にあり」直筆原稿		徳島県立文学書道館	
69	写真		遠藤周作との写真		徳島県立文学書道館	
70	著書		「比叡」		徳島県立文学書道館	
71	原稿		「比叡」直筆原稿		徳島県立文学書道館	
72	著書		「諧調は偽りなり」上・下		徳島県立文学書道館	
73	著書		「青鞥」上・下		徳島県立文学書道館	
74	雑誌		雑誌「太陽」 2冊		徳島県立文学書道館	
75			小田仁二郎追悼誌「Jin」 4冊		徳島県立文学書道館	
76	賞状		谷崎潤一郎賞 賞状		徳島県立文学書道館	
77	賞状		芸術選奨文部大臣賞 賞状		徳島県立文学書道館	
78			寂庵だより 2		徳島県立文学書道館	
79	著書		「寂聴イラクをゆく」		徳島県立文学書道館	
80	著書		「孤高の人」		徳島県立文学書道館	
81	著書		「いよよ華やぐ」上・下		徳島県立文学書道館	
82	著書		「場所」		徳島県立文学書道館	
83	原稿		「場所」直筆原稿		徳島県立文学書道館	
84	賞状		野間文芸賞 賞状		徳島県立文学書道館	
85	著書		「釈迦」		徳島県立文学書道館	
86	原稿		「釈迦」直筆原稿		徳島県立文学書道館	
87	著書		「秘花」		徳島県立文学書道館	
88	新聞記事		文化勲章 新聞記事 (2006.10.28徳島新聞)		徳島県立文学書道館	
89	写真		文化勲章 写真		徳島県立文学書道館	
90	雑誌		雑誌「the 寂聴」 2冊		徳島県立文学書道館	
91	賞状		泉鏡花文学賞 賞状		徳島県立文学書道館	
92	タテ		泉鏡花文学賞 タテ		徳島県立文学書道館	
93	新聞記事		「無常—どん底は続かない」 (2011.3.3朝日新聞)		徳島県立文学書道館	
94	新聞記事		「11ヵ月ぶりの法話開始」新聞記事 3点		徳島県立文学書道館	
95			「すばる」 2冊 (2013年1月号、2015年8月号)		徳島県立文学書道館	
96		榊 莫山	寒山拾得 (かんざんじつとく)	70×80	瀬戸内寂聴	賛「山へイコカ、川へイコカ」「空へイコヨ」

番号	種別	作者名	作品名	サイズ(cm)	所蔵	備考
97	リトグラフ	藤田嗣治	猫		瀬戸内寂聴	
98		ヘンリー・ミラー	対話	93.5×72.5	瀬戸内寂聴	
99	リトグラフ	マルク・シャガール	一枚の絵		瀬戸内寂聴	
100		A・ダーカンジェ	Aspen Colo		瀬戸内寂聴	
101		片岡球子	赤富士	59×67	瀬戸内寂聴	
102		岡本太郎	晴美像		徳島県立文学書道館	
103		熊谷守一 昭和42年作	臥裸婦		瀬戸内寂聴	「私小説」表紙装丁画
104	軸	加山又造	墨牡丹(すみぼたん)	120×56	瀬戸内寂聴	「比叙」装丁画
105	軸	熊谷守一	唯我独尊(ゆいがどくそん)	165×52	瀬戸内寂聴	
106	軸	榊 莫山	百済観音(くだらかんのん)	188×58.5	瀬戸内寂聴	
107	軸	熊谷守一	じぞう	160×66	瀬戸内寂聴	
108	軸	今東光	今東光「寂庵」	120×55	瀬戸内寂聴	
109	像	池田満寿夫	地藏	10×H27	徳島県立文学書道館	
110	人形	四谷シモン	人形 男の子		瀬戸内寂聴	小説「おだやかな部屋」を書くきっかけとなった
111	人形	四谷シモン	人形 女の子		瀬戸内寂聴	小説「おだやかな部屋」を書くきっかけとなった
112	水彩画	瀬戸内寂聴	空	68×53	瀬戸内寂聴	
113	水彩画	瀬戸内寂聴	ヤマモモ		瀬戸内寂聴	
114	水彩画	瀬戸内寂聴	アザミ		瀬戸内寂聴	
115	水彩画	瀬戸内寂聴	ペンペン草	54×42	瀬戸内寂聴	
116	土仏	瀬戸内寂聴	土仏		徳島県立文学書道館	
117	木彫	瀬戸内寂聴	寂聴佛		徳島県立文学書道館	初めて作った仏頭。台座の字は荒畑寒村
118	木彫	瀬戸内寂聴	お地藏さま		徳島県立文学書道館	
119	木彫	瀬戸内寂聴	観音さま		徳島県立文学書道館	
120	粘土細工	瀬戸内寂聴	籠入りの野菜		徳島県立文学書道館	野菜16点、籠1点
121			数珠		瀬戸内寂聴	
122	映像		「天台寺」 約5分			

4. 奇縁まんだら

123		横尾忠則	瀬戸内寂聴	33×24		
124		横尾忠則	三島由紀夫	33×24		
125		横尾忠則	宇野千代	33×24		
126		横尾忠則	川端康成	33×24		
127		横尾忠則	今東光	33×24		
128		横尾忠則	小田仁次郎	33×24		
129		横尾忠則	吉村昭	33×24		
130		横尾忠則	円地文子	33×24		
131		横尾忠則	草野心平	33×24		
132		横尾忠則	岡本太郎	33×24		
133		横尾忠則	市川房枝	33×24		
134		横尾忠則	高岡智照尼	33×24		
135		横尾忠則	遠藤周作	33×24		
136		横尾忠則	吉行淳之介	33×24		
137		横尾忠則	井上光晴	33×24		
138		横尾忠則	荒畑寒村	33×24		
139		横尾忠則	水上勉	33×24		
140		横尾忠則	武原はん	33×24		
141		横尾忠則	大庭みな子	33×24		
142		横尾忠則	中原淳一	33×24		
143		横尾忠則	池田満寿夫	33×24		
144		横尾忠則	榊莫山	33×24		
145		横尾忠則	筑紫哲也	33×24		
146		横尾忠則	久世光彦	33×24		
147		横尾忠則	三浦哲郎	33×24		

番号	種別	作者名	作品名	サイズ(cm)	所蔵	備考
148		横尾忠則	淡谷のり子	33×24		
149		横尾忠則	有吉佐和子	33×24		
150		横尾忠則	岡田嘉子	33×24		
151		横尾忠則	神近市子	33×24		
152		横尾忠則	三浦環	33×24		
153		横尾忠則	黒岩重吾	33×24		
154		横尾忠則	武田泰淳	33×24		
155		横尾忠則	ミヤコ蝶々	33×24		
156		横尾忠則	パール・バック	33×24		
157		横尾忠則	十一代目 市川團十郎	33×24		
158		横尾忠則	谷崎潤一郎	33×24		
159		横尾忠則	開高健	33×24		
160		横尾忠則	長谷川一夫	33×24		
161		横尾忠則	松本清張	33×24		
162		横尾忠則	田中角栄	33×24		
163		横尾忠則	小林秀雄	33×24		
164		横尾忠則	ポーヴォワール	33×24		
165		横尾忠則	藤山寛美	33×24		
166		横尾忠則	司馬遼太郎	33×24		
167		横尾忠則	イサム・ノグチ	33×24		
168		横尾忠則	美空ひばり	33×24		
169		横尾忠則	勝新太郎	33×24		
170		横尾忠則	佐多稲子	33×24		
171		横尾忠則	鳥尾敏雄	33×24		
172	著書		「奇縁まんだら」 日本経済新聞出版社		徳島県立文学書道館	
173	映像		「寂庵での春夏秋冬」 約5分			

5. 書簡&ことば&映像

No	種別	作者名	作品名	日付	所蔵
174	書簡	宇野千代		①1982/9/22 ②1986/12/1 ③1986/11/10	徳島県立文学書道館
175	書簡	梅原猛		1999/5/17	徳島県立文学書道館
176	書簡	江國滋		1979/10/15	徳島県立文学書道館
177	書簡	江國香織		1996/7/24	徳島県立文学書道館
178	書簡	川端康成		1962/9/17	徳島県立文学書道館
179	書簡	今 東光		1976/4/8	徳島県立文学書道館
180	書簡	三島由紀夫		1966/5/9	徳島県立文学書道館
181	書簡	司馬遼太郎		1994/7/29	徳島県立文学書道館
182	書簡	平野啓一郎		2001/4/2	徳島県立文学書道館
183	書簡	美輪明宏		2000/1/7	徳島県立文学書道館
184	書簡	水上勉			徳島県立文学書道館
185	書簡	風間完		1996/7/6	徳島県立文学書道館
186	書簡	片岡球子		1997/11/28	徳島県立文学書道館
187	書簡	荒川修作		1995/11/13	徳島県立文学書道館
188	書簡	藤原新也		2001/5/7	徳島県立文学書道館
189	書簡	横尾忠則		2004/10/26	徳島県立文学書道館
190	書簡	勅使河原蒼風			徳島県立文学書道館
191	茶碗	岡本太郎			徳島県立文学書道館
192	置物	岡本太郎	ペーパーウェイト		徳島県立文学書道館
193	パネル		愛のことば パネル		徳島県立文学書道館
194	写経		直筆 湾岸戦争即時停戦祈願写経		徳島県立文学書道館
195	映像		映像シアター（2本立て） 「瀬戸内寂聴 戦争 平和 自らを語る」15分 「心を照らす言葉」15分		
196			寂聴 一字写経コーナー		

岡村剛一郎のダンボールアート遊園地

平成27年 8月12日(水)～8月31日(月)10:00～17:00 *20日間 会場：県民ギャラリー

概要：

平成23年夏に開催し大好評を博した企画のリニューアルバージョン。長崎県美術館の開館10周年を祝したいという作家の意思により、「深海」をテーマに全て新作で構成された。

開催形態：共催展

主催：長崎県美術館

共催：KTN テレビ長崎

後援：長崎県、長崎県教育委員会、長崎市教育委員会、長崎県立長崎図書館、長崎市立図書館、長崎新聞社、西日本新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、長崎ケーブルメディア、エフエム長崎

企画協力：文化企画

観覧料：3歳以上500円、ペア券800円、2歳以下無料

※当日券のみ。

※未就学児のみの入場は不可。中学生以上の保護者同伴必要。

入場者数：25,040人（1日あたり1,252人）



関連事業：工作キットプレゼント（小学生以下の先着5,000人／1人につき1枚）

主要記事等：

- ・生中継『ヨジマル』（KTN テレビ長崎）8月11日
- ・「今話題の“深海”の世界をダンボールで表現」『ソトコト』9月号、木楽舎、8月1日

1[∞] ミナカケル—ミナ ペルホネンの今までとこれから

平成27年10月10日(土)～12月6日(日) *54日間 会場：企画展示室

概要：

デザイナー・皆川明により設立され、20周年を迎えたデザインブランド「ミナ ペルホネン」の活動を総覧し、テキスト原画、洋服、家具、食器等の作品を展示した。建築家・田根剛を中心に手掛けられた、ミナ ペルホネンの世界観を体感できるユニークな会場構成も見どころとなった。

開催形態：共催展（自主企画）

運営体制：

主催：長崎県美術館、KTN テレビ長崎

後援：長崎県、長崎県教育委員会、長崎市教育委員会、長崎県立長崎図書館、長崎市立図書館、長崎新聞社、西日本新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、長崎ケーブルメディア、エフエム長崎

企画協力：株式会社ミナ、DGT.(DORELL GHOTMEH TANE / ARCHITECTS)

協力：株式会社脇プロセス、藤井 光、LUFTZUG、株式会社七彩

観覧料：

一般1,000 (900) 円、大学生・70歳以上800 (700) 円、高校生600 (500) 円、中学生以下無料

※（ ）内は前売りおよび15名以上の団体割引料金。

入場者数：24,019人（1日あたり、約445人）

出品点数：約206点（参考資料約40点を除く）

関連事業：

(1)特別対談：皆川 明×田根 剛（無料／要観覧券・事前申込制）

日時：10月10日(土) 14：00～15：30（13：30開場）

講師：皆川 明（ミナ ペルホネン デザイナー）、田根 剛（DORELL GHOTMEH TANE / ARCHITECTS 建築家、本展会場構成）

会場：ホール

参加人数：131人

(2)学芸員によるギャラリートーク（無料／要観覧券）

日時：10月11日(日)、25日(日)、11月8日(日)、22日(日) 14：00～

会場：企画展示室

参加人数：各回約20人



(3)ワークショップ：Patch a Patch with minä perhonen! (3,500円／要観覧券)

日時：10月31日(土) ①10：30～12：00 ②13：30～15：00

講師：皆川 明（ミナ ペルホネン デザイナー）

会場：アトリエ

対象：小学生～大人（小学生は保護者同伴）

参加人数：計43人

(4)「特別対談：皆川 明×田根 剛」上映会（無料／要観覧券）

日時：11月8日(日)、22日(日)、12月5日(土) 15：00～16：30

（14：30開場）

会場：ホール

参加人数：計126人（22人、46人、58人）

主要記事等：

- ・生中継『ヨジマル』KTN テレビ長崎 10月9日
- ・生中継『ヨジマル』KTN テレビ長崎 11月9日
- ・『ももち浜ストア』TNC テレビ西日本 11月13日
- ・『なんでん Café』長崎ケーブルテレビ 10月23日
- ・『MINAMI TENJIN.COM』crossFM 10月26日
- ・『AFRO FUKUOKA』バズブック／クープス 10月23日
- ・「2015毎日デザイン賞」『毎日新聞』3月3日
- ・「大人の美術部」『大人のおしゃれ手帖』11月号 宝島社 10月7日
- ・「東京と長崎で20周年記念展が開催！」『Casa BRUTUS 特別編集 ミナ ペルホネンと皆川明』11月15日
- ・「ミナ ペルホネンの20年と21年目」『装苑』2月号 学校法人文化学園 文化出版局 12月26日

出品リスト：

1. MINÄ PERHONEN

出品番号	作品名	年代	アイテム名	寸法 (cm)	素材・技法	備考
1 - 1	pianissimo dress	2010 - 11 AW	洋服			
1 - 2	piece, dress	2014	洋服			
1 - 3	celebrate blouse	2010 - 11 AW	洋服			
	grassy skirt	2010 - 11 AW	洋服			
1 - 4	frost garden dress	2014 - 15 AW	洋服			
1 - 5	forest tile coat	2012 - 13 AW	洋服			
	naught dress	2008 - 09 AW	洋服			
1 - 6	tambourine HIROSHIMA	2014	椅子			MARUNI COLLECTION ×minä perhonen
1 - 7	dop lotus stool	2014	椅子			
1 - 8	lamp shade (tambourine, ringo)		ランプシェード			flame×minä perhonen
1 - 9	stool 60 (choucho, tambourine, pata pata)	2014	椅子			Artek
1 - 10	jelly beands, Alps, galileo	2002 -	傘			POE×minä perhonen

2. FASHION

2 - 1	tarte skirt	2007 - 08 AW	洋服			
	No.94 bolero	2006 - 07 AW	洋服			
2 - 2	woolly ball jacket	2009 - 10 AW	洋服			
	camellia skirt	2006 - 07 AW	洋服			
2 - 3	pot-au-feu coat	2015 - 16 AW	洋服			
	ceremony dress	2007 - 08 AW	洋服			
2 - 4	Rosas dress	2015 - 16 AW	洋服			
2 - 5	hana yuki dress	2014 - 15 AW	洋服			
2 - 6	tambourine coat	2014 - 15 AW	洋服			
	stucco skirt-pants	2013 - 14 AW	洋服			
2 - 7	skyful coat	2013 SS	洋服			
	Clematis pants	2013 SS	洋服			
2 - 8	log dress	2011 - 12 AW	洋服			
2 - 9	glimmer coat	2009 - 10 AW	洋服			
	purity dress	2011 SS	洋服			
2 - 10	moon bear jacket	2008 - 09 AW	洋服			
	pianissimo skirt	2011 - 12 AW	洋服			
2 - 11	drawing shirt	2002 SS	洋服			
	stream jacket	2008 - 09 AW	洋服			
2 - 12	nocturne skirt	2008 - 09 AW	洋服			
	full moon dress	2008 SS	洋服			
2 - 13	phoenix knit poncho	2007 - 08 AW	洋服			
	ring flower skirt	2005 - 06 AW	洋服			
2 - 14	flower nest dress	2007 - 08 AW	洋服			
2 - 15	hope rain blouse	2016 SS	洋服			
	hope rain skirt	2016 SS	洋服			
2 - 16	carnival dress	2003 - 04 AW	洋服			
2 - 17	wataridori dress	2003 - 04 AW	洋服			
2 - 18	jelly beans dress	2002 SS	洋服			
	trickle knit cardigan	2008 - 09 AW	洋服			Jane Wheeler×minä perhonen
2 - 19	soda water jacket	2001 SS	洋服			
	multistripe skirt	2002 - 03 AW	洋服			
2 - 20	even blouse	2014 - 15 AW	洋服			
	cloudland coat	2014 - 15 AW	洋服			
2 - 20	land puzzle pants	2014 - 15 AW	洋服			
	fognight blouse	2012 - 13 AW	洋服			

3. PROCESS

3 - 1	皆川 明が19歳の頃に出かけた北欧の旅で出会ったコート		関連資料			
-------	-----------------------------	--	------	--	--	--

出品番号	作品名	年代	アイテム名	寸法 (cm)	素材・技法	備考
3-2	ブランド初期のころのアトリエ風景・北欧への旅の写真類		関連資料			
3-3	デザイン画、スケッチブック類		関連資料			
3-4	皆川 明の収集品		関連資料			
3-5	forest parade	2005~SS	刺繍原画	65.4×28	紙、鉛筆	
3-6	forest parade 製作過程の生地見本	2005~SS	関連資料			
3-7	刺繍機のためのパンチカード		関連資料			所有：神奈川レース
3-8	pop rain 製作段階の生地見本	2013-14~AW	関連資料			
3-9	pop rain dress	2013-14~AW	洋服			
3-10	pot-au-feu 製作段階の生地見本(カットジャカード)	2015-16~AW	関連資料			
3-11	ballade	2007-08~AW	織り原画	55×45.9	紙、鉛筆	
3-12	ballade 製作段階の生地見本(カットジャカード)	2007-08~AW	関連資料			
3-13	minã perhonen tartan の製作過程	2003-04~AW	関連資料			
3-14	プリント柄 galileo のための、プリントの版とスクイージー (インクをムラなく塗布するための道具)	2009~SS	関連資料			所有：西田染工
3-15	工場との指示書のやり取りや手紙類		関連資料			
3-16	工場の写真類神奈川レース、大原織物、西田染工		関連資料			撮影：L.A.TOMARI
3-17	色の指示書		関連資料			
3-18	エッグバッグの集合体	1997-	関連資料			
3-19	コサージュやピンバッジ、ブローチなどの金型、素材、スケッチやアイデアの素		関連資料			
3-20	tambourine 器の試作	2015	関連資料			
3-21	靴デザインの製作過程		関連資料			

4. MAKING

4-1	ブランド設立当初の手書きでつくられたパターン書		関連資料			
4-2	16年前のパターン袋	1999	関連資料			
4-3	パターン製図道具		関連資料			
4-4	「piece. (ピース)」あまり布を使い新しいプロダクトをつくるための制作過程		関連資料			
4-5	トワル (フォルムデザインのための試作)		関連資料			
4-6	パターンや仕様書の束		関連資料			

5. TEXTILE

5-1	テキスタイルの壁	2015	インスタレーション			
-----	----------	------	-----------	--	--	--

6. PRODUCT

6-1	triathlon dress	2003~SS	洋服			
6-2	wind flower coat	2005-06~AW	洋服			
	grassy dress	2012-13~AW	洋服			
6-3	oasis dress	2006~SS	洋服			
	baby's breath knit	2009~SS	洋服			
6-4	rain chukka dress	2007~SS	洋服			
6-5	kakurenbo dress	2008~SS	洋服			
6-6	alive dress	2011-12~AW	洋服			
6-7	musica dress	2011-12~AW	洋服			
6-8	papillon dress	2007~SS	洋服			
6-9	ballade coat	2007-08~AW	洋服			
	sparkler skirt	2007-08~AW	洋服			
6-10	fogland coat	2007-08~AW	洋服			
6-11	imagine dress	2012-13~AW	洋服			
6-12	sleeping rose dress	2010-11~AW	洋服			
6-13	yuki-no-hi	1999-2000~AW	刺繍原画	58.7×20.9	紙、鉛筆	
6-14	tambourine	2000-01~AW	刺繍原画コピー	54.5×42.5	紙、印刷	
6-15	soda water	2001~SS	織り原画	70.5×45	紙、鉛筆	

出品番号	作品名	年代	アイテム名	寸法 (cm)	素材・技法	備考
6-16	soda water 織の方向を示す指示書	2001-SS	関連資料	42×29.5	紙、鉛筆	
6-17	sunny rain	2001-02-AW	プリント原画	90×77	模造紙、鉛筆	
6-18	jelly beans	2002-SS	プリント原画	10.6×63.5	紙、鉛筆、水彩	
6-19	moon flower	2003-SS	刺繍原画	73.4×21.1	紙、鉛筆	
6-20	triathlon	2003-SS	プリント原画	76×125	紙、アクリルガッシュ、自作色紙による切り絵	
6-21	camellia	2003-04-AW	プリント原画	85.6×127.8	紙、アクリルガッシュ、自作色紙による切り絵	
6-22	wataridori	2003-04-AW	プリント原画	91.4×127.2	紙、鉛筆、水彩	
6-23	surplus	2003-04-AW	プリント原画	91.9×139	紙、アクリルガッシュ、自作色紙による切り絵	
6-24	carnival	2003-04-AW	刺繍原画	43×28.2	紙、鉛筆	
6-25	wonder girl	2004-SS	プリント原画	85.6×127.8	紙、鉛筆	
6-26	sticky	2004-SS	プリント原画	139.3×91.6	紙、マスキングテープ	
6-27	nap	2004-SS	プリント原画	85.4×116	紙、アクリルガッシュ、自作色紙による切り絵	
6-28	forest gate	2004-05-AW	ほぐし織り原画	76.7×109	紙、鉛筆、ペン	
6-29	flamingo	2004-05-AW	プリント原画	93×153	紙、水彩、銀紙	
6-30	wave	2005-SS	プリント原画	70×49.7	紙、アクリルガッシュ、自作色紙による切り絵	
6-31	seafowl	2005-SS	プリント原画	89×118.8	紙、ペン、自作色紙による貼り絵、シール	
6-32	childhood	2005-SS	プリント原画	89.4×118.8	紙、鉛筆、ペン、色鉛筆	
6-33	smile	2005-SS	プリント原画	88.3×67	紙、太鉛筆	
6-34	forest parade	2005-SS	プリント原画	84.6×119.2 (2枚)	紙、アクリルガッシュ	
6-35	forest parade	2005-SS	プリント原画	86×127.7 (2枚)	原画コピー	
6-36	wind flower	2005-06-AW	刺繍原画とスケッチ	55×28.2 (2枚)	紙、鉛筆	
6-37	ie	2006-SS	プリント原画	85.6×127.8	紙、アクリルガッシュ、自作色紙による切り絵	
6-38	summer forest	2006-SS	プリント原画	60.5×119.5 (2枚)	紙、ペン、アクリルガッシュ	
6-39	oasis	2006-SS	プリント原画	86.8×125.1	紙、鉛筆、アクリルガッシュ、自作色紙による切り絵	
6-40	flower bed	2006-07-AW	プリント原画	60×45	紙、ペンによる切り絵	
6-41	necco	2007-SS	刺繍原画	35.5×90	模造紙、鉛筆、色鉛筆	
6-42	papillon	2007-SS	版画の版木	140.5×91	板	
6-43	rain chukka	2007-SS	プリント原画	74.5×121.4	紙、色鉛筆	
6-44	ceremony	2007-08-AW	プリント原画	65.7×47.9	紙、アクリルガッシュ、自作色紙による切り絵	
6-45	kakurenbo	2008-SS	織り原画	54.1×33.9	紙、鉛筆、切り絵とスケッチ	
6-46	happy camouflage	2008-SS	刺繍原画	53×28.4	トレーシングペーパー、鉛筆	
6-47	hanaco	2008-SS	織り、プリント原画	87.2×22	紙、アクリルガッシュ	
6-48	mirage	2008-SS	プリント原画	62.4×43	紙、色鉛筆	
6-49	moon bear	2008-09-AW	織り原画	35.5×26.7	紙、鉛筆	
6-50	shadow snow	2008-09-AW	プリント原画	84.8×125.4	紙、鉛筆、太鉛筆	
6-51	obscure	2009-SS	刺繍原画	54.8×28.4	方眼紙、鉛筆	
6-52	galileo	2009-SS	プリント原画	84×121.3	紙、鉛筆	
6-53	cats & dogs	2009-SS	プリント原画	94.4×94.4	紙、水彩	
6-54	bloom	2009-10-AW	織り原画	42×29.6	紙、鉛筆、ペン	
6-55	flower, bird, me	2009-10-AW	プリント原画	17.9×27	紙、万年筆	
6-56	home circle	2009-10-AW	刺繍原画	38.2×28.4	紙、鉛筆	
6-57	gem	2009-10-AW	プリント原画	49.9×49.9	紙、色鉛筆	

出品番号	作品名	年代	アイテム名	寸法 (cm)	素材・技法	備考
6-58	cube	2010~SS	刺繍原画	31×28.4	方眼紙、鉛筆	
6-59	tour	2010~SS	プリント原画	88.5×125.5	紙、色鉛筆	
6-60	before	2010~SS	プリント原画	74.8×125.5 (1枚)、95 ×153(1枚)	紙、色鉛筆、アクリルガッシュ	
6-61	spray	2010~SS	プリント原画	74.4×149.4	紙、パステル、鉛筆	
6-62	coppice	2010-11~AW	織り原画	32×40	紙、太鉛筆、パステル(?)	
6-63	chum	2010-11~AW	刺繍原画	28.4×34.4	方眼紙、鉛筆	
6-64	sonata	2010-11~AW	プリント原画	74.7×156.3	紙、アクリルガッシュ	
6-65	herbarium	2011~SS	刺繍原画	41.9×29.6	方眼紙、鉛筆	
6-66	alive	2011-12~AW	プリント原画	77.7×84.8	紙、鉛筆、色鉛筆、アクリルガッシュ	
6-67	musica	2011-12~AW	プリント原画	75×161.5	紙、切り絵	
6-68	look	2012~SS	プリント原画	38×84.3	紙、鉛筆、水彩	
6-69	tepee	2012~SS	プリント原画	37.4×50	紙、アクリルガッシュ、自作色紙による切り絵	
6-70	north forest	2012~SS	プリント原画	74.7×74.7	紙、ペン	
6-71	hütte	2012~SS	プリント原画	74.7×74.7	紙、鉛筆、ペン	
6-72	atmosphere	2012~SS	プリント原画	37.2×59.8	紙、アクリルガッシュ	
6-73	waltz	2012~SS	刺繍原画	54.4×26.3	方眼紙、鉛筆	
6-74	twins	2012~SS	刺繍原画	42.3×26.4 (2枚) 48×29 (1枚)	方眼紙、紙、鉛筆、ペン	
6-75	rustle	2012~SS	刺繍原画	39×21.5 (1枚) 35.5×26.5 (1枚)	方眼紙、紙、鉛筆	
6-76	letter of flower	2012~SS	プリント原画	24.5×37.5	紙、万年筆	
6-77	imagine	2012-13~AW	織り原画	38×53	紙、水彩	
6-78	snow candle	2013-14~AW	プリント原画	18.5×25	紙、鉛筆、アクリルガッシュ	
6-79	caravan	2013-14~AW	織り原画	49.7×74.5	紙、鉛筆、アクリルガッシュ	
6-80	hana no mi	2013-14~AW	刺繍原画	42×29.6 (2枚)	方眼紙、鉛筆、色鉛筆、ペン	
6-81	nami	2014~SS	プリント原画	18.4×37.3	紙、ペン	
6-82	meri	2014~SS	織り原画	32×39.3	紙、鉛筆	
6-83	piazza	2014-15~AW	プリント原画	72×59	紙、クレヨン	
6-84	montagne	2015~SS	プリント原画	60×85	紙、鉛筆	
6-85	bow	2015~SS	刺繍原画	57.4×39.3	紙、鉛筆、色鉛筆、ペン	
6-86	giraffe chair (forest girl, mori no umi)	1999-	椅子			
6-87	stool 60 (dop-tambourine)	2014	椅子			Artek
6-88	Series 7 in dop	2015	椅子			Fritz Hansen×minä perhonen
6-89	tori bag	2000~SS	バッグ			
6-90	bread	2002~SS	バッグ			
6-91	kiwi	2002-03~AW	バッグ			
6-92	goose	2006~SS	バッグ			
6-93	moopy	2008~SS	バッグ			
6-94	owl	2012~SS	バッグ			
6-95	soda water	2005~SS	ラグ			
6-96	papillon	2007~SS	傘			POE×minä perhonen
6-97	skip	2009-10~AW	メンズスニーカー			
6-98	western boots (choucho)	2002~SS	ウエスタンブーツ			STALLION×minä perhonen
6-99	forest parade	2005~SS	ブーツ			
6-100	CIEL, JOIE, INFINI	2012	キャンドル			Dyptique×minä perhonen
6-101	dop	2014-	靴			Repetto×minä perhonen

出品番号	作品名	年代	アイテム名	寸法 (cm)	素材・技法	備考
6-102	HOUSE IN THE FOREST	2013-	ブランケット			KLIPPAN×minä perhonen
6-103	青森県立美術館 ユニフォーム	2009-	ユニフォーム			
6-104	東京スカイツリー ユニフォーム	2012-	ユニフォーム			
6-105	Bee White	2015	磁器			Richard Ginori×minä perhonen
6-106	ku	2008	磁器 (波佐見焼)			
6-107	fu	2008	磁器 (波佐見焼)			
6-108	beads	2009	磁器 (波佐見焼)			
6-109	cooffee	2010	磁器 (波佐見焼)			
6-110	pudding	2011	磁器 (波佐見焼)			
6-111	nolla	2014	磁器			
7. EVERYDAYS						
7-1		2015	映像			藤井光
8. LIVING						
8-1	mingling dress	2013~SS	洋服			
8-2	carnival tree dress	2016~SS	洋服			
8-3	forest parade dress	2016~SS	洋服			
8-4	swing dress	2013~SS	洋服			
8-5	hana no mi dress	2013-14~AW	洋服			
8-6	twins dress	2012~SS	洋服			
8-7	forest tile coat	2012-13~AW	洋服			
	waterfall skirt	2013-14~AW	洋服			
	even shirt	2014-15~AW	洋服			
8-8	ripples coat	2006-07~AW	洋服			
	sunny spots skirt	2006-07~AW	洋服			
8-9	sand rose dress	2014~SS	洋服			
8-10	cats & dogs dress	2009~SS	洋服			
8-11	wander coat	2015-16~AW	洋服			
	trickle dress	2008-09~AW	洋服			
8-12	HIROSHIMA (dop-choucho)	2014	椅子			MARUNI COLLECTION ×minä perhonen
8-13	perhonen chair	2005	椅子			
8-14	bookmock	2015	本棚			
8-15	booknap	2015	マガジンラック			
8-16	puu (tambourine)	2004	ソファ			
8-17	stool 60 (dop, dop-tambourine, dop-choucho, tarte)	2014	椅子			Artek
8-18	lotus stool (fogland, flower basket)	2014	椅子			
8-19	lamp shade (forest parade, trickle, obscure)		ランプシェード			flame×minä perhonen
8-20	tambourine utsuwa	2015	磁器			
9. IMAGINE						
9-1	tsumiki	2014	積み木			
9-2	bookmock	2015	本棚			
9-3	dolls	2015	人形			nuno*ito asobi
9-4	piazza dress	2013-14~AW	洋服			
9-5	tambourine vest	2015-16~AW	洋服			
9-6	always denim	2016~SS	洋服			
9-7	quartet dress	2015-16~AW	洋服			
10. MINAKAKERU						
10-1	piece, dress	2015~	洋服			
10-2	pallo dress	2016~SS	洋服			
10-3	sky sand dress	2015-16~AW	洋服			
10-4	snow light dress	2015-16~AW	洋服			

出品番号	作品名	年代	アイテム名	寸法 (cm)	素材・技法	備考
10- 5	sound coat	2014-15^AW	洋服			
	wall dress	2014-15^AW	洋服			
10- 6	hoshi*hana dress	1995^SS	洋服			
	tambourine gown	2013^SS	洋服			
10- 7	tambourine, forest parade	2015	写真			撮影：上田義彦
10- 8		2015	テキスタイル			大原織物
10- 9		2015	壁画			皆川明

※出品作品は株式会社ミナ所蔵、皆川明氏所蔵、個人蔵。

※年代は、製品の発表年とした。(SSは春夏、AWは秋冬のシーズンを示す。)

※ミナ ベルホネンの他に特記すべき製作者がある場合は、備考欄に記した。

※洋服については、発表年の異なる複数の洋服を一体のトルソーまたはマネキンにミックスコーディネートして展示した。一体にコーディネートされた洋服をまとめて一つの出品番号とした。

※家具については、出品作のうちミナ ベルホネンがオリジナルで製作したもの、および家具・インテリアのメーカーとの直接のコラボレーションにより製作したもののみを記し、それ以外は参考資料として除外した。

中国駐長崎総領事館設立30周年記念／中国第12回全国美術展受賞優秀作品による「現代中国の美術」
百花繚乱 中国リアリズムの煌めき

平成27年12月12日(土)～平成28年1月31日(日) *43日間 会場：企画展示室

概要：

中国政府が主催する「全国美術展」は、1949年の第1回展以来、5年に一度開催される中国で最大規模かつ最も権威ある展覧会である。ジャンルは中国画、油彩画、水彩画、版画、彫刻など多岐にわたり、応募総数は2万点を下らないといわれている。2014年末に北京の中国美術館で開催された第12回「全国美術展」では、優秀作品約600点が一堂に会した。本展ではそのなかから日本側主催者によってさらに厳選された76点の作品を紹介した。

本展は、中国駐長崎総領事館の設立30周年を記念して開催された。長崎県美術館としては11年目にして初の「中国展」となった。

開催形態：共催展（協同企画／巡回展）

主催：長崎県、長崎県美術館、公益財団法人日中友好会館、中国美術家協会

後援：外務省、文化庁、中華人民共和国駐日本国大使館、中華人民共和国駐長崎総領事館、長崎県教育委員会、長崎市教育委員会、長崎県立長崎図書館、長崎市立図書館、長崎新聞社、西日本新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、NHK長崎放送局、NBC長崎放送、KTNテレビ長崎、NCC長崎文化放送、NIB長崎国際テレビ、長崎ケーブルメディア、エフエム長崎

観覧料：一般1,000(900)円、大学生・70歳以上800(700)円、高校生600(500)円

※中学生以下無料

※()内は、前売券および15名以上の団体料金

※1月2日(土)・3日(日)は入場無料 [18:00閉館]

入場者数：4,628人(1日あたり107人)

出品点数：76点

関連事業：

(1)「講演会「中国美術の現在」(無料／要観覧券)



講師：安永幸一（福岡アジア美術館元館長）

日時：12月12日(土) 14:00～15:30

会場：ホール

参加人数：20人

(2)担当学芸員によるギャラリートーク（無料／要観覧券）

日時：12月27日(日)、1月24日(日) 14:00～

会場：企画展示室

(3)ワークショップ「長崎南画にふれてみよう」(参加費300円) ※事前申込制

講師：川本安夫

日時：1月9日(土) 10:15～13:15

会場：アトリエ

対象：一般

参加人数：21人

主要記事：

- ・中村修二「現代アート厳選の76点」『長崎新聞』12月16日
- ・『出張！ケーブルワイド なんでんカフェ in けんび』長崎ケーブルテレビ 12月23日

出品リスト：

番号	作者名	作品名	制作年	技法・支持体	サイズ (cm)
1	ホアン・ホントオ	光陰の物語	2014	顔料・紙	220×185
2	ジュン・タオ	新しい住まい 昔の思い出	2014	顔料・紙	201×178
3	チェン・ジー/ウー・シン	団らん-家族愛	2014	顔料、墨ほか・絹	172×200
4	リー・チンジエ	祈年殿	2014	ミョウバン、墨・紙	206×180
5	リン・ベイセン	千年の夢	2014	顔料・紙	197×190
6	ガン・ルー	速達配達人	2014	顔料・紙	200×200
7	リュウ・ジンギイ	祭日の山村	2014	顔料・紙	180×175
8	ゼン・チュンピン	春を連れ帰る	2014	顔料・紙	220×143
9	チェン・フーピン	野菜系譜図	2013-14	顔料・紙	222×193
10	コン・ジエンフイ	牛市場	2014	顔料・紙	227×187
11	ジャン・ハイチャン	豊漁の蟹	2014	顔料、墨・紙	208×145
12	ルオ・シャオイェン	山の向こう側	2012	顔料、墨・紙	160×120
13	ジャン・ツァー	大山の正月	2014	顔料・紙	240×200
14	ジャン・ジーピン	雪とかす熱い大地	2014	墨、顔料・紙	212×181
15	ソン・シャオミン	午後の風	2014	土、顔料、釉薬ほか・紙	215×173
16	カン・カイ	天高く、雲淡く	2014	墨、顔料・紙	240×120
17	ホワン・ガオ	新しい晴天	2014	顔料、蛤粉ほか・紙	235×139
18	ジャン・シャオイェン	ポインセチア	2014	墨、顔料、アクリル・紙	200×177
19	チェン・アンジエン	茶館シリーズ「本日の主役」	2014	油彩・画布	165×200
20	リー・ジーホア	広東っ子の日常	2014	油彩・画布	176×200
21	リー・アン	生涯	2014	油彩・画布	180×180
22	ヤン・ヤン	風のある日	2014	油彩・画布	146×195
23	ルー・ハオ	夢・バリ	2006	油彩・画布	81×76
24	ワン・ヨンジア	肖像	2014	油彩、アクリル・画布	95×70
25	ホアン・ミン	大いなる沈香	2014	油彩・画布	150×180
26	ワン・フォンホア	土曇	2014	油彩・画布	150×200
27	シュー・チンウェイ	幽谷の泉に聴く	2009	油彩・画布	160×136
28	ホワン・ルンション	高い空 豊かな大地	2014	油彩・画布	210×160
29	スン・ジンガン	遭遇	2014	油彩・板	177×177
30	シャオ・ジンジー	春の小川に流れる暖かな水	2014	油彩・画布	213×193
31	ワン・イーグアン	夕日と月に輝くタングラ	2009	油彩・画布	200×180
32	ジャン・ウェンピン	八月	2012	油彩・画布	138×200
33	ソン・レンウェイ	陝北の紅	2014	油彩・画布	133×200
34	チェン・リンシン	大地の初めての実り	2014	油彩・画布	116×200
35	リー・シン	山水の対話	2014	アクリル、油彩・画布	200×400
36	グー・ベンチー	構造学 No.17	2013	ポリエステル糸、鉄釘、アクリルほか	186×176
37	リー・ハオ	羽化	2014	墨、草の茎ほか・紙	240×60 (3点)
38	ジャオ・ヤン	父さんと母さん	2014	グワッシュ・紙	135×150
39	フォン・ウェイジュン	2012	2012	パステル・紙	160×160
40	シュー・ダンピン	成長シリーズ No.16	2014	水彩・紙	150×130
41	ドン・シーチュン	存在 NO.36過ぎ去る	2014	水彩・紙	152×133
42	イン・ジンフエイ	似水年華 歲月流るる如し	2014	水彩・紙	180×148
43	リュウ・シーリン	麦打場にて	2013	水彩・紙	38×55
44	スー・ジュンチュエン	日の出とともに働き 日の入りとともに休む	2014	水彩・紙	110×80
45	チェン・ヨンジン	山焼き	2011	水彩・紙	100×150
46	トゥ・ロンロン	早春の郊野	2014	グワッシュ・紙	127×130
47	スーヤラチチグ	冬の帰り道	2014	水彩・紙	55×140
48	シュー・ハイガン	亮宝節の人々	2014	水彩・紙	156×150
49	リー・イーチュン	真夜中の聖なる街	2014	水彩・紙	66×105
50	ボン・ウェイ	30代になって	2014	木版・紙	120×80
51	ジョウ・ジーロン	景観-太和殿	2013	シルクスクリーン、銅版・紙	80×100
52	ジャン・ミンジエ	広場での舞踊 No.2	2013	リトグラフ・紙	144×100
53	ユウ・ウーフォン	更けゆく夜	2014	木版・紙	60×86
54	チン・イーティン	地下鉄八号線 幻想シリーズ	2012-13	リトグラフ・紙	40.5×56.5 (4点)

番号	作者名	作品名	制作年	技法・支持体	サイズ (cm)
55	ワン・イエン	「私達は何も見えない。しかしそれでも世界が緑色で満たされることを望む。」	2014	エッチング、アクアチント・紙	100×100
56	リャオ・ヤン	パパとママはどこ行っちゃったの？	2014	シルクスクリーン・紙	100×70
57	フー・シエンウー	さまざまな憶測・2014	2014	エッチング、アクアチント・紙	66×100
58	ヨウ・ユウ	琺瑯カップ 赤い「双喜」図案	2013	木版・紙	92×120
59	ション・ハイポー	チャン族の古村	2014	木版・紙	120×85
60	マー・リーピン／マー・チン	高原を行く車両部隊	2013	シルクスクリーン・紙	67×117
61	ジェン・フォン	月へ飛び立つ頌歌	2014	リトグラフ・紙	62×180
62	ジャン・ユーファイ	漁網を編む	2014	漆、卵の殻・板	180×190
63	シュー・タオ	人々の暮らし	2011	漆、カシュー樹脂、金銀粉ほか・板	140×173
64	リン・イーゲン／リー・タオ	芝居のような人生を	2014	漆、金属箔・板	180×170
65	バイ・ピン	古い中庭の往時	2014	カシュー樹脂、卵の殻、木粉ほか・板	120×160
66	ソン・チョン／ワン・ハイリン	桃花通り 2011年	2009-11	漆、アルミ箔、卵の殻・板	122×180
67	ウー・インユエ／ジュウ・イーリン	蘇州古典園林	2014	漆、紙、卵の殻、アルミ箔他・板	120×176
68	ジュウ・ソン	吉祥銭塘	2014	墨、顔料・紙	180×193
69	リー・ロンイエン	楽しい童謡遊び	2012	顔料・画布	195×160
70	チェン・ウエンジー	グレーマン	2014	コンピューターグラフィック・紙	28×40 (4点)
71	ボン・シャオジュン	広く伝わる百年の味	2011	コンピューターグラフィック・紙	35×45 (4点)
72	ヤン・チュン	美しい森林	2014	アニメーション	6分37秒
73	ユウ・シャン	窓からの景色	2014	アニメーション	5分12秒
74	ジャオ・シンタオ	夢を追う	2014	木、漆、アクリル	59×67×196
75	リュウ・ジンティン／ヤン・ワン	春風化雨	2014	木	60×70×180
76	ワン・ロン	座像シリーズ	2014	シリコーンブロンズ	40×40×95 (1点) 40×40×65 (3点)

ソフィ・カルー最後のとき／最初のとき

平成28年2月6日(土)～3月21日(月・祝) *42日間

会場：企画展示室

概要：

写真と言葉を用いた物語性の強い作品によって国際的に高い評価を得ているフランスの現代美術家、ソフィ・カルー(1953年、パリ生まれ)の九州初の個展。生まれつき盲目の人々に「美しいものとは何か」を問うた《盲目の人々》、人生の途上で失明した人々に「最後に見たもの」について語らせた《最後に見たもの》、貧しさゆえに海を見たことがなかった人々が生まれて初めて海を見たときの姿をとらえた《海を見る》という三つのシリーズで構成。「見ること」「不在」「喪失」などについて静かに思考を促す展覧会となった。

開催形態：単独主催(巡回展)

主催：長崎県美術館

後援：在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本、在長崎フランス名誉領事館、長崎日仏協会、長崎県、長崎県教育委員会、長崎市教育委員会、長崎県立長崎図書館、長崎市立図書館、長崎新聞社、西日本新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、NBC長崎放送、KTNテレビ長崎、NCC長崎文化放送、NIB長崎国際テレビ、長崎ケーブルメディア、エフエム長崎

協力：原美術館、ギャラリー小柳

観覧料：

一般1,000(900)円、大学生・70歳以上800(700)円、高校生600(500)円

※中学生以下無料

※()内は、前売券および15名以上の団体割引料金。

観覧者数：5,291人(1日あたり126人)

出品点数：写真作品3組、映像作品1組

関連事業：

(1)講演会「イメージと言葉がアートになるとき—ソフィ・カルー 真実と嘘のはざままで」(無料/要観覧券)

日時：2月14日(日) 14:00～15:30

会場：ホール

講師：岡部あおみ(美術評論家、パリ日本文化会館展示部門アーティストック・ディレクター)

参加人数：49人

(2)レクチャー「ソフィ・カルー『不在』をめぐって」(無料/要観覧券)

日時：3月5日(土) 14:00～15:00

会場：ホール

講師：福満葉子(担当学芸員)

参加人数：66人



(3)担当学芸員によるギャラリートーク(無料/要観覧券)

日時：2月28日(日)、3月6日(日)、3月13日(日) 14:00～

会場：企画展示室

参加人数：各回20人程度

(4)映画上映会「Sophie Calle: Untitled (ソフィ・カルー アンタイトルド)」(無料/要観覧券)

(ビクトリア・クレイ・メンドーサ監督、2012年、52分、日本語字幕付)

日時：2月20日(土)、2月21日(日)、3月6日(日)

15:00～16:00

会場：ホール

参加人数：49人/32人/45人

(5)視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ(無料/要観覧券 ※事前申込制)

日時：2月27日(土) ①10:30～12:30 ②14:30～16:30

会場：企画展示室

講師：「視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ」代表・林建太、木下路徳

参加人数：6人/8人

(6)見える人と見えない人がつくる美術鑑賞講座(無料)

日時：2月28日(日) 10:30～12:00

会場：ホール

講師：林建太、木下路徳

参加人数：52人

主要記事等：

・生中継『ヨジマル』KTN テレビ長崎 2月16日

・『あっぷる』NBC長崎放送 2月19日

・『フライデーワンダー3』エフエム長崎 2月19日

・山崎聡「カルチャー WEST 見えてくる人間存在の本質」『朝日新聞』3月8日

・中村修二「盲目の人の『美』表現」『長崎新聞』2月12日

- ・web『muto』 デイック・アンド・エス 2月11日
- ・ブログ『ReikaStyle』 山口玲香 2月11日、13日



撮影：岸本康

出品リスト：

番号	枝番号	作者名	作品名	制作年	技法・材質	所蔵	備考
							※展示期間は次のとおり。
1		ソフィ・カル	盲目の人々	1986年	カラー写真、テキスト、額	豊田市美術館	前期：2月6日ー2月29日/ 後期：3月1日ー3月21日
	1		私が見た最も美しいもの、それは海です。……				前期
	2		『グラナダでのロマンス』という題の書物で……				前期
	3		夢の中で、私は自分の息子を見ました。……				前期
	4		モロッコは美しい。……				前期
	5		髪の毛は素晴らしい。……				前期
	6		白は純粋さの色に違いありません。……				前期
	7		クリスマスの飾り、聖ルキア……				前期
	8		オオヤマネコの毛皮。……				前期
	9		私の家は美しい。……				前期
	10		私は、ヴェルサイユの、一列に連なる庭、泉水、人工池が好きです。……				前期
	11		私にとって、最も美しいものは、この絵です。……				前期
	12		私が見た最も美しいものは、ヴェズレーのキリスト像の複製です。……				前期
	13		私が生活をともにしている男性が、私の知っている最も美しいものです。……				後期
	14		緑は美しい。……				後期
	15		ロダン美術館には女性の裸体があって……				後期
	16		オート＝サヴォワの私の家のバルコニーからの眺めは……				後期
	17		羊。それが美しいのは、動かないし、毛があるから。……				後期
	18		カーディフから60キロメートルの所に……				後期
	19		男の人がブロンドの髪をして、目が青いと聞くと、……				後期
	20		1963年8月6日の11時に私はニームで結婚しました。……				後期
	21		海、それはとても美しいと思います。……				後期
	22		私は魚にとっても強い魅力を感じます。……				後期
	23		美しいもの、私はそれを断念しました。……				全会期
2		ソフィ・カル	最後に見たもの	2010年	カラー写真、テキスト、額	作家蔵	
	1		盲目の人とランプ				
	2		盲目の人と日の出				
	3		盲目の人と刺繍				
	4		盲目の人とスポーツカー				
	5		盲目の人とマイクロバス				
	6		盲目の人とリボルバー				
	7		盲目の人とソファ				
	8		盲目の人と大時計				
	9		盲目の人と医師				
	10		盲目の人とトラック				
	11		盲目の人と夫				
	12		盲目の人と柱				
	13		盲目の人とライフル				
3		ソフィ・カル	海を見る	2011年	映像・音響インスタレーション / 4分 / 映像：キャロリーヌ・シャンプティエ	作家蔵	

番号	枝番号	作者名	作品名	制作年	技法・材質	所蔵	備考
	1		海を見る：笑う女				
	2		海を見る：微笑む女				
	3		海を見る：深刻な男				
	4		海を見る：赤ん坊を抱く女				
	5		海を見る：ペー ジュのジャケットの男				
	6		海を見る：老人				
	7		海を見る：子供たち				
4		ソフィ・カル+杉本博司	盲目の人	1999年	写真、テキスト、額	杉本博司氏所蔵	

くまのプーさん展

平成28年3月12日(土)～4月17日(日) 10:00～18:00 *34日間 会場：県民ギャラリー

概要：

ウォルト・ディズニー・スタジオ（米国カリフォルニア州・バーバンク）をベースとする「ウォルト・ディズニー・アーカイブス」のコレクションより、セル画、コンセプト・アート、模型（マケット）やフィギュアなど数多くの貴重な資料、約400点を一堂に展覧した。

開催形態：共催展（受託／巡回展）

運営体制：

主催：長崎新聞社、長崎県美術館、NHK サービスセンター

共催：NIB 長崎国際テレビ

協賛：ジャパネットたかた、大誠ハウス、日本紙工印刷

協力：ウォルト・ディズニー・ジャパン、日本航空、長崎県医師会、長崎新聞販売センター

企画協力：エイチ・ツー・オーカンパニー

後援：長崎県、長崎市、長崎県教育委員会、長崎市教育委員会、長崎県立長崎図書館、長崎市立図書館、長崎県PTA 連合会、長崎国際観光コンベンション協会、長崎県美術協会、長崎県社会福祉協議会、長崎県校長会、長崎県私立幼稚園連合会、長崎市私立幼稚園協会、長崎県保育協会、長崎市保育会、生活協同組合ララコープ、長崎県生活協同組合連合会、長崎商工会議所、長崎花市場、長崎花商協同組合、長崎県花き振興協議会、エフエム長崎、長崎ケーブルメディア、長崎電気軌道、長崎県タクシー協会、長崎親善人形の会（瓊子の会）、長崎県薬剤師会、長崎県歯科医師会、長崎県観光連盟、長崎県書店商業組合 ほか

観覧料：

一般1,100(900)円、高校・大学・70歳以上800(600)円、小学・中学700(500)円、

小学生未満無料

※（ ）内は、前売券および15名以上の団体料金

入場者数：24,859人（1日あたり731人）

出品点数：約400点



関連事業：

(1)ぬりえ&マグネット作りのワークショップ（ぬりえ無料、マグネット作り1回100円/当日受付）

日時：3月19日(土)、20日(日)、26日(土)、27日(日) 10:30～16:30

場所：アトリエ

参加人数：計1,366人（見学含む）

主要記事等：

- ・生中継『なんでん Café』長崎ケーブルメディア 3月25日
- ・「長崎トレンド調査 トレラン」『news every.』NIB 長崎国際テレビ 4月6日
- ・「私とくまのプーさん展（全3回）」『長崎新聞』3月17日～19日
- ・白石彩乃「特集 くまのプーさん展」『長崎新聞』3月11日
- ・「『プーさん』の魅力に迫る！」『ととって』第502号 長崎新聞社 3月6日

2) コレクション展

長崎県美術館開館10周年記念

プラド美術館所蔵 スペイン黄金世紀の静物画—ボデゴンの神秘

平成27年4月23日(木)～7月26日(日) *91日間 会場：常設展示室第1室

概要：

開館10周年の記念企画。プラド美術館の学芸部長ハビエル・ポルトゥース氏を学術監修者に迎え、17世紀のスペイン絵画に特異な個性をもたらしたジャンルである静物画の世界をプラド美術館が所蔵する優品8点により紹介した。

開催形態：共催展（自主企画）

主催：長崎県、長崎県美術館

共催：国立プラド美術館、NBC長崎放送、KTNテレビ長崎、NCC長崎文化放送、NIB長崎国際テレビ

後援：スペイン大使館 Embajada de España、在福岡スペイン国名誉領事館、長崎県教育委員会、長崎市教育委員会、長崎県立長崎図書館、長崎市立図書館、NHK長崎放送局、長崎新聞社、西日本新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、長崎ケーブルメディア、エフエム長崎

助成：公益財団法人鹿島美術財団（※講演会に対する助成）

観覧料：コレクション展料金

入場者数：21,391人（1日あたり235人）

出品点数：8点

関連事業：

記念講演「ベラスケス、肖像を描く画家」（無料）

日時：4月25日(土) 14:00～16:00

会場：ホール

講師：ハビエル・ポルトゥース氏（プラド美術館学芸部長）
（西日逐次通訳：貫井一美氏）

参加人数：120人

※公益財団法人鹿島美術財団助成事業



主要記事：

- ・「日本初公開作品も…スペイン美術の静物画展開幕」『報道センター NBC』（NBC長崎放送）4月23日
- ・「開館10周年でプラド美術館展」『KTN みんなのニュース』（KTNテレビ長崎）4月23日
- ・『スーパーJチャンネルながさき』（NCC長崎文化放送）4月23日
- ・「県美術館10周年そして未来へ 日本初公開も 特別展スタート」『newsevery.』（NIB長崎国際テレビ）4月23日
- ・山下和代「文化 17世紀の静物画 多様性をたどる 日本初公開含む8点」『長崎新聞』4月8日
- ・「水や空」『長崎新聞』4月24日
- ・中村修二「スペイン・プラドの静物画 県美術館 10周年特別展始まる」『長崎新聞』4月24日
- ・坂井彰太「開館10年 スペインの美 追求」『西日本新聞』4月24日

出品リスト：

番号	作者名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	所蔵
1	フェリペ・ラミーレス	食用アザミ、シャコ、ブドウ、アイリスのある静物	1628	油彩・カンヴァス	71×92	プラド美術館
2	ファン・バン・デル・アメン	果物と野菜のある静物	1625	油彩・カンヴァス	56×110	プラド美術館
3	アントニオ・ボンセ	ザクロ	17世紀第2～第3四半期	油彩・カンヴァス	25×35	プラド美術館
4	ミゲル・デ・プレート	ブドウ	1630-44頃	油彩・カンヴァス	29×38	プラド美術館
5	ミゲル・デ・プレート	ブドウ	1630-44頃	油彩・カンヴァス	29×38	プラド美術館
6	ファン・フェルナンデス「エル・ラブラドル」	花卉	1635-36頃	油彩・カンヴァス	44×34	プラド美術館
7	ファン・デ・アレリャーノ	花籠	1670頃	油彩・カンヴァス	84.9×105.1	プラド美術館
8	トマス・イエベス	ブドウの樹のある風景	1645頃	油彩・カンヴァス	67×90	プラド美術館

井上孝治の写真—軍艦島と長崎

平成27年 4月28日(火)～7月26日(日) *86日間 会場：常設展示室第4室

概要：

井上孝治（1919–1993）は、郷里・福岡の昭和の街並みや子供たちの写真で知られるアマチュア写真家。幼い頃に事故で聴力を失うが、カメラ店を営むかたわら生涯に渡って精力的に撮影を続けた。晩年に福岡の百貨店の広告キャンペーンに採用されて注目され、現在は国内外で高く評価されている。本展では、昭和30年代に井上が軍艦島と長崎市内で撮影した作品を紹介。参考資料として、昭和23年に撮影された浦上天主堂の被爆遺構の写真等も紹介した。



開催形態：単独主催（自主企画）

主催：長崎県美術館
協力：井上孝治写真館

観覧者数：19,683人（1日あたり229人）

出品点数：35点（その他、参考資料8点）

関連事業：

レクチャー「なつかしい町の思い出—井上孝治の写真」（無料）

日時：6月21日(日) 11:00～12:00

会場：ホール

講師：福満葉子（担当学芸員）

参加人数：54人

主要記事等：

- ・「写真家井上孝治が見つめた長崎」『報道センター NBC』NBC 長崎放送 5月14日
- ・「軍艦島・長崎の街昭和を写した写真展」『ヨジマル』KTN テレビ長崎 6月1日

- ・「故・井上孝治さんの企画展 聴覚と言葉失った写真家長崎で作品」『news every.』NIB 長崎国際テレビ 7月10日
- ・「廃墟のマリア 被爆した浦上天主堂撮影 ろうあ名写真家 ネガ発見」『長崎新聞』4月28日
- ・「被爆の浦上天主堂撮影 ろうあの名写真家故井上孝治氏 遺族宅で発見 長崎で5枚公開」『西日本新聞』4月28日
- ・「嘆く被爆の浦上天主堂 ろうあの名写真家撮影 遺族宅でネガ見つかる 廃墟の聖人像も捉える」『日本経済新聞』4月28日
- ・「関根めぐみ「戦後復興期の長崎切り取る 浦上天主堂、軍艦島、ハタ揚げ…」」『長崎新聞』4月29日
- ・「山崎あずさ「人と街の息遣い写し取る ろうあのアマ写真家 故井上さんの作品展 国内外で」『毎日新聞』5月9日
- ・「昔日の軍艦島伝える ろうあの名写真家撮影」『日本経済新聞』5月23日
- ・「長崎・軍艦島の躍動捉える ろうあの写真家・井上氏 57年前に撮影」『産経新聞』5月23日

出品リスト：

番号	作者名	作品名	撮影時期	制作年	技法	サイズ(cm)	所蔵
1	井上孝治	長崎市 端島	昭和33 (1958) 年6月2日	2015年に井上一がプリント	ゼラチン・シルバー・プリント	40.6×50.8	井上孝治写真館
2	井上孝治	長崎市 端島	昭和33 (1958) 年6月2日	2015年に井上一がプリント	ゼラチン・シルバー・プリント	40.6×50.8	井上孝治写真館
3	井上孝治	長崎市 端島	昭和33 (1958) 年6月2日	2015年に井上一がプリント	ゼラチン・シルバー・プリント	40.6×50.8	井上孝治写真館
4	井上孝治	長崎市 端島	昭和33 (1958) 年6月2日	2015年に井上一がプリント	ゼラチン・シルバー・プリント	40.6×50.8	井上孝治写真館
5	井上孝治	長崎市 端島	昭和33 (1958) 年6月2日	2015年に井上一がプリント	ゼラチン・シルバー・プリント	40.6×50.8	井上孝治写真館
6	井上孝治	長崎市 端島	昭和33 (1958) 年6月2日	2015年に井上一がプリント	ゼラチン・シルバー・プリント	40.6×50.8	井上孝治写真館
7	井上孝治	長崎市 端島	昭和33 (1958) 年6月2日	2015年に井上一がプリント	ゼラチン・シルバー・プリント	40.6×50.8	井上孝治写真館
8	井上孝治	長崎市 端島	昭和33 (1958) 年6月2日	2015年に井上一がプリント	ゼラチン・シルバー・プリント	40.6×50.8	井上孝治写真館
9	井上孝治	長崎市 端島	昭和33 (1958) 年6月2日	2015年に井上一がプリント	ゼラチン・シルバー・プリント	40.6×50.8	井上孝治写真館
10	井上孝治	長崎市 端島	昭和33 (1958) 年6月2日	2015年に井上一がプリント	ゼラチン・シルバー・プリント	40.6×50.8	井上孝治写真館
11	井上孝治	長崎市 端島	昭和33 (1958) 年6月2日	2015年に井上一がプリント	ゼラチン・シルバー・プリント	40.6×50.8	井上孝治写真館
12	井上孝治	長崎市 端島	昭和33 (1958) 年6月2日	2015年に井上一がプリント	ゼラチン・シルバー・プリント	40.6×50.8	井上孝治写真館
13	井上孝治	長崎市 端島	昭和33 (1958) 年6月2日	2015年に井上一がプリント	ゼラチン・シルバー・プリント	40.6×50.8	井上孝治写真館
14	井上孝治	長崎市 端島	昭和33 (1958) 年6月2日	2015年に井上一がプリント	ゼラチン・シルバー・プリント	40.6×50.8	井上孝治写真館

番号	作者名	作品名	撮影時期	制作年	技法	サイズ(cm)	所蔵
15	井上孝治	長崎市 浦上天主堂	昭和32 (1957) 年 3 月	2015年に井上一がプリント	ゼラチン・シルバー・プリント	40.6×50.8	井上孝治写真館
16	井上孝治	長崎市 浦上天主堂	昭和32 (1957) 年 3 月	2015年に井上一がプリント	ゼラチン・シルバー・プリント	40.6×50.8	井上孝治写真館
17	井上孝治	長崎市 浦上天主堂	昭和32 (1957) 年 3 月	2015年に井上一がプリント	ゼラチン・シルバー・プリント	40.6×50.8	井上孝治写真館
18	井上孝治	長崎市 浦上天主堂	昭和32 (1957) 年 3 月	2015年に井上一がプリント	ゼラチン・シルバー・プリント	40.6×50.8	井上孝治写真館
19	井上孝治	長崎市 浦上天主堂近く	昭和32 (1957) 年 3 月	2015年に井上一がプリント	ゼラチン・シルバー・プリント	40.6×50.8	井上孝治写真館
20	井上孝治	長崎市 日の出町	昭和33 (1958) 年 6 月 2 日	2015年に井上一がプリント	ゼラチン・シルバー・プリント	40.6×50.8	井上孝治写真館
21	井上孝治	長崎市 東山手町あたり	昭和33 (1958) 年 6 月 2 日	2015年に井上一がプリント	ゼラチン・シルバー・プリント	40.6×50.8	井上孝治写真館
22	井上孝治	長崎市 東山手 オランダ坂	昭和33 (1958) 年 6 月 2 日	2015年に井上一がプリント	ゼラチン・シルバー・プリント	40.6×50.8	井上孝治写真館
23	井上孝治	長崎市 東山手 オランダ坂	昭和33 (1958) 年 6 月 2 日	2015年に井上一がプリント	ゼラチン・シルバー・プリント	40.6×50.8	井上孝治写真館
24	井上孝治	長崎市 南山手 祈念坂	昭和33 (1958) 年 6 月 2 日	2015年に井上一がプリント	ゼラチン・シルバー・プリント	40.6×50.8	井上孝治写真館
25	井上孝治	長崎市 南山手	昭和33 (1958) 年 6 月 2 日	2015年に井上一がプリント	ゼラチン・シルバー・プリント	40.6×50.8	井上孝治写真館
26	井上孝治	長崎市 南山手	昭和33 (1958) 年 6 月 2 日	2015年に井上一がプリント	ゼラチン・シルバー・プリント	40.6×50.8	井上孝治写真館
27	井上孝治	長崎市 相生町	昭和33 (1958) 年 6 月 2 日	2015年に井上一がプリント	ゼラチン・シルバー・プリント	40.6×50.8	井上孝治写真館
28	井上孝治	長崎市 相生町	昭和33 (1958) 年 6 月 2 日	2015年に井上一がプリント	ゼラチン・シルバー・プリント	40.6×50.8	井上孝治写真館
29	井上孝治	長崎市 相生町	昭和33 (1958) 年 6 月 2 日	2015年に井上一がプリント	ゼラチン・シルバー・プリント	40.6×50.8	井上孝治写真館
30	井上孝治	長崎市 相生町	昭和33 (1958) 年 6 月 2 日	2015年に井上一がプリント	ゼラチン・シルバー・プリント	40.6×50.8	井上孝治写真館
31	井上孝治	長崎市 相生町	昭和32 (1957) 年 3 月	2015年に井上一がプリント	ゼラチン・シルバー・プリント	40.6×50.8	井上孝治写真館
32	井上孝治	長崎市 相生町あたり	昭和32 (1957) 年 3 月	2015年に井上一がプリント	ゼラチン・シルバー・プリント	40.6×50.8	井上孝治写真館
33	井上孝治	長崎市 相生町	昭和33 (1958) 年 6 月 2 日	2015年に井上一がプリント	ゼラチン・シルバー・プリント	40.6×50.8	井上孝治写真館
34	井上孝治	長崎市 大浦川端通り	昭和32 (1957) 年 3 月	2015年に井上一がプリント	ゼラチン・シルバー・プリント	40.6×50.8	井上孝治写真館
35	井上孝治	長崎市内	昭和32 (1957) 年 3 月	2015年に井上一がプリント	ゼラチン・シルバー・プリント	40.6×50.8	井上孝治写真館
参考 1 - 5	井上孝治	浦上天主堂の被爆遺構	昭和23 (1948) 年 1 月				井上孝治写真館
参考 6	井上孝治	セルフポートレイト	昭和32 (1957) 年 3 月				井上孝治写真館
参考 7		『カメラ・インターナショナル 日本版』創刊準備号、朝日出 版社	1990年				井上孝治写真館
参考 8		<i>Vingt-quatrième rencontres in- ternationales de la photographie.</i> <i>Visions d'auteurs</i> (exh.cat.) Les Rencontres internationales de la photographie, Arles (第24回 アルル国際写真フェスティバル 「作家のヴィジョン」図録)	1993年				井上孝治写真館

竹田信平 アンチモニュメント

平成27年 8月1日(土)～9月13日(日) *43日間 会場：常設展示室第1・2・4室

概要：

戦後70年、被爆70年を迎えるにあたり、メキシコのティファナとドイツのデュッセルドルフを拠点に戦争の記憶の継承の可能性をめぐる活動を展開する竹田信平の仕事を紹介した。南米・北米へ移民した被爆者たちの声を集めた映画やインスタレーションを通し、「モニュメント」とはまた異なる仕方
で記憶を共有・継承することの可能性、あるいはその不可能性について考察した。

開催形態：実行委員会形式（自主企画）

主催：広島・長崎県美術館平和発信事業実行委員会（長崎県美術館、広島県立美術館、長崎原爆資料館、広島平和記念資料館、長崎原爆被災者協議会・被爆を語り継ぐ会、広島県原爆被害者団体協議会・被爆を語り継ぐ会、広島芸術学会、ひろしま文化振興財団）

※「平成27年度 文化庁 地域の核となる美術館・歴史博物館活動支援事業」に採択された「広島・長崎県美術館平和発信事業」の一環として開催

入場者数：5,029人（1日あたり117人）

出品点数：3件（映画1編、インスタレーション2点）

関連事業：

(1)プレイベント「対談：竹田信平×岡村幸宣」（無料）

日時：5月17日(日) 14：00～15：30

会場：ホール

講師：竹田信平氏（作家）、岡村幸宣氏（原爆の図丸木美術館学芸員）

参加人数：40人

(2)さるくツアー「モニュメントからアンチモニュメントへ」（無料／要観覧券） ※事前申込制

日時：8月13日(木) 13：00～18：00

ガイド：竹田信平氏（作家）、今福龍太氏（文化人類学者、東京外国語大学大学院教授）

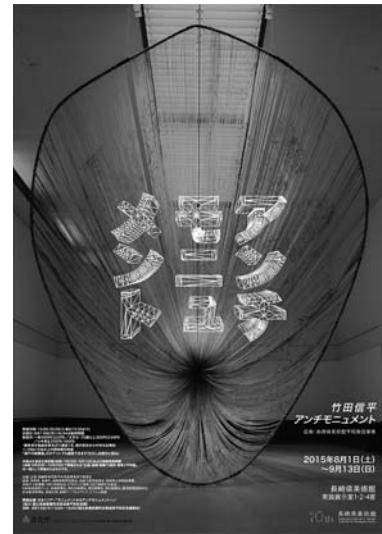
コース：国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館→平和公園周辺→長崎県美術館

協力：国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館

参加人数：33人

主要記事等：

- ・「平和への思い『自由』に紡ぐ竹田信平さるくツアー」『スーパーJチャンネルながさき』NCC長崎文化放送 8月13日
- ・「原爆の記憶と継承まち歩きで考える」『KTN みんなのニュース』KTN テレビ長崎 8月13日



- ・「夏のアートを満喫『竹田信平アンチモニュメント』」『なんでん cafe』長崎ケーブルメディア 8月18日
- ・「被爆体験 芸術通し 竹田さん、作品語る」『朝日新聞』5月18日
- ・中村修二「被爆者の感情残したい 8月から長崎で企画展」『長崎新聞』5月29日
- ・中村修二「メキシコ在住、作家の竹田さん 原爆の記憶を表現」『長崎新聞』8月2日
- ・中村修二、箕川裕之「碑に頼らず行動が大事 記憶継承テーマにさるく」『長崎新聞』8月15日
- ・上野洋光「竹田さん平和特派員に 19人目原爆題材に映像やアート」『西日本新聞』8月15日
- ・高比良由紀「文化 言葉の奥 突き止めたい 下平さんの声アート作品に」『長崎新聞』8月24日
- ・岡田将平「被爆 アートで継承 竹田さん、多様な表現展示」『朝日新聞』8月26日
- ・遠藤信葉「戦後70年 在外被爆者の声 芸術で表現 60人の苦悩に触れ、記憶に迫る」『読売新聞』8月27日
- ・佐藤里佳「『被爆者の声』を創作に 竹田信平さんが作品展 『節目での開催うれしい』」『西日本新聞』8月28日
- ・大矢和世「被爆の記憶を継承するとは しっかりと糸を巻き続けるように」『西日本新聞』9月9日
- ・野中明「若い世代が自らに問う『自分にとっての原爆』」『月刊美術』12月号 実業之日本社 11月20日

出品リスト：

番号	作品名	制作年（製作年）	素材・技法など	展示（上映）場所	所蔵
1	β 崩壊 # 5	2015	墨・糸、PVC（インスタレーション）	常設展示室第1室	作家蔵
2	α 崩壊	2015	鉛筆・紙、映像、音声（インスタレーション）	常設展示室第2室	作家蔵
3	ヒロシマ・ナガサキ ダウンロード	2010	ビデオプロジェクション／73分（長編ドキュメンタリー映画）	常設展示室第4室	

概要：

被爆70周年を機に広島県立美術館と共同で、両館のコレクションと国内の美術館・大学等の所蔵品を通じて、戦争の惨禍と、その対極にある恒久平和への希求を照らし出すことを目的に展覧会を開催した。

広島と長崎が戦争にまつわる共同展を組むというのはこれまで例がなく、開幕以前より注目度が高かった。本展は、原爆にまつわる作品だけではなく、19世紀以降、戦争が芸術家によってどのように描かれてきたのかを4つのテーマに分けて70人もの作家の作品を165点紹介した。

また本展覧会は「平成27年度文化庁地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業」として開催された。

開催形態：実行委員会形式（共同企画）

主催：広島・長崎県美術館平和発信事業実行委員会（広島県立美術館、長崎県美術館、広島平和記念資料館、長崎原爆資料館、広島県原爆被害者団体協議会・被爆を語り継ぐ会、長崎原爆被災者協議会・被爆を語り継ぐ会、広島芸術学会、ひろしま文化振興財団）

後援：長崎県、長崎市、長崎県教育委員会、長崎市教育委員会、長崎県立長崎図書館、長崎市立図書館、NHK 長崎放送局、NBC 長崎放送、KTN テレビ長崎、NCC 長崎文化放送、NIB 長崎国際テレビ、長崎新聞社、西日本新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、日本経済新聞長崎支局、長崎ケーブルメディア、エフエム長崎

観覧料：一般400（320）円、大学生・70歳以上300（240）円、小中高生200（160）円

※県内在住の小中学生無料。

※（ ）内は、15名以上の団体割引料金。

入場者数：4,583人（1日あたり107人）

出品点数：165点（展示替え作品含む）

関連事業：

(1)講演会「近現代の〈総力戦〉と葛藤する美術—ナポレオン戦争から広島・長崎まで」（無料／要観覧券）

日時：9月20日(日) 14：00～15：30

会場：ホール

講師：河本真理（本展学術協力者、日本女子大学教授）

参加人数：45人

(2)映画「陸軍」上映会（昭和19年制作、監督：木下恵介）（無料）

日時：9月26日(土) ①11：00～12：40 ②15：00～16：40



会場：ホール

参加人数：①22人 ②9人

(3)出品作家によるアーティスト・トーク ※逐次通訳付き（無料／要観覧券）

日時：9月21日（月・祝） 14：00～16：00

会場：ホール

講師：カーク・パーマー

参加人数：31人

(4)学芸員によるギャラリートーク（無料／要観覧券）

日時：10月4日(日)、11日(日)、18日(日)、25日(日)

会場：常設展示室

主要記事：

- ・『日曜美術館 アートシーン』Eテレ 8月2日
- ・「被爆70年戦争・被爆実態描く作品展覧会」『ニュース』NHK 長崎放送局 9月20日
- ・『KTN みんなのニュース』KTN テレビ長崎 9月20日
- ・『報道ステーション SUNDAY』テレビ朝日 9月20日
- ・『NCC ニュース』NCC 長崎文化放送 9月20日
- ・山下寿水（広島県立美術館学芸員）「芸術家は戦争をどう描いたか 戦争の表象と記憶が照らす平和の尊さ」『公明新聞』7月1日
- ・井上晋治「展覧会に見る戦争と美術 憂い、悲しみ…渦巻く表現」『読売新聞』9月3日
- ・中村修二「『戦争と平和』向き合う 被爆70年で企画展」『長崎新聞』9月18日
- ・佐藤里佳「『戦争』伝える170点 両被爆地の美術館が企画展 丸木夫妻『原爆の凶』も」『西日本新聞』9月21日
- ・白石知子「戦後70年 『戦争』時代映す表現 戦意高揚・反核向き合う」『読売新聞』9月26日
- ・森園敦「生々しく強いメッセージ プロパガンダから『記

憶の継承』まで 芸術の変遷をたどる』『長崎新聞』10月4日
 ・田中修二(大分大学教授)「思いの深さこそ、表現の核心」『朝日新聞』10月6日

・森園敦「芸術家が問う 戦争と平和 戦争画に滲む葛藤 理不尽さ表現」『朝日新聞』10月15日
 ・森園敦「広島・長崎被爆70周年戦争と平和展」『美術年鑑 art annual 2016』美術年鑑社 1月1日

出品リスト: 作品番号は展覧会カタログの番号に準じており、欠番は長崎展に出品されなかった作品である。また前期(9月20日-10月12日)・後期(10月14日-25日)で作品の入れ替えを行った。

No.	展示	作家名	作品名	制作年	サイズ (cm)	技法・材質	所蔵
第1章 総力戦の先触れ —ナポレオン戦争の栄光と悲惨							
1		ジャック=ノエル=マリー・フレミー	皇帝ナポレオン1世と皇后ジョゼフィーヌの戴冠式(ダヴィッドの作品による)	1804-09頃	25×35	油彩・画布	東京富士美術館
2		アントワーヌ=ジャン・グロの工房	第一執政ボナパルト	1800-04頃	231×158	油彩・画布	東京富士美術館
3		テオドール・ジェリコー	突撃するナポレオン軍の将軍	1810頃	73.5×60.5	油彩・画布	東京富士美術館
4		ジャック=フランソワ・スヴェバック	タボル山の戦い	1812	115.0×200.5	油彩・画布	東京富士美術館
5		マリウス・ジャン・アントニン・メルシエの作品に基づく複製	皇帝ナポレオンの彫像	19世紀	40×44.5×85.1	ブロンズ	東京富士美術館
6	前期	フランシスコ・デ・ゴヤ	戦争の惨禍(1)「来たるべきものへの悲しい予感」	1814-15	17.6×22(版寸)	エッチング、ビュラン、ドライポイント、パーニッシャー	長崎県美術館
7	後期	フランシスコ・デ・ゴヤ	戦争の惨禍(2)「理由があるとなかろうと」	1810-14	15.3×20.6(版寸)	エッチング、ラヴィ、ドライポイント、ビュラン、パーニッシャー	長崎県美術館
8	前期	フランシスコ・デ・ゴヤ	戦争の惨禍(7)「何と勇敢な!」	1810-14	15.5×20.6(版寸)	エッチング、アクアチント、ドライポイント、ビュラン、パーニッシャー	長崎県美術館
9	後期	フランシスコ・デ・ゴヤ	戦争の惨禍(15)「もう助かる道はない」	1810-14	14.1×16.8(版寸)	エッチング、ドライポイント、ビュラン、パーニッシャー	長崎県美術館
10	前期	フランシスコ・デ・ゴヤ	戦争の惨禍(30)「戦争の惨害」	1810-14	14×16.9(版寸)	エッチング、ドライポイント、ビュラン、パーニッシャー	長崎県美術館
11	後期	フランシスコ・デ・ゴヤ	戦争の惨禍(41)「炎をくぐって逃げる」	1810-14	15.9×23.2(版寸)	エッチング、ビュラン	長崎県美術館
12	前期	フランシスコ・デ・ゴヤ	戦争の惨禍(50)「可哀そうなお母さん!」	1812-14	15.5×20.7(版寸)	エッチング、アクアチント、ドライポイント	長崎県美術館
13	後期	フランシスコ・デ・ゴヤ	戦争の惨禍(53)「ほどこす手もなく、彼は死んだ」	1812-14	15.3×20.6(版寸)	エッチング、アクアチント、ラヴィ、ビュラン、パーニッシャー	長崎県美術館
14	前期	フランシスコ・デ・ゴヤ	戦争の惨禍(57)「健康な者と病める者」	1812-14	15.4×20.7(版寸)	エッチング、アクアチント、ビュラン、パーニッシャー	長崎県美術館
15	後期	フランシスコ・デ・ゴヤ	戦争の惨禍(59)「茶碗一杯が何になろう?」	1812-14	15.3×20.5(版寸)	エッチング、アクアチント、ラヴィ	長崎県美術館
16	前期	フランシスコ・デ・ゴヤ	戦争の惨禍(60)「彼らを救う者はいない」	1812-14	15.3×20.7(版寸)	エッチング、アクアチント、ビュラン、パーニッシャー	長崎県美術館
17	後期	フランシスコ・デ・ゴヤ	戦争の惨禍(63)「山積みになされた死体」	1812-14	15.3×20.6(版寸)	エッチング、アクアチント	長崎県美術館
18	前期	フランシスコ・デ・ゴヤ	戦争の惨禍(70)「行くべき道を知らない」	1814-15	17.5×21.9(版寸)	エッチング、ドライポイント、ビュラン、パーニッシャー	長崎県美術館
19	後期	フランシスコ・デ・ゴヤ	戦争の惨禍(72)「結末はこれだ」	1814-15	17.6×21.7(版寸)	エッチング	長崎県美術館
20	前期	フランシスコ・デ・ゴヤ	戦争の惨禍(79)「真理は死んだ」	1814-15	17.3×21.9(版寸)	エッチング、パーニッシャー	長崎県美術館
21	後期	フランシスコ・デ・ゴヤ	戦争の惨禍(80)「彼女はよみがえるだろうか?」	1814-15	17.4×22(版寸)	エッチング、パーニッシャー	長崎県美術館
第2章 最初の総力戦と次なる戦争の予感 —第一次世界大戦と両大戦間期の美術(1914-1938)							
22	前期	オットー・ディックス	『戦争』戦線にはさまれた兵士たちの墓	1923-24	19.3×28.9	エッチング、アクアチント	町田市立国際版画美術館
23	前期	オットー・ディックス	『戦争』毒ガスの犠牲者たち(タンブラー=ラ=フォス)	1923-24	19.4×28.9	エッチング、アクアチント、ドライポイント	町田市立国際版画美術館
24	前期	オットー・ディックス	『戦争』照明弾に照らされた弾孔だらけの平原、ドントリアン近郊	1923-24	19.3×28.9	アクアチント	町田市立国際版画美術館
25	前期	オットー・ディックス	『戦争』負傷兵(1916年秋、パボーム)	1923-24	19.7×29	エッチング、アクアチント	町田市立国際版画美術館
26	後期	オットー・ディックス	『戦争』毒ガスを使って前進する突撃隊	1923-24	19.6×29.1	エッチング、アクアチント、ドライポイント	町田市立国際版画美術館
27	後期	オットー・ディックス	『戦争』壕のなかでの食事(ロレット高地)	1923-24	19.6×29	エッチング、アクアチント	町田市立国際版画美術館
28	後期	オットー・ディックス	『戦争』1917年の死の舞踏(死した者たちの丘)	1923-24	24.5×30	エッチング、アクアチント	町田市立国際版画美術館

No.	展示替	作家名	作品名	制作年	サイズ (cm)	技法・材質	所蔵
29	前期	オットー・ディックス	『戦争』鉄条網のなかの死体 (フランドル)	1923-24	30×24.3	エッチング、アクアチント	町田市立国際版画美術館
30	前期	オットー・ディックス	『戦争』死んだ歩哨	1923-24	19.8×14.7	エッチング、ドライポイント	町田市立国際版画美術館
31	後期	オットー・ディックス	『戦争』榴弾の孔に咲く花 (1916年春、ランス郊外)	1923-24	14.8×19.8	エッチング、ドライポイント	町田市立国際版画美術館
32	後期	オットー・ディックス	『戦争』爆撃をうけるランスの街	1923-24	29.8×24.6	エッチング、ドライポイント	町田市立国際版画美術館
33	後期	オットー・ディックス	『戦争』サン＝マリ＝ア＝ビの狂女	1923-24	28.8×19.8	エッチング	町田市立国際版画美術館
34		ケーテ・コルヴィッツ	鎌を研ぐ『農民戦争』より	1905	29.8×29.8	エッチング、ステンシル	町田市立国際版画美術館
35		ケーテ・コルヴィッツ	畠を耕す者『農民戦争』より	1906	31.5×45.3	エッチング、アクアチント、 エングレヴィング	愛知県美術館
36		ケーテ・コルヴィッツ	死んだ子を抱く女	1903	42.5×48.6	エッチング	町田市立国際版画美術館
37		ケーテ・コルヴィッツ	恋人たちⅡ	1913	71×47×49	ブロンズ	愛知県美術館
38		ケーテ・コルヴィッツ	女を膝に抱く死	1921	23.8×28.8	木版・紙	愛知県美術館
39		ケーテ・コルヴィッツ	カール・リープクネヒト追悼	1920	35.5×50	木版・紙	国立西洋美術館
40		エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー	グラスのある静物	1912	100×74	油彩・画布	愛知県美術館
41		エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー	日の当たる庭	1935	80×70	油彩・画布	愛知県美術館
42	前期	ライオネル・ファイニンガー	パウハウス宣言書表紙	1919	30.5×18.5	木版・紙	広島県立美術館
43		ライオネル・ファイニンガー	海辺の夕暮	1927	45×77	油彩・画布	広島県立美術館
44		カジミール・マレーヴィチ	アロギズム (1つの正方形、2つの長方形、 2つの円、2つの円錐)	1914-15	16.5×11.2	鉛筆・紙	広島県立美術館
45		カジミール・マレーヴィチ	シュプレマティスムの素描 (二つの正方形)	1916	16.2×11	鉛筆・紙	広島県立美術館
46	後期	クルト・シュヴィッターズ	メルツ394、ピナコテーク	1922	17.9×14.3	コラージュ・紙	広島県立美術館
47	後期	マックス・エルンスト	流行に栄あれ、芸術よ墜ちろ (8点組)	1919	45.5×33	リトグラフ	広島県立美術館
48		アレクサンダー・カーノルト	静物	1925	80×101	油彩・画布	広島県立美術館
49	前期	マックス・ベックマン	ヤールマルクト (10点組)	1921	56.5×41.3	ドライポイント	広島県立美術館
50	後期	ジョージ・グロス	群盗 (9点組)	1922	70.0×51	リトグラフ	広島県立美術館
51		キスリング	ルネ・キスリング夫人の肖像	1920	73.7×54.6	油彩・画布	名古屋美術館
52		藤田嗣治	風景	1918	46.2×38	油彩・画布	名古屋美術館
53	前期	パブロ・ピカソ	フランコの夢と嘘 (Ⅰの第1刷)	1937	31.7×42.2	エッチング	広島県立美術館
54	前期	パブロ・ピカソ	フランコの夢と嘘 (Ⅰの第2刷)	1937	31.7×42.2	エッチング、シュガーアクア チント	広島県立美術館
55	前期	パブロ・ピカソ	フランコの夢と嘘 (Ⅱの第1刷)	1937	31.7×42.2	エッチング	広島県立美術館
56	前期	パブロ・ピカソ	フランコの夢と嘘 (Ⅱの第2刷)	1937	31.7×42.2	エッチング、シュガーアクア チント	広島県立美術館
57	前期	パブロ・ピカソ	フランコの夢と嘘 (Ⅱの第3刷)	1937	31.7×42.2	エッチング、シュガーアクア チント	広島県立美術館
58	前期	パブロ・ピカソ	フランコの夢と嘘 (Ⅱの第4刷)	1937	31.7×42.2	エッチング、シュガーアクア チント	広島県立美術館
59	前期	パブロ・ピカソ	フランコの夢と嘘 (Ⅱの第5刷)	1937	31.7×42.2	エッチング、シュガーアクア チント	広島県立美術館
60		パウル・クレー	お金を数える老人	1929	29.7×23.7	エッチング	広島県立美術館
61		パウル・クレー	何で走っているのだろう	1932	23.8×29.9	エッチング	広島県立美術館
62		ジョアン・ミロ	スペインを救え	1937	31×24.5	ステンシル	広島県立美術館
63		ジョアン・ミロ	絵画	1936	78×108	油彩、カゼイン塗料、タール、 砂・メゾナイト	長崎県美術館
64	前期	ロバート・キャバ	崩れ落ちる兵士、コルドバ前線、スペイン	1936	30.5×41.8	ゼラチンシルバープリント	東京富士美術館
65	後期	ロバート・キャバ	ビルバオ、スペイン	1937	27.0×40.5	ゼラチンシルバープリント	東京富士美術館
67		ジャン (ハンス)・アルプ	目覚め (1983年铸造)	1938	高47.5×24×23	ブロンズ	広島県立美術館
70		鬘光	帽子をかむる自画像	1943	60×50	油彩・画布	広島県立美術館
71		藤田嗣治	婦人像 (リオ)	1932	81.2×65	油彩・画布	広島県立美術館
72		松本竣介	車庫近く	1942	33.4×45.5	油彩・画布	広島県立美術館
74		寺田政明	さかな (悲哀)	1943	53.1×33.9	油彩・板	広島県立美術館
第3章 史上最大の戦争と破局の表象 —第二次世界大戦と美術 (1939-1945)							
75		ベン・シャーン	強制収容所	1944	61×61	テンペラ・板	広島県立美術館
76		ヘンリー・ムーア	ティルベリー・シェルター	1941	40×56	グワッシュ、クレヨン他・板	広島県立美術館
77		パブロ・ピカソ	鳩のある静物	1941	60×73	油彩・画布	長崎県美術館

No.	展示替	作家名	作品名	制作年	サイズ (cm)	技法・材質	所蔵
78	前期	バプロ・ピカン	鳩	1949	54×70	リトグラフ	東京富士美術館
79	前期	ロバート・キャバ	“D デイ” 作戦日に上陸するアメリカ軍の先陣部隊 オマハ海岸、ノルマンデー、フランス	1944	27×40.5	ゼラチンシルバープリント	東京富士美術館
80	前期	ロバート・キャバ	シャルトル フランス	1944	27×40.5	ゼラチンシルバープリント	東京富士美術館
81	後期	ロバート・キャバ	バルセロナ、スペイン	1939	40×26.8	ゼラチンシルバープリント	東京富士美術館
82	後期	ロバート・キャバ	防空壕での語りロンドン、イギリス	1941	43×40.5	ゼラチンシルバープリント	東京富士美術館
83		宮本三郎	南苑攻撃図	1941	176.7×255	油彩・画布	東京国立近代美術館
84		小早川篤四郎	印度洋作戦	1943	193×258.5	油彩・画布	東京国立近代美術館
85		花岡萬舟	銃後ト戦線ノ勇士	不詳	130.4×160.4	油彩・画布	早稲田大学會津八一記念博物館
86		須田国太郎	学徒出陣壮行の図	1944	129.5×161.5	油彩・画布	京都大学
87		鍋井克之	戦況ニュース「納涼映画会」	1938	72×89	油彩・画布	大阪市立美術館
88		阿部合成	見送る人々	1938	137.4×165.6	油彩・画布	兵庫県立美術館
89		小野具定	第二ブーゲンビル島沖航空戦	1944	181.8×245.3	油彩・画布	海上自衛隊第一術科学校教育参考館
90		藤田嗣治	南昌新飛行場爆撃ノ図	1940頃	96×161	油彩・画布	海上自衛隊第一術科学校教育参考館
91		今井憲一	穿壕指揮	1943	145.3×112.5	油彩・画布	京都精華大学情報館
92		杉全直	出陣	1944	200.5×158.2	油彩・画布	姫路市立美術館
93		橋本閑雪	讃光	1943	241.0×143.5	絹本着色	大阪市立美術館
94	前期	梶島勝一	『航空少年』（3冊）	1941、1944	25.7×18.3	雑誌	長崎県美術館
95		浜田知明	初年兵哀歌（歩哨）	1954	29.4×20.7	エッチング、アクアチント	姫路市立美術館
96		浜田知明	初年兵哀歌（銃架のかけ）	1951	20×17.5	エッチング、アクアチント	町田市立国際版画美術館
97		浜田知明	初年兵哀歌（ぐにやくにやとした太陽が昇る）	1952	8.9×17.6	エッチング	町田市立国際版画美術館
98		浜田知明	初年兵哀歌（歩哨）	1951	23.8×12.8	エッチング、アクアチント	町田市立国際版画美術館
99		浜田知明	風景	1953	36.2×29.8	エッチング	町田市立国際版画美術館
100		浜田知明	風景	1954	24.8×36.2	エッチング、アクアチント	町田市立国際版画美術館
101		浜田知明	刑場（A）	1954	24.7×19	エッチング、アクアチント	町田市立国際版画美術館
102		香月泰男	1945	1959	72.8×116.7	油彩・画布	山口県立美術館
103		香月泰男	星（有刺鉄線）夏	1966	162×91	油彩・画布	山口県立美術館
104		宮崎進	さいはて	1955頃	54.5×37.9	油彩・画布	広島県立美術館

第4章 被爆70年 —広島・長崎に残された記憶のかたち（1945—）

105		本郷新	嵐の中の母子像	1953	49×40×31	ブロンズ	広島平和記念資料館
106		松添博	母と子	1985	60×72.7	紙本彩色	長崎原爆資料館
107	後期	木村権一	着物の柄が皮膚に焼きついた女性	1945	—	ゼラチンシルバープリント	広島平和記念資料館
108	前期	ジョー・オダネル	焼き場に立つ少年	1945	60×50	ゼラチンシルバープリント	東京富士美術館
109		福井芳郎	ヒロシマ原爆（産業奨励館1947）	1948	159×190	油彩・画布	広島平和記念資料館
110		大木茂	壁C・ドームの中	1948	130.5×97	油彩・画布	広島県立美術館
111	後期	平山郁夫	エノラ・ゲイ	1989	49×60	水彩・紙	広島平和記念資料館
112	後期	平山郁夫	エノラ・ゲイ	1989	33×46	水彩・紙	広島平和記念資料館
113	前期	丸木位里・俊	原爆の図八月六日（原爆の図〈第3部水〉のデッサン）	1950	69.5×51.5	紙本墨画	広島平和記念資料館
114	前期	丸木俊	スケッチ	不詳	24×37.5	紙本墨画	広島平和記念資料館
115		丸木位里・俊	原爆の図 第3部（水）	1950	180×720	紙本彩色	原爆の図丸木美術館
特別展示		木村伊兵衛	木村伊兵衛写真集（『LIVING HIRO-SHIMA』のためのコンタクト）	1947	約30×20	コンタクトプリント	広島県立図書館
116	前期	丸木位里	竹林	1964	各210×270	紙本墨画	広島県立美術館
117	後期	宮川啓五	太田川	1999-2000	92.4×733.4	紙本彩色	広島県立美術館
118		芥川永	太田川（近くの声／太田川1）	1974	高54	ブロンズ	広島県立美術館
119		芥川永	もどれない風（太田川2）	1974	高34	ブロンズ	広島県立美術館
120		芥川永	水のむ子（水／太田川4）	1976	高さ73	ブロンズ	広島県立美術館
121	前期	神田周三	被爆後風景	不詳	56.6×84	油彩・紙	広島県立美術館
122	後期	入野忠芳	原爆ドームの内壁	1956	42.4×72.3	油彩・画布	広島県立美術館
123		入野忠芳	浮遊	1970	117×90.9	油彩・画布	広島県立美術館
124		入野忠芳	不確かな行方一待つ一赤	1969	130.3×162	油彩・画布	広島県立美術館

No.	展示替	作家名	作品名	制作年	サイズ (cm)	技法・材質	所蔵
125		平山郁夫	広島生変因	1979	171×364	紙本彩色	広島県立美術館
126		東松照明	上野町から掘り出された腕時計／長崎国際文化会館・平野町	1961	全紙	ゼラチンシルバークラウドプリント	長崎県美術館
127		東松照明	爆風により崩壊した浦上天主堂の天使像	1961	全紙	ゼラチンシルバークラウドプリント	長崎県美術館
128		東松照明	浦上天主堂のキリスト像／本尾町	1961	全紙	ゼラチンシルバークラウドプリント	長崎県美術館
129		東松照明	熱線と火災で溶解変形した瓶／長崎国際文化会館・平野町	1961	全紙	ゼラチンシルバークラウドプリント	長崎県美術館
130		東松照明	末次助作さん／長崎市江平町	1961	全紙	ゼラチンシルバークラウドプリント	長崎県美術館
131		東松照明	片岡津代さん／長崎市本原町	1961	全紙	ゼラチンシルバークラウドプリント	長崎県美術館
132		東松照明	片岡津代さん／長崎市石神町	1975	全紙	インクジェットプリント	長崎県美術館
133		東松照明	片岡津代さん／長崎市石神町	1996	全紙	クリスタルカラープリント	長崎県美術館
134		東松照明	山口仙二さん／長崎市中園町	1962	全紙	ゼラチンシルバークラウドプリント	長崎県美術館
135		東松照明	山口仙二さん／長崎市柳谷町	1975	全紙	クリスタルカラープリント	長崎県美術館
136		東松照明	山口仙二さん／長崎原爆資料館	1998	全紙	インクジェットプリント	長崎県美術館
137		東松照明	浦川志津香さん／長崎市坂本町	1961	全紙	ゼラチンシルバークラウドプリント	長崎県美術館
138		東松照明	浦川志津香さん／長崎市坂本町	1979	全紙	ゼラチンシルバークラウドプリント	長崎県美術館
139		東松照明	浦川志津香さんと娘たち 左から千佳・朋世・美加・志津香さん／アートアイスタジオ・長崎市上町	1999	全紙	クリスタルカラープリント	長崎県美術館
140		東松照明	谷口稜嘩さん／長崎原爆被災者協議会・岡町	1998	全紙	クリスタルカラープリント	長崎県美術館
141		東松照明	久松スミエさんとかんどし／長崎国際文化会館、長崎原爆資料館	1985/2008	全紙	インクジェットプリント	長崎県美術館
142		池野清	木立	1960	117×90	油彩・画布	長崎県美術館
143		池野清	樹骨	1960	116.8×91.4	油彩・画布	長崎県美術館
144		大津定信	黒い雨	不詳	194×162	元安川と爆心地から採取した砂、平和公園から採取した木を炭化させ溶かした液体・板	作家蔵
145		大津定信	砂に埋もれた十字架A	不詳	194×162	平和公園で採取した砂・板	作家蔵
146		富永直樹	少年平和像（原爆子供記念碑）	1949	146×53×41	ブロンズ	長崎県美術館
147	前期	小川緑	追憶	1957	80.3×116.7	油彩・画布	長崎県美術館
148		上野誠	長崎の廃墟（浦上の廃墟A）	1962	95×52.5	木版	長崎県美術館
149		上野誠	浦上の幻想（浦上の廃墟B）	1962	95×61.6	木版	長崎県美術館
150		上野誠	希望（hope）	1964	62.3×41	木版	長崎県美術館
151		田川憲	長崎原爆遺構（浦上天主堂）	1951	33×39.5	木版、紙	長崎県美術館
152		浜崎左髪子	広島夕景	不詳	65.3×91	紙本彩色	広島県立美術館
153	後期	小山敬三	浦上聖堂	1957	99.9×80	油彩・画布	長崎県美術館
154	後期	片岡脩	LOVE PEACE	1985	103×72.8	シルクスクリーン・紙	広島県立美術館
155	前期	名井万亀	破滅	1952	90.5×65	油彩・画布	個人蔵
156	後期	名井万亀	地獄の港	1958	50.1×65.2	油彩・画布	広島県立美術館
157		福田徳樹	AD NOS, NAGASAKI（私たちの長崎へ）	2001	227×194	油彩・画布	長崎県美術館
158		石内都	ひろしま#5	2008	154×100	タイプCプリント	個人蔵
159		石内都	ひろしま#9	2007	108×74	タイプCプリント	テルモ株式会社
160		石内都	ひろしま#66	2007	108×74	タイプCプリント	テルモ株式会社
161		石内都	ひろしま#69	2008	108×74	タイプCプリント	テルモ株式会社
162		石内都	ひろしま#59	2007	33.5×23	タイプCプリント	テルモ株式会社
163		石内都	ひろしま#86	2008	23×33.5	タイプCプリント	テルモ株式会社
164		石内都	ひろしま#11	2007	108×74	タイプCプリント	テルモ株式会社
165		石内都	ひろしま#45	2007	74×108	タイプCプリント	テルモ株式会社
166		竹田信平	記憶のエンコード／デコード（ベータ崩壊#4）	2013-14	150×500	ウール、綿、金属	作家蔵
168		カーク・パーマー	広島	2007	—	フィルム・インスタレーション（デジタル・プロジェクト）	作家蔵
169		カーク・パーマー	戦争の終焉：記憶の島	2012	—	HDビデオ・インスタレーション	作家蔵

レンブラントハウス美術館所蔵レンブラント版画名品展

平成27年12月19日(土)～平成28年2月21日(日) *57日間 会場：常設展示室第1・2室

概要：

アムステルダムにあるレンブラントハウス美術館の全面協力のもと、同館の版画コレクションから、《病人たちを癒すキリスト（百グルデン版画）》を始めとするレンブラントの優品約30点を紹介した。第1室で作品を展示し、第2室はレンブラントハウス（レンブラントの旧居）の室内を再現するディスプレイによりレンブラントが生活し制作した当時の環境を追体験できる空間とした。

開催形態：単独主催

主催：長崎県、長崎県美術館

後援：オランダ王国大使館、在大阪・神戸オランダ王国総領事館、在長崎オランダ王国名誉領事館、日蘭協会、長崎日蘭協会、長崎市、長崎県教育委員会、長崎市教育委員会、長崎県立長崎図書館、長崎市立図書館、長崎新聞社、西日本新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、NHK長崎放送局、NBC長崎放送、KTNテレビ長崎、NCC長崎文化放送、NIB長崎国際テレビ、長崎ケーブルメディア、エフエム長崎

特別協力：レンブラントハウス美術館

協賛：長崎バスグループ

助成：オランダ王国大使館

入場者数：10,185人（1日あたり179人）

出品点数：30点（版画29点、原版1点）

関連事業：

(1)レンブラントハウス美術館学芸員によるギャラリートーク（無料／要観覧券）

日時：12月18日(金) 15:15～15:45

※オープン前日内覧会時

会場：常設展示室

講師：レオノーレ・ファン・スローテン

参加人数：80人

(2)講演会「版画家レンブラント—母型（マトリックス）の変形、基底材の変容」（無料／要観覧券）

日時：1月30日(土) 14:00～15:30

会場：ホール

講師：幸福 輝（国立西洋美術館客員研究員）

参加人数：41人

(3)担当学芸員によるギャラリートーク（無料／要観覧券）

日時：12月27日(日)、1月10日(日)、24日(日) 15:00～

会場：常設展示室

参加人数：各回15人程度

(4)ワークショップ「はじめてのエッチング」 ※事前申込制



日時：1月16日(土) 10:30～16:30

会場：アトリエ

対象：中学生以上

参加費：300円（要本展観覧券）

参加人数：19人

主要記事等：

- ・「あすから県美術館で開催『光と影レンブラント版画名品展』」『KTN みんなのニュース』KTN テレビ長崎 12月18日
- ・「レンブラント版画の作品展」『ニュース』NHK長崎放送局 12月19日
- ・「レンブラントの版画30点 19日から長崎県美術館」『西日本新聞』12月17日
- ・金沢皓介「明暗表現 傑作ならぶ」『西日本新聞』12月20日
- ・中村修二「エッチングで描く光と影 県美術館でレンブラント版画名品展」『長崎新聞』12月23日
- ・八尋紀子「レンブラントの版画 繊細な表現を間近に 県美術館で30点展示」『朝日新聞』1月20日

出品リスト：

番号	作者名	作品名	制作年	技法・ステート*	サイズ (mm)	所蔵
1	レンブラント・ファン・レイン	サスキアを伴う自画像	1636	エッチング 第3ステート(4)	104×95	レンブラントハウス美術館
2	レンブラント・ファン・レイン	石の手摺りにもたれる自画像	1639	エッチング、ドライポイント 第2ステート(2)	205×164	レンブラントハウス美術館
3	レンブラント・ファン・レイン	三つの女性の頭部	c. 1637	エッチング 第3ステート(3)	127×103	レンブラントハウス美術館
4	レンブラント・ファン・レイン	テーブルを前に腰掛けるレンブラントの母	c. 1631	エッチング 第2ステート(3)	149×131	レンブラントハウス美術館
5	レンブラント・ファン・レイン	貝殻 (学名: conus marmoreus)	1650	エッチング、ドライポイント、エングレーヴィング 第2ステート(3)	97×132	レンブラントハウス美術館
6	レンブラント・ファン・レイン	アダムとエヴァ	1938	エッチング 第2ステート(2)	162×116	レンブラントハウス美術館
7	レンブラント・ファン・レイン	アブラハムと三人の天使	1656	エッチング、ドライポイント 唯一のステート	159×131	レンブラントハウス美術館
8	レンブラント・ファン・レイン	ダビデとゴリアテ	1655	エッチング、ドライポイント 第4ステート(5)	106×74	レンブラントハウス美術館
9	レンブラント・ファン・レイン	トビアスの家族のもとを去る天使	1641	エッチング、ドライポイント 第2ステート(9)	103×154	レンブラントハウス美術館
10	レンブラント・ファン・レイン	シメオンの賛歌	c. 1640	エッチング、ドライポイント 第2ステート	213×290	レンブラントハウス美術館
11	レンブラント・ファン・レイン	エジプトへの逃避	1654	エッチング、ドライポイント 唯一のステート	93×144	レンブラントハウス美術館
12	レンブラント・ファン・レイン	博士たちと議論するキリスト	1654	エッチング 唯一のステート	95×144	レンブラントハウス美術館
13	レンブラント・ファン・レイン	神殿から商人を追い払うキリスト	1635	エッチング、ドライポイント 第1ステート(4)	136×169	レンブラントハウス美術館
14	レンブラント・ファン・レイン	病人たちを癒やすキリスト (百グルデン版画)	c. 1648	エッチング、ドライポイント、エングレーヴィング 第2ステート(2)	278×288	レンブラントハウス美術館
15	レンブラント・ファン・レイン	放蕩息子の帰還	1636	エッチング 唯一のステート	156×136	レンブラントハウス美術館
16	レンブラント・ファン・レイン	樹の下で祈る聖フランチェスコ	1657	ドライポイント、エッチング・和紙 第2ステート(2)	180×244	レンブラントハウス美術館
17	レンブラント・ファン・レイン	放浪の農民の家族	c. 1652	エッチング 第2ステート(3)	113×93	レンブラントハウス美術館
18	レンブラント・ファン・レイン	習作 ベッドに横たわる女性、物乞いの夫婦、老人たち	c. 1639	エッチング 唯一のステート	151×136	レンブラントハウス美術館
19	レンブラント・ファン・レイン	豚	1643	エッチング、ドライポイント 第1ステート(2)	145×184	レンブラントハウス美術館
20	レンブラント・ファン・レイン	小便をする男	1630	エッチング 第3ステート(4)	82×48	レンブラントハウス美術館
21	レンブラント・ファン・レイン	義足の物乞い	c. 1630	エッチング 第1ステート(4)	114×66	レンブラントハウス美術館
22	レンブラント・ファン・レイン	義足の物乞い		エッチング銅版	114×66	レンブラントハウス美術館
23	レンブラント・ファン・レイン	画商クレメント・デ・ヨンゲの肖像	1651	エッチング、ドライポイント、エングレーヴィング 第5ステート(10) Etching, drypoint and engraving, state II (10)	207×161	レンブラントハウス美術館
24	レンブラント・ファン・レイン	画商クレメント・デ・ヨンゲの肖像	1651	エッチング、ドライポイント、エングレーヴィング 第2ステート(10) Etching, drypoint and engraving, state II (10)	207×161	レンブラントハウス美術館
25	レンブラント・ファン・レイン	パンケーキを焼く女	1635	エッチング 第2ステート(7)	109×77	レンブラントハウス美術館
26	ヤン・ファン・デ・フェルデ (子) (1593-1641)	パンケーキを焼く女	1626	エングレーヴィング	185×130	レンブラントハウス美術館
27	レンブラント・ファン・レイン	風車	1641	エッチング 唯一のステート	145×208	レンブラントハウス美術館
28	レンブラント・ファン・レイン	北東から見たアムステルダム	c. 1641	エッチング 唯一のステート	112×153	レンブラントハウス美術館
29	レンブラント・ファン・レイン	田舎家と干し草小屋	1641	エッチング、ドライポイント 唯一のステート	129×321	レンブラントハウス美術館
30	レンブラント・ファン・レイン	石膏デッサンをする弟子	c. 1641	エッチング 第2ステート(6)	94×64	レンブラントハウス美術館

★ () 内は、全ステート数を示す。

■常設展示室第1室

没後30年 鴨居玲の芸術

平成27年10月31日(土)～12月13日(日)

主要記事等：

・中村修二「内面めぐり出す素描力 社会的弱者と自身重ね」『長崎新聞』12月6日

出品リスト：

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	A 2 イ1032	鴨居玲	膝を抱える少女
2	A 2 イ1030	鴨居玲	自画像
3	A 2 イ1033	鴨居玲	夜
4	A 2 ロ0335	鴨居玲	太鼓
5	A 2 イ1105	鴨居玲	かるた
6	A 2 ロ0192	鴨居玲	パリ風景
7	A 2 イ1031	鴨居玲	蛾
8	A 2 イ1019	鴨居玲	サイコロ
9	A 2 ロ0327	鴨居玲	婦人像
10	A 2 イ0295	鴨居玲	宝くじ売り
11	A 2 イ0185	鴨居玲	英雄
12	A 2 イ0302	鴨居玲	私の話を聞いてくれ
13	A 2 ロ0040	鴨居玲	狂候えよ
14	F ロ0013	井上博道	鴨居玲肖像
15	A 2 イ0347	鴨居玲	廃兵
16	A 2 イ0303	鴨居玲	恋人達 (B)
17	A 2 イ1020	鴨居玲	自画像 (パレット)

シノワズリー長崎の中の「中国」

平成28年2月26日(金)～4月24日(日)

主要記事等：

野中明「うしなわれゆくものとどめる—田川憲 日常の深層をあぶり出す—東松照明」『長崎新聞』平成28年4月3日

出品リスト：

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	A3ロ0045	田川憲	めがね橋早春
2	A3ロ0029	田川憲	福濟寺
3	A3ロ0049	田川憲	聖福寺鬼塚
4	A3ロ0014	田川憲	白い木の魚
5	A3ロ0015	田川憲	黄檗書意
6	A3ロ0020	田川憲	黄檗興福寺
7	A3ロ0028	田川憲	飛龍の屋根
8	Hイ0047	東松照明	時中小学校（現・孔子廟）
9	Hイ0099	東松照明	関帝像
10	Hイ0046	東松照明	華僑
11	Hイ0152	東松照明	ペーロン
12	Hイ0117	東松照明	中国の木神
13	Hイ0387	東松照明	無題
14	Hイ0479	東松照明	無題
15	Hイ0141	東松照明	蛇頭
16	Hイ0361	東松照明	無題
17	Hイ0519	東松照明	無題
18	Hイ0225	東松照明	奉納蛇踊りのメンバー
19	Hイ0024	東松照明	住職とマイちゃん
20	Hイ0061	東松照明	中国盆 4 高玉樹さん
21	Hイ0123	東松照明	おくんち 1
22	Hイ0126	東松照明	おくんち 4
23	Hイ0127	東松照明	おくんち 5
24	Hイ0230	東松照明	「助言無用」の毎日将棋
25	Hイ0443	東松照明	無題
26	Hイ0474	東松照明	無題
27	Hイ0521	東松照明	無題
28	Hイ0059	東松照明	中国盆 2 食事
29	Hイ0060	東松照明	中国盆 3 供物
30	Hイ0062	東松照明	中国盆 5 什錦菜
31	Hイ0064	東松照明	ランタン祭り
32	Hイ0148	東松照明	孔子廟
33	Hイ0350	東松照明	無題
34	Hイ0362	東松照明	無題
35	Hイ0363	東松照明	無題
36	Hイ0367	東松照明	無題
37	Hイ0484	東松照明	無題
38	Hイ0562	東松照明	無題
39	Hイ0359	東松照明	無題
40	Hイ0407	東松照明	無題
41	Hイ0469	東松照明	無題
42	Hイ0528	東松照明	無題
43	Hイ0571	東松照明	無題
44	Hイ0418	東松照明	無題
45	Hイ0420	東松照明	無題
46	Hイ0465	東松照明	無題
47	Hイ0364	東松照明	無題
48	Hイ0472	東松照明	無題
49	Hイ0578	東松照明	無題

■常設展示室第2室

長崎ゆかりの美術1—洋画

平成27年4月23日(木)～7月26日(日)

出品リスト：

番号	収蔵番号	作者名	作品名	備考
1	A2イ0210	彭城貞徳	和洋合奏之図	
2	A2イ1034	山本森之助	フランスの田舎	
3	A2イ0223	山本森之助	蒲郡の朝	
4	A2イ0003	渡辺〔宮崎〕与平	金さんと赤	
5	A2イ0268	永見徳太郎(夏汀)	朝のヒマラヤ(印度)	
6	A2イ0004	横手貞美	ビロード服の女	
7	A2イ0507	横手貞美	モンマルトル風景	
8	A2イ0029	野口彌太郎	丘の眺め	
9	A2イ0238	野口彌太郎	カフェーのテラス	
10	A2イ0027	小山敬三	浦上聖堂	7/12まで
11	A2イ1036	古賀春江	彦山図	7/14から
12	A2イ0025	中川一政	長崎マリア園	
13	A2イ0266	鈴木信太郎	長崎の丘	
14	A2イ0776	青山龍水	雲仙	
15	A2イ0008	池野清	鳩笛たち	
16	A2イ0207	池野清	手	

長崎ゆかりの美術2—日本画

平成27年10月31日(土)～12月13日(日)

主要記事等：

田村真菜実「文化勲章受章の画家・松尾さん 初めて描いた故郷寄贈」『西日本新聞』11月27日

中村修二「長崎出身の日本画家・松尾さん 夜景の屏風絵 県に寄贈」『長崎新聞』11月27日

出品リスト：

番号	収蔵番号	作者名	作品名	備考
1	A1イ0122	大野有臺	花鳥図	
2	A1イ0244	江上瓊山	青緑松林山水図	
3	A1イ0245	江上瓊山	青緑松谿孤亭図	
4	A1イ0133	荒木十畝	梅花群雀図	
5	A1イ0039	大久保玉珉	国幣中社諏訪神社祭礼還御絵巻(住吉神社の巻)	
6	A1イ0052	大久保玉珉	伊勢大廟図	
7	A1イ0126	大久保玉珉	富士之図	
8	A1イ0221	栗原玉葉	美人図	
9	A1イ0186	栗原玉葉	尼僧(童貞)	
10	A1イ0045	小柳創生	東山手風景(旧福島屋)	
11	A1イ0037	松尾敏男	火口湖	
12	A1イ0163	松尾敏男	貧しき人	11/25まで
13	A1イ0233	松尾敏男	朝光のヴェネツィア	11/25まで
14	H27年度新収蔵	松尾敏男	長崎旅情	11/26から

長崎ゆかりの美術 3—工芸

平成28年 2月26日(金)～ 4月24日(日)

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	D/A0419	中里末太郎 (陽山)	白磁透彫牡丹唐草文蓋物
2	D/A0073	横石圭介	三彩唐草文三耳壺
3	D/A0426	中里末太郎 (陽山)	染付松竹梅平水指
4	D/A0122	2代中里雅松	染付唐子絵皿
5	D/A0447	中里末太郎 (陽山)	染付松上の鶴絵皿
6	D/A0428	中里末太郎 (陽山)	染付竹文輪花大皿
7	D/A0449	中里末太郎 (陽山)	染付竹絵長手皿
8	D/A1082	富永和弘	ささ
9	D/A0405	中里末太郎 (陽山)	染付梅樹文花瓶
10	D/A0420	中里末太郎 (陽山)	染付四君子文香炉 (大)
11	D/A0172	森正洋	ねじり梅茶器
12	D/A0408	中里末太郎 (陽山)	染付鉄釉梅樹文花瓶
13	D/A0166	池田傳平	釉裏紅梅花文蓋物
14	D/A0242	14代酒井田柿右衛門	濁手山桜文花瓶
15	D/A0258	中里三猿	染付浮上柳鷺文浅鉢
16	D/A0418	中里末太郎 (陽山)	染付盛夏柳文蓋物
17	D/A0477	中里末太郎 (陽山)	染付菊紋章入急須
18	D/A0454	中里末太郎 (陽山)	染付菊紋章入碗、皿
19	D/A0455	中里末太郎 (陽山)	染付菊折枝文碗
20	D/A0117	中里安吉郎	白磁菊細工香炉
21	D/A0415	中里末太郎 (陽山)	染付菊菘文德利
22	D/A0465	中里末太郎 (陽山)	染付菊菘文蓋碗
23	D/A1047	小浜焼・本多親基	染付菘葵文小皿
24	D/A0256	中里三猿	染付色浮上鬼灯文花瓶
25	D/A0395	中里末太郎 (陽山)	染付葡萄文花瓶
26	D/A0430	中里末太郎 (陽山)	染付葡萄文輪花大皿
27	D/A0164	中里末太郎 (陽山)	桃絵染付長生皿
28	D/A1085	中村強	白磁柿形蓋物
29	D/A0402	中里末太郎 (陽山)	染付瑞果繫文花瓶

■常設展示室第3室

須磨コレクション1

平成27年4月28日(火)～9月17日(木)

※4月26日(日)までの「須磨コレクション3」については平成26年度の年報を参照

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	A2イ0519	作者不詳(スペイン)	聖アンデレ
2	A2イ0520	作者不詳(スペイン)	聖ユダ
3	A2イ0110	作者不詳(アラゴン派)	聖母の戴冠
4	A2イ0517	作者不詳(アラゴン派あるいはカタルーニャ派)	聖ステパノ
5	A2イ0112	ペレーアの画家	洗礼者聖ヨハネ
6	A2イ0522	作者不詳(スペイン)	聖パウロ
7	A2イ0130	作者不詳(カステイーリャ派)	巡礼者聖ヤコブ
8	A2イ0111	作者不詳(カステイーリャ派)	聖母の嘆き(ビエタ)
9	A2イ0133	作者不詳(カステイーリャ派)	ゲッセマネの祈り
10	A2イ0113	作者不詳(スペイン)	聖ベテロと聖フランチェスコを伴ったキリストの磔刑
11	A2イ0636	作者不詳(スペイン)	磔刑
12	A2イ0069	作者不詳(スペイン)(ファン・パントーハ・デ・ラ・クルスの周辺)	フェリペ二世
13	A2イ0101	ファン・パントーハ・デ・ラ・クルス	フエンテス伯爵
14	A2イ0142	作者不詳(カステイーリャ派あるいはアンダルシア派)	聖母と眠れる幼児キリスト
15	A2イ1066	ファン・カレーニョ・デ・ミランダ(1614年～1685年)	聖アンナ、聖ヨアキム、洗礼者聖ヨハネのいる聖母子
16	A2イ0076	作者不詳(セビーリャ派)	十字架を担う幼児キリスト
17	A2イ0362	ルイ＝ミシェル・ヴァン・ローと工房	フェルナンド6世
18	A2イ0362-2	ルイ＝ミシェル・ヴァン・ローと工房	バルバラ・デ・ブラガンサ
19	A2イ0141	ダニエル・バスケス・ディアス	須磨彌吉郎の肖像

須磨コレクション2

平成27年10月31日(土)～平成28年5月8日(日)

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	A2イ0086	エウヘニオ・ルーカス・ベラスケス	貧者の聖体拝領
2	A2イ0537	エウヘニオ・ルーカス・ベラスケス	川の流れる風景
3	A2イ0475	マリアノ・フォルトゥーニ	東洋の幻想
4	A2イ0096	アンヘル・リスカーノ	親睦のつどい
5	A2イ0623	アンヘル・リスカーノ	自分の鳥を治めるサンチョ・パンサ(『ドン・キホーテ』より)
6	A2イ0621	アンヘル・リスカーノ	自由(『ドン・キホーテ』より)
7	A2イ0543	ライムンド・デ・マドラーソ	リュサンジュ公
8	A2イ0474	イグナシオ・ピナソ・カマルレンク	裸の子供
9	A2イ0758	イグナシオ・ピナソ・カマルレンク	イカロス遊び
10	A2イ0542	アントニオ・ムニョス・デグライン	聖地(エルサレム)
11	A2イ0554	リカルド・バローハ	メモリア門
12	A3イ0054	リカルド・バローハ	仮装行列
13	A2イ0549	リカルド・デ・ビリョーダス	自画像
14	A2イ0541	モデスト・ウルジェイ	共同墓地のある風景
15	A2イ0136	ダニエル・バスケス・ディアス	きこりのホルヘ
16	A2イ0559	ダニエル・バスケス・ディアス	イスパニダー記念聖堂
17	A2イ0476	ホセ・グティエレス・ソラーナ	軽業師たち
18	A2イ0477	ホセ・グティエレス・ソラーナ	アスファルト作業員
19	A2イ0141	ダニエル・バスケス・ディアス	須磨彌吉郎の肖像

■常設展示室第4室

ダリの版画—哲学者の錬金術

平成27年10月27日(火)～平成28年1月11日(月・祝)

※4月26日(日)までの「菊畑茂久馬『春風』」については平成26年度の年報を参照

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	A 3 ro0097	サルバドール・ダリ	オウロポロス
2	A 3 ro0097	サルバドール・ダリ	哲学者の坩堝
3	A 3 ro0097	サルバドール・ダリ	不死
4	A 3 ro0097	サルバドール・ダリ	不死鳥
5	A 3 ro0097	サルバドール・ダリ	錬金術の天使
6	A 3 ro0097	サルバドール・ダリ	エメラルドの陰刻板
7	A 3 ro0097	サルバドール・ダリ	陰と陽
8	A 3 ro0097	サルバドール・ダリ	錬金術師の夢、もしくは生命の樹
9	A 3 ro0097	サルバドール・ダリ	迷宮
10	A 3 ro0097	サルバドール・ダリ	王と王妃

舟越保武—長崎26殉教者記念像のためのドローイング

平成28年1月13日(水)～4月10日(日)

主要記事等：

- ・「26殉教者 内面まで描く」『長崎新聞』1月25日
- ・「舟越保武ドローイング展 県美術館 26殉教者記念像15点」『読売新聞』1月22日

番号	収蔵番号	作者名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	所蔵
1	A 2 口0489	舟越保武	フェリッペ・デ・ヘスス				
2	A 2 口0490	舟越保武	ルドビコ白衣				
3	A 2 口0491	舟越保武	フランシスコ吉				
4	A 2 口0492	舟越保武	パウロ三木				
5	A 2 口0494	舟越保武	ベトロ・バプチスタ				
6	A 2 口0498	舟越保武	聖フェリッペ・デ・ヘスス				
7	A 2 口0499	舟越保武	聖パウロ茨木				
8	A 2 口0564	舟越保武	聖フランシスコ・デ・サン・ミゲル				
9	A 2 口0571	舟越保武	衣の習作				
10	A 2 口0572	舟越保武	衣の習作				
11	A 2 口0567	舟越保武	聖ヨハネ五島(ヨハネ草庵)				
12	A 2 口0565	舟越保武	聖ガブリエル(ガブリエル十助)				
13	A 2 口0566	舟越保武	聖マルチノ・デ・ラ・アセンシオン(御昇天のマルチノ)				
14		舟越保武	聖パウロ三木	c. 1960	墨・紙	38×28	個人蔵
15		舟越保武	聖ルドビコ茨木	c. 1960	墨・紙	47×29	個人蔵

■常設展示室第5室

スペイン近現代美術 1

平成27年4月28日(火)～9月17日(木)

※4月26日(日)までの「スペイン近現代美術3」については平成26年度の年報を参照

出品リスト

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	A2イ0513	パブロ・ピカソ	鳩のある静物
2	A3ロ0430	パブロ・ピカソ	女の顔
3	A2イ0240	ジョアン・ミロ	絵画
4	A2イ0258	サルバドール・ダリ	海の皮膚を引きあげるヘラクレスがクビドをめざめさせようとするヴィーナスにもう少し待つて欲しいと頼む
5	A3ロ0087	アントニ・タピエス	インフォーマル
6	A2ニ0085	アントニ・タピエス	身体のコポジション
7	A3イ0075	アントニ・クラベ	手袋のアッサンブラージュ
8	A2イ0248	ルイス・フェイト	作品
9	A2イ0249	ルイス・フェイト	作品
10	A2イ0308	アントニオ・ロベス	フランシスコ・カレテロ
11	A2イ1038	エドゥアルド・アロージョ	ハエの楽園、あるいはヴァルター・ベンヤミンのボル・ボウでの最期
12	A2ロ0512	マヌエル・フランケロ	無題
13	A2イ1039	アントニオ・ムラド	ディプティック (赤と灰色)

スペイン近現代美術 2

平成27年10月27日(火)～平成28年5月8日(日)

番号	収蔵番号	作者名	作品名	備考
1	A2イ0513	パブロ・ピカソ	鳩のある静物	
2	A3ロ0430	パブロ・ピカソ	女の顔	
3	A2イ0240	ジョアン・ミロ	絵画	
4	A2イ0258	サルバドール・ダリ	海の皮膚を引きあげるヘラクレスがクビドをめざめさせようとするヴィーナスにもう少し待つて欲しいと頼む	2016年4月3日まで展示
5	A2イ0247	アントニ・タピエス	茶の上の黄土	
6	A3ロ0087	アントニ・タピエス	インフォーマル	2016年4月4日から展示
7	A2ニ0085	アントニ・タピエス	身体のコポジション	
8	A2イ0294	アントニ・クラベ	埋葬	
9	A3ロ0089	ジョアン・ブロッサ	行跡	
10	A3ロ0089	ジョアン・ブロッサ	視覚詩	
11	A3ロ0089	ジョアン・ブロッサ	視覚詩	
12	A3ロ0089	ジョアン・ブロッサ	視覚詩	
13	A3ロ0089	ジョアン・ブロッサ	方位磁針	
14	A2イ0478	マノロ・バルダス	黒い背景の肖像	
15	A2イ1038	エドゥアルド・アロージョ	ハエの楽園、あるいはヴァルター・ベンヤミンのボル・ボウでの最期	
16	A2イ0308	アントニオ・ロベス	フランシスコ・カレテロ	
17	A2ロ0512	マヌエル・フランケロ	無題	2016年4月24日まで展示
18	A2ニ0100	ホセ・マリア・シシリア	消えゆく光	
19	A2ニ0101	ホセ・マリア・シシリア	消えゆく光	

4. 教育普及・生涯学習事業

1) 展覧会関連企画

(1)企画展「フリオ・ゴンサレス展」関連企画

名称：ワークショップ「はんだでゴンサレス」

概要：

ゴンサレスの作品を鑑賞した後、金属板を加工して立体作品を作るワークショップ。「はんだづけ」による金属の接合に挑戦した。落ち着いた雰囲気の下で金属の特性を生かした立体表現のよさや楽しさを親子や同じ学校の友人同士で体験した。

日時：6月20日(土)、6月27日(土) 10:30~15:00

会場：アトリエ

対象：小学5年生~高校生（高校生は要本展観覧券）

募集方法：事前申込

参加費：500円

参加人数：6月20日…6人 6月27日…9人 合計15人



(2)企画展「瀬戸内寂聴展」関連企画

名称：書家・原雲涯さんによる書道ワークショップ

概要：

書で自分の心を表すオリジナル文字を作る長崎新聞社主催のワークショップ。本展のテーマである愛や平和への思いを、自分だけの文字で表現した。

日時：8月3日(月) 14:00~15:30

会場：アトリエ

講師：原雲涯（書家）

対象：小学生~大人

募集方法：事前申込

参加費：1,000円（要当日観覧券）

参加人数：16人

(3)企画展「1[∞] ミナカケル」関連企画

名称：「Patch a Patch with minä perhonen!」

概要：

無地のバッグにミナ ペルホネンの表情豊かな布をたくさん飾って、自分だけのバッグを作るワークショップ。皆川明氏を講師に招いた本企画は人気が高く、多数の応募があった（1,903人）。参加者は、ミナ ペルホネンの世界観に浸って制作を楽しんだ。

期日：10月31日(土)

時間：午前の部10:30~12:00 午後の部13:30~15:00

会場：アトリエ

講師：皆川明（ミナ ペルホネン デザイナー）

対象：小学生~大人

募集方法：事前申込

参加費：3,500円（要本展観覧券）

参加人数：午前の部21人 午後の部22人 合計43人



(4)企画展「中国リアリズム絵画の煌めき」関連企画

名称：ワークショップ「長崎南画にふれてみよう」

概要：

長崎南画の入門講座として実施したワークショップ。江戸時代に中国の南宋画や文人画から学んで日本で確立された南画は、鎖国下の日本において、海外へ開かれた唯一の玄関口であった長崎で発展した。本ワークショップは、郷土ゆかりの伝統文化である長崎南画の初歩的な技法を体験し、魅力に触れ親しむ機会として設定した。

日時：1月9日(土) 10:15~13:15

会場：アトリエ

講師：川本安夫（九州南画院理事）

対象：一般

募集方法：事前申込

参加費：300円

参加人数：21人



(5)企画展「レンブラント版画名品展」関連ワークショップ

名称：はじめてのエッチング

概要：

初心者から経験者まで、レンブラントの版表現と同じ手法であるエッチングを手軽に体験できるワークショップ。銅板エッチングの基本的な制作過程を体験することでレンブラント作品の魅力を深く味わっていただいた。ワークショップ冒頭実施した本展担当の福満学芸員によるギャラリートークも好評であった。遠くは千葉県からの参加者もあった。

日時：1月16日(土) 10:30~16:30

会場：アトリエ

対象：中学生以上

募集方法：事前申込

参加費：300円（要本展観覧券）

参加人数：19名

(6)企画展「ソフィ・カル」関連企画

名称：視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ

概要：

視覚障害者のナビゲートの下、ソフィ・カルの作品を鑑賞して「他人の目で見える」ことを体験するワークショップ。「見える人」と「見えない人」が一緒に協力しながら作品を鑑賞した。県外からの参加が半数を占めた本ワークショップからは、このような取り組みの希少性と関心の高さが伺えた。ソフィ・カル作品の鑑賞を通して、見える、見えないにこだわらない多様な作品の見方や感じ方を実感できる時間となった。

期日：2月27日(土)

時間：午前の部10:30~12:30 午後の部14:30~16:30

会場：アトリエ、企画展示室

講師：「視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ」

代表・林健太、木下路徳

対象：制限なし

募集方法：事前申込

参加費：無料（要本展観覧券）

参加人数：午前の部6人（晴眼者6人） 午後の部8人（晴眼者7人、視覚障害者1人） 合計14人

(7)コレクション展関連企画

名称：シリーズレクチャー「コレクション・イン・フォーカス」

概要：

月に一度、当館学芸員をはじめ専門家が行う主に所蔵作品・作家についてのレクチャー。全12回。当館が所蔵する長崎ゆかりの美術やスペイン美術への関心を高め理解を深めていただいた。7月までは当館のボランティア研修を兼ねていたため、昨年度の約1.7倍に参加者が増加した。専門性の高い内容に関心を持つ熟年層や美術愛好者を中心に質の高い生涯学習の場を提供することができた。

期間：5月～平成28年3月（全12回）

時間：11：00～12：00

会場：ホール

参加費：無料、当日受付

参加人数：558人（全12回合計）

日時及び内容：



	開催日	内 容	講 師	参加人数
第1回	5月17日(日)	スペイン黄金世紀の美術とボデゴンの誕生	豊田 唯	76人
第2回	6月21日(日)	なつかしい町の思い出－井上孝治の写真	福満葉子	54人
第3回	7月5日(日)	トマス・イエベスの画業－スペイン黄金世紀の静物画家－	豊田 唯	53人
第4回	7月19日(日)	彭城貞徳・横手貞美の修復作品を中心に	堺 智子 (修復家)	63人
第5回	8月2日(日)	現代スペイン・リアリズムの諸相	森園 敦	37人
第6回	9月6日(日)	マノロ・バルデスとエキーボ・クロニカ	野中 明	37人
第7回	11月1日(日)	ジョアン・ブロッサの作品	野中 明	37人
第8回	11月22日(日)	ダリ《海の皮膚を引き上げるヘラクレスが……》について	福満葉子	26人
第9回	12月6日(日)	鴨居玲の芸術	森園 敦	37人
第10回	平成28年 1月17日(日)	日本画家・栗原玉葉	伊藤晴子 (文化振興課)	45人
第11回	2月21日(日)	長崎の伝統産業－三川内焼を中心に－	川口佳子	37人
第12回	3月6日(日)	建築作品としての長崎県美術館	川口佳子	56人

2) こどもアートクラブ

概要：

小学生を対象としたクラブ活動形式の美術体験プログラム（年7回開催）。「まなぶ・つくる・深める」をテーマに、展示室での作品鑑賞や、美術館の環境や役割を学ぶ館内ツアー、展覧会に関連した制作などを企画した。様々な作品の鑑賞や制作活動を通して、子どもたちが美術館を楽しみ、親しみを持っていく様子が伺えた。

期間：4月～10月（全7回）

時間：10：00～12：30

会場：アトリエ、企画展示室、常設展示室、館内各所ほか

対象：小学生（1～6年生）

募集方法：事前申込

参加費：3,000円（全7回分）

参加人数：30人

開催日及び内容：

	開催日	タイトル	内 容
第1回	4月25日(土)	オリエンテーション・美術館たんけん！（活動説明、館内ツアー）	美術館の屋内外を探検し、様々なクイズに挑戦する活動
第2回	5月23日(土)	ふしぎな、ひかりだま（立体）①	「藤城清治展」鑑賞とグループでのランタン共同制作
第3回	5月30日(土)	ふしぎな、ひかりだま（立体）②	第2回のランタン完成後、作品鑑賞と記念撮影
第4回	6月13日(土)	〇〇〇でカチコチちょうこく(立体)	「フリオ・ゴンサレス展」鑑賞とダンボールを用いた共同制作
第5回	7月11日(土)	マンチャでらくがき（デッサン）	「プラド美術館所蔵 スペイン黄金世紀の静物画—ボデゴンの神秘」鑑賞とマンチャの技法で葡萄を描く活動
第6回	9月12日(土)	みんなでインスタレーション(立体)	「竹田信平 アンチモニュメント」展鑑賞とたこ糸を用いたインスタレーション作品の制作
第7回	10月24日(土)	わたしのオシャレ（デザイン）	「1 st ミナカケル—ミナ ベルホネンの今までとこれから」展鑑賞とオリジナルバッグのデザイン及び制作
補講	12月26日(土)		第5、7回の欠席者を対象とした制作や鑑賞の活動

3) 移動美術館

概要：

美術館までの来館が困難な遠隔地の県民に対して作品を鑑賞する機会を提供する事業。展覧会と併せてワークショップ等を実施し、広く県民に芸術に楽しんでいただく機会を提供した。

(1)移動美術館 in 五島市

期間：9月1日(火)～9月10日(木) ※9月7日(月)は休館

時間：10：00～18：00

会場：福江文化会館

主催：五島市教育委員会、長崎県美術館

出品点数：23点

入場者数：594人

関連事業：

①オープニングセレモニー

日時：9月1日(火) 13：30～

参加人数：30人

②学芸員によるギャラリートーク

日時：9月1日(火) オープニングセレモニー終了後

会場：展示室

参加人数：30人

③ワークショップ「うごくヘンテコ生き物を作ろう」

日時：9月6日(日) 14：00～15：30

内容：画用紙とハトメを用いた動く生きものを制作

会場：第1講習室

参加人数：34人



(2)移動美術館 in 佐世保市

期間：10月14日(水)～10月25日(日)

時間：9：00～17：00

会場：佐世保市博物館島瀬美術センター

主催：佐世保市教育委員会、佐世保市博物館島瀬美術センター、長崎県美術館

出品点数：32点

入場者数：1,307人

関連事業：

①オープニングセレモニー

日時：10月14日(水) 9：45～

参加人数：100人

②学芸員によるギャラリートーク

日時：10月17日(土) 14：00～

会場：展示室

参加人数：20人

③こども向けおしゃべり鑑賞会（事前申込制）

日時：10月18日(日) 13：00～14：00

会場：展示室

参加人数：8人

④ワークショップ「マンチャでらくがき」（事前申込制）

日時：10月18日(日) 14：00～15：00



会場：中央公民館

内容：木炭や指、手などを使って描くスペインの伝統技法
「マンチャ」に挑戦する活動。

参加人数：6人

⑤ミュージアムショップ

日時：10月14日(水)～25日(日)

会場：1階カフェ ノマド・コーヒー

内容：長崎県美術館のオリジナルグッズやポストカード、図
録を販売

4) みんなのアトリエ

(1)春のほかほか美術館 キッズふれアート はじめてミュージアム

概要：

ゴールデンウィークの多客期に、幼児のいる親子向けイベントを開催した。県内外の家族連れにご来館いただくことを目的として、子供たちが遊びながら美術や美術館に親しむ場を提供した。本年度は、大阪を拠点に活動するデザイン集団「graf」をアトリエに招き、長崎のハタをテーマとした造形活動を中心に展開した。例年同様、多数の家族連れが美術館での休日を楽しむイベントとなった。

期間：5月3日（日・祝）～5月5日（火・祝）

時間：10：00～16：00

会場：アトリエ、講座室、ホール、エントランスロビー、常設展示室、運河劇場他

対象：県内外の家族連れ（主に未就学児とその保護者）

参加費：無料 ※青空カフェの飲食物購入を除く。

入場者数：延べ6,003人

内容：

①「ハタプロジェクト by グラフようちえん」

日時：5月3日（日・祝）～5月5日（火・祝）

10：00～16：00

会場：アトリエ

協力：graf

②「ゆったり癒しのスペース」

日時：5月3日（日・祝）～5月5日（火・祝）

10：00～16：00

会場：講座室

③「世界のおもちゃでたっぷり遊ぼう！」

日時：5月3日（日・祝）、4日（月・祝） 10：00～16：00

会場：ホール

協力：トムテのおもちゃ箱

④上映会「ピーターラビットと仲間たち ザ・バレエ」

日時：5月5日（火・祝）

10：30～12：00、14：00～15：30

会場：ホール

⑤「瑞宝太鼓」

日時：5月3日（日・祝）

11：00～11：30、14：00～14：30

会場：エントランスロビー

⑥「親子で一緒に美術館散歩」

日時：5月3日（日・祝）、4日（月・祝）

11：00～、14：00～（各回40分程度）

会場：常設展示室、館内

⑦「青空カフェ」

日時：5月3日（日・祝）～5月5日（火・祝）

11：00～15：00

会場：運河劇場

出店：Kuru Café ティア長崎店、ちびころ（全日）、ほとり（3日）、からすみ茶屋なつくら（4日）、米粉屋（3・4

日)、harupizza (3・5日)

(2)アートボランティアワークショップ「夏のさわやか絵手紙をつくろう」

※10) アートボランティア事業-(4)-⑤参照

(3)クリスマスワークショップ「2015クリスマスのアトリエ」

概要：

身近にある素材を工夫してクリスマスに贈るカードを作るワークショップ。幼児から年配の方まで幅広い層に、冬の暮らしを演出する楽しさを体験していただいた。参加者からは、次年度も期待する声が聞かれるなど美術館の定番イベントとして評価されている。

日時：12月19日(土)～20日(日) 10：00～16：00

会場：アトリエ

対象：5歳以上

募集方法：当日受付

参加費：100円

参加人数：411人

(4)企画展「くまのプーさん展」関連ワークショップ

※10) アートボランティア事業-(4)-⑩参照

5) 学校との連携

(1) スクールプログラム (学校利用)

概要:

学校と美術館との連携事業として、図工・美術科の時間、総合的な学習の時間、学校行事、修学旅行、部活動、PTAなどの活動で利用していただくためのプログラム。大きな柱は鑑賞プログラムと表現プログラムであり、学校担当者とエデュケーターが協議し内容を組み立てた。

平成27年度利用件数：276件、利用者総数：11,107人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	校種別合計
保育園	221	408	80	30	104	12	37	48	30	33	31	160	1,194
幼稚園	211	540	188	0	0	38	32	75	0	1,029	0	43	2,156
学童保育	0	58	23	143	670	0	0	0	9	0	9	117	1,029
小学校	0	87	169	126	0	365	244	258	173	618	541	130	2,711
中学校	43	607	310	198	29	92	11	106	232	488	154	111	2,381
高等学校	0	13	42	11	0	0	53	116	401	0	7	342	985
特別支援学校	11	85	0	0	6	21	0	28	0	0	0	22	173
大学	58	0	37	0	0	0	0	61	37	5	0	0	198
専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
PTA	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教職員研修	0	0	29	0	218	0	9	0	0	15	0	0	271
教員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他(保護者、添乗員等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	9
合計	544	1,798	878	508	1,027	528	386	692	882	2,197	742	925	11,107

※幼稚園、保育園年間利用…三和幼稚園(全5回:1,169人)、ししのご保育園(全9回:104人)、あゆみ保育園(全3回:65人)、慈光保育園(全4回:89人)、レデンプトール幼稚園(全3回:41人)、総計1,468人(人数は延べ人数)

※特別鑑賞プログラム利用者1,373人は、小学校、中学校の1月～3月利用者数に含まれる。

※「出島研修」の参加者203人は、教職員研修の8月利用者数に含まれる。

関連事業

① 美術館さわやかおさんぽツアー

概要:

気候の良い春の時期に、館内や周辺を歩きながら美術館の建築や周りの環境を楽しんでいただく企画。園児や引率の先生方に美術館へ親しみを持っていただくことを目的とする。本年度は、展覧会の時期に合わせて募集時期を早めたところ、昨年度より園数が約2倍、利用者が364人増加した。

期間：4月1日(水)～5月28日(木) 10:00～12:00

対象：幼稚園児・保育園児50人以内

案内送付先：長崎県内幼稚園・保育園346園(3月初旬～)

募集方法：希望日の1週間前までに事前申込

利用者数：30園813人(園児：701人、引率112人)

② 鑑賞教育研修会「出島研修」

名称：第6回長崎県造形教育研究会夏季実技研修 出島研修会

概要:

長崎県下全域の教職員を対象とした、スクールプログラムの利用促進を目的とした研修会。長崎県美術館を会場として、長崎県内の教職員を対象に、作品鑑賞や記念講演、実技研修等を実施した。図画工作科、美術科の授業内容のあり方について研修を深め、教科の指導力や授業力の向上を図る研修会となった。本年度の記念講演には、講師として本県出身のデ

デザイナーである城谷耕生氏を講師に迎えた。実技を交えた講話は好評であった。

期日：8月18日(火)・19日(水) (2日間)

主催：長崎県美術館、長崎県造形教育研究会

後援：長崎県教育委員会、長崎市教育委員会

会場：アトリエ、ホール、講座室

内容：

【1】記念講演 「観察・発見・アイデア ―デザインの思考法―」 講師：デザイナー 城谷耕生

【2】美術展鑑賞：企画展「瀬戸内寂聴展」「コレクション展（竹田信平展）」

【3】実技講座…全7講座

講座1 イメージを広げ表現を楽しむ 講師：松本治子

講座2 段ボールの変身（工作に表す） 講師：竹村浩明

講座3 簡単な版を使って平面表現を楽しもう

講師：林田薫

講座4・8 展覧会鑑賞と美術館探検 講師：塩田貴之、守屋聡

講座5 素描感覚でパステル画を楽しむ 講師：白濱政彦

講座6 ガラス絵を描く 講師：垣内司郎

講座7 紙工作「回転するジャバラ：アイソアクシス Iso Axis」 講師：岩永嘉人

対象：長崎県小中学校教職員

参加費：2,000円

募集方法：事前申込

参加人数：延べ203人

③遠隔授業

【1】長崎・南島原市・釜山市の3点同時中継による遠隔授業プログラム

※5. 補助金等による事業-3) 遠隔授業活動参照

【2】小値賀小学校、小値賀中学校との遠隔授業プログラム
概要：

長崎県美術館と小値賀町立小値賀中学校の2点を遠隔通信システムによって結び、長崎県美術館の所蔵作品を鑑賞しながら、対話型鑑賞の授業を行うもの。今回初めて、小学校と中学校という異校種合同で実施したところ、年齢に応じた感覚の生きた活気のある授業となった。参加した子供たちへのアンケート結果や感想からは、美術作品や当館への関心が、授業後に向上したことが見て取れた。

実施日：平成28年2月22日(月)

場所：小値賀町立小値賀小学校・中学校 多目的室

対象：小値賀町立小値賀小学校第6学年児童14名、小値賀中学校第1学年生徒23名、第2学年生徒15名 小中合計52名

内容：当館所蔵作品を基にした対話型鑑賞による授業

鑑賞作品：パブロ・ピカソ《鳩のある静物》、アントニオ・ロペス《フランシスコ・カレテロ》、舟越保武《長崎26殉教者記念像制作のためのドローイング》(長崎県美術館所蔵作品)

④特別鑑賞プログラム

概要：

美術館が用意した貸切バスで学校から美術館までを送迎する



鑑賞プログラム。県内の児童・生徒に、長崎県美術館が所蔵する長崎ゆかりの美術やピカソ、ミロ、ダリなどのスペイン美術など国内外の優れた美術作品を鑑賞する機会を提供することで、美術に対する関心を高め、郷土ゆかりの文化や美術を愛好する心情を育てることを目的とする。県内の本土遠隔地を一巡した本年度は、平成22年度以来5年ぶりに長崎市とその近隣の町を対象に募集をしたところ、合計で1,300人を超えるご利用をいただいた。

対象地域：長崎市、長与町、時津町の小中学校(単位：学校・学年・学級)

内容：企画展示及び常設展示の鑑賞。

実施期間：12月15日(火)～平成28年3月18日(金)

募集期間：11月下旬～12月25日(金)

参加校：15校(バス33台)

参加費：児童・生徒1人100円(引率教員は無料)

参加人数：児童、生徒1,287人 引率教員86人 合計1,373人

⑤ほっとミュージアムクーポン

概要：

不登校児童、生徒と保護者、関係者に、美術館での作品鑑賞のほかミュージアムカフェでの軽食を提供する企画。児童、生徒の精神の安定と不登校状況の改善を図ることを目的とした。平成26年度からは長崎市、諫早市、大村市、長与町、時津町の5市町の小・中学校に募集を拡大した。アンケート結果からは、対象児童、生徒の状況の改善とともに、その保護者やスクールソーシャルワーカー等との関係改善も見られたことから、子供と見守り支援する大人の双方に好影響を与えていることがうかがえた。

期間：クーポン配付日(平成27年12月～平成28年3月18日(金))

対象：長崎県内の不登校児童・生徒、児童養護施設入所の児童・生徒と保護者、関係者

利用者数：9組20人

⑥高等学校卒業生への特別招待券贈呈

概要：

県下の高等学校卒業生を対象に招待券を贈呈し、長崎県美術館の企画展と美術館コレクション展を鑑賞する機会を提供する企画。卒業生の美術に対する関心を高め、郷土ゆかりの文化や美術を愛好する心情を育むとともに、郷土愛を深めることを目的とした。本年度は、本人及び同伴者まで含めて招待としたことと、くまのプーさん展の影響で利用が増大した。また、昨年度までは県教育委員会に招待券発送の協力をいただいていたが、本年度から館内作業での発送となった。

期間：平成28年1月中旬～3月31日(木)

対象：長崎県下の公立、私立、定時制を含む長崎県下の高等学校卒業生と特別支援学校高等部卒業生

利用者数：1,460人

⑦出張授業

概要：

学校団体の利用拡大を目的に、エドゥケーターが学校へ赴き学習をサポートする授業を行った。要望に応じて、美術科や

総合的な学習の時間の授業等において、美術館の魅力発信や作品鑑賞、業務内容の紹介などを行っている。本年度は、長崎市内の中学校2校から、それぞれ総合的な学習の時間と国語科の授業の一環として依頼を受けた。本事業が、美術という枠を超えて学校での授業に取り入れられ、キャリア教育や表現技能の向上、言語能力向上を図る活動に活用された事例となっている。

【1】長崎大学教育学部附属中学校

日時：10月27日(火) 14:50~15:40

場所：附属中学校 多目的ホール

対象：第2学年144人

教科等：総合的な学習の時間 「社会探究」

講義内容：「専門的見地から見た探究活動におけるビジュアル表現の工夫」

講師：宮崎友理子

実施形態：一斉指導

【2】長崎市立山里中学校

日時：3月8日(火) 9:00~14:00、

3月9日(水) 13:00~16:00

場所：山里中学校 第二図書室

対象：第1学年181人

教科：国語科

単元名：「感じたことを文章にしよう 鑑賞文を書く」 第1時間目(全4時間)

内容：美術館作成の原寸大作品シート6点による対話型鑑賞

講師：塩田貴之

実施形態：1学級約30人×6学級(各50分)への対話型鑑賞

(2)大学との連携

①ゴールデンウィークイベントにおける長崎大学、長崎純心大学及び活水女子大学との連携

概要：

春のぼかぼか美術館2015「キッズふれアート はじめてミュージアム」において、長崎大学、長崎純心大学及び活水女子大学と連携しワークショップを実施した。

案内送付先：県内10大学

募集方法：事前申込

連携先：長崎大学教育学部 中川研究室
長崎純心大学人文学部 塩月研究室
活水女子大学篠永研究室

活動内容：イベントの運営補助

活動日：

- ・ 4月26日(日) 事前説明会
- ・ 5月3日(日・祝)～5日(火・祝) 10:00～16:00

参加人数：長崎大学：30人、長崎純心大学：4人、活水女子大学：12人

②クリスマスワークショップにおける長崎大学との連携

概要：

様々な素材に触れながら、工夫してクリスマスに贈るカードを作り、冬の暮らしを演出する楽しさを体験するワークショップ。企画の準備段階や事前の会場装飾から当日のイベント参加者対応まで連携して実施した。

連携先：長崎大学教育学部 中川研究室

対象：長崎大学教育学部 中川研究室学生8人

活動日及び内容：

平成27年

- ・ 12月4日(金) 15:00～18:00 自己紹介1・カード試作
- ・ 12月5日(土) 10:00～13:00 自己紹介2・装飾物制作
- ・ 12月11日(金) 15:00～18:00 装飾物制作・オペレーションの話し合い
- ・ 12月18日(金) 15:00～18:00 会場設営・打ち合わせ
- ・ 12月19日(土) 9:30～17:00 イベント本番 お客様対応・準備
- ・ 12月20日(日) 9:30～18:00 イベント本番 お客様対応・片付け

(3)博物館実習

概要：

学芸員資格取得のための博物館実習を実施した。

期間：8月23日(日)～8月27日(木)

実習費：5,000円

対象：学芸員資格取得希望者

実習生：6校7人（京都造形芸術大学2人、山口大学1人、
名古屋芸術大学1人、尾道市立大学1人、静岡文化芸術大学
1人、武蔵野美術大学1人）

実習計画：

23日(日)	午前の部 10:00～12:00	オリエンテーション 館内見学
	午後の部 13:00～17:00	講義：現在の美術館状況 講義：指定管理者としての美術館運営 講義：当館の企画展について ギャラリートークの説明
24日(月)	午前の部 10:00～12:00	講義：美術館の広報活動 ギャラリートーク準備
	午後の部 13:00～17:00	セキュリティゾーンの掃除 講義：当館コレクションと常設展について ギャラリートーク準備
25日(火)	午前の部 10:00～12:30	ギャラリートーク準備
	午後の部 13:30～17:00	作品取り扱い、状態調査表作成
26日(水)	午前の部 10:00～12:00	教育普及活動について ワークショップ参加
	午後の部 13:00～17:00	ワークショップ参加 保存修復について
27日(木)	午前の部 10:00～12:00	ギャラリートーク準備
	午後の部 13:00～17:00	ギャラリートーク及び講評

6) 海外の美術館との教育普及事業連携

概要：

韓国・釜山市立美術館と連携し「平成27年度文化芸術振興費補助金（地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業）」に採択された「長崎県美術館と釜山市立美術館を核とした日韓文化交流事業」の諸プログラムを実施した。

※5. 補助金等による事業参照

7) 鑑賞ツールの開発

(1)美術館コレクション展ワークシート じんぶつシルエットクイズ

概要：

美術館コレクション展の作品を題材とした鑑賞ツール。ワークシートに描かれた人物のシルエット像を見て該当する作品を探すもの。子どもたちが楽しみながら、本物の美術作品と出会う機会として設定した。展示替えの度に変更し、今後も継続していく予定。

設置場所：常設展受付

対象：小学生以上

実施方法：鉛筆による記入方式

参加費：無料



8) ブログ「アトリエ便り」

概要：

教育普及・生涯学習事業を身近に感じていただくことを目的として、ワークショップや講座の最新情報や実施報告を美術館ホームページ上に掲載した。

期間：4月1日～平成28年3月31日

平成27年度掲載ブログ数：24件

平成27年度アクセス数：71,428回（1日平均195回）

9) その他

(1)長崎県美術館開館10周年記念企画「弱虫ペダル×長崎県美術館」

概要：

長崎県出身の漫画家、渡辺航氏による作品「弱虫ペダル」とのコラボレーション企画を実施した。従来からの「弱虫ペダル」のファン層はもとより、一般の当館利用者にも同作品を紹介し、楽しんでいただく機会を提供した。渡辺航氏には、故郷長崎の美術館の開館10周年企画ということで、多忙を極めるスケジュールの合間を縫い、講演会をはじめとする諸事業に対して格別のご協力をいただいた。本県出身で活躍中の現役漫画家とその作品の魅力を広く紹介する企画として若い女性を中心に関心を集めるとともに、当館利用者層の拡大を図る機会となった。

①「弱虫ペダル」スタンプラリー

期間：7月18日(土)～平成28年3月31日(木)

設置場所：館内7ヶ所

対象：来館者全般

参加費：無料

参加人数：4,255人

②渡辺航先生講演会「弱虫ペダル」～渡辺航先生のルーツを探る～

日時：8月9日(日) 14:00～15:30

会場：ホール

講師：渡辺 航（漫画家）

対象：一般

募集方法：事前申込

参加費：無料

参加人数：138人

③「弱虫ペダル」複製原画展示

期間：10月14日(水)～29日(木) 10:00～18:00

会場：ホール

対象：来館者

入場料：無料

入場者数：2,109人

④「弱虫ペダル」試し読みコーナー 情報コーナー弱虫ペダル入門

期間：7月18日(土)～平成28年3月31日(木)

会場：情報コーナー

入場料：無料



(2)活版巡礼祭への協力及び関連ワークショップ

名称：「活版巡礼祭 | ジロ・デ・カップン2015」みんなのまちの活版印刷展 & Enjoy Printing!

概要：

「活版巡礼祭 | ジロ・デ・カップン」への協力事業として実施した。長崎事始めのひとつ「活版印刷」の作品展示やワークショップを通じて、長崎の文化や歴史を感じながら印刷の楽しさを味わう企画。平日は県外や海外からの観光客が多く、週末にかけてワークショップ参加目的の長崎市内在住の利用



者が増えた。作品鑑賞とワークショップを一緒に体験できるという実施形態が好評であった。

①作品展：「いろんなまちの活版印刷展」

日時：9月2日(水)、3日(木)、5日(土) 10:00~18:00
9月4日(金) 10:00~20:00
9月6日(日) 10:00~17:00

会場：アトリエ

入場料：無料

入場者数：440人

②関連企画：ワークショップ「Enjoy Printing!」

内容：

【1】エンボス印刷でポストカードづくり

【2】シルクスクリーン印刷でバッグづくり

日時：9月2日(水)~5日(土) 10:00~18:00
朝の部10:00~12:00、昼の部14:00~16:00、
夜の部18:00~20:00 ※夜の部は4日(金)のみ

会場：アトリエ

【3】活版印刷でシールづくり

日時：9月6日(日) 13:00~16:00

会場：アトリエ

講師：中川たくま（デザイナー）

参加人数：合計290人

対象：5歳以上

募集方法：当日受付

参加費：1点100円

(3)見える人と見えない人がつくる美術鑑賞講座

概要：

見える人と見えない人が対話によって鑑賞する方法や考え方を学ぶ講座。講師である団体「視覚障害者とつくる美術鑑賞ワークショップ」による実践を交えた構成で、多様な鑑賞方法を実感できる内容であった。参加者には盲学校の教員や障害者支援機関の関係者も見られた。

日時：2月28日(日) 10:30~12:00

会場：ホール

講師：視覚障害者とつくる美術鑑賞ワークショップ

対象：制限なし

募集方法：当日受付

参加費：無料

参加人数：53人



(4)視覚障害者センターとの連携事業

名称：鑑賞ワークショップ「みえる人、みえない人、みんな
でめぐる長崎県美術館」

概要：

長崎県視覚障害者情報センター利用者を対象に、視覚障害者と晴眼者が一緒に作品を鑑賞するワークショップ。建築ツアーに加え、彫刻や陶磁器作品などを触って鑑賞するプログラムを実施した。視覚障害者の方々に美術館の利用願望が少なからずあることが実感できた。

期間：2月15日(月)~3月31日(木)

時間：10：00～20：00のうち約60分間

会場：アトリエ、常設展示室など

対象：長崎県視覚障害者情報センター利用者（介助者含む）

募集方法：事前申込

参加費：無料

参加人数：21人（8回合計）

5. 補助金等による事業

「長崎県美術館と釜山市立美術館を核とした日韓文化交流事業」

本事業は文化庁の「平成27年度文化芸術振興費補助金（地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業）」の採択事業として実施された。

本事業は長崎県美術館と釜山市立美術館（韓国）とが共同で平成21年度より継続開催してきた「明日を拓く日韓子ども美術交流展」の発展的的事业として位置づけられ、長崎県美術館と釜山市立美術館における諸活動を介し、両地域間の文化交流を促進し日韓の相互理解及び友好関係の更なる深化を図ること、および韓国における長崎県、長崎県美術館のプレゼンスを向上させ両地域間の交流人口の増大に寄与することを目的とするものである。

長崎県、長崎県教育委員会、長崎県美術館により構成される「日韓文化交流事業実行委員会」の主催により、「1）ワークショップ活動」「2）遠隔授業活動」の2つの活動により構成された。

1) ワークショップ活動

(1)釜山側推薦作家によるワークショップ活動

名称：「ソツテをつくろう」（無料）

概要：

韓国の伝統文化のひとつであるソツテ（鳥台。長い竿の先に鳥の形を載せたもの）について紹介し、実際に制作した。韓国の伝統文化に根差した表現に触れることができたことに純粋に喜んだ参加者の様子が見て取れた。

日時：7月25日(土) 14:00～16:00

会場：アトリエ、アトリエ横庭園

講師：パク・デフン（韓国釜山広域市在住作家）

対象：中学生

募集方法：事前申込

参加人数：22人

(2)長崎側推薦作家によるワークショップ活動

名称：美術館の生き物発見！（無料）

概要：

会場となった釜山市立美術館地下1階の庭を舞台に、自分が気になった場所に生息していそうな空想上の生き物（＝作品）を、参加者それぞれが想像して制作するワークショップ。完成作品は、各自が想定した場所に設置し、参加者全員で鑑賞会をした。作品を実際に設置することで生じる場や空間の変化を感じとらせ、子供たちの想像力と造形能力を高めることをねらいとした。本ワークショップの実施により、韓国の子供たちの日本に対する印象が大きく好転したことが見て取れた。

日時：1月23日(土)、24日(日) 各回14:00～16:05

会場：釜山市立美術館実技制作室、釜山市立美術館地下1階庭

講師：鳥山秀直（長崎在住作家）

対象：釜山市内小学生（3～6年生）

募集方法：事前申込

参加人数：31人

2) 遠隔授業活動

名称：長崎・南島原・釜山の3点同時中継による遠隔授業プログラム

概要：

長崎県美術館と南島原市立加津佐小学校及び釜山市立美術館（釜山広域市立ドンネ小学校の生徒が美術館講堂に集合）の3点を遠隔通信システム（テレビ会議システム）によって結んだ対話型の作品鑑賞の授業を実施した。当館エドゥケーターのナビゲーションのもと、両地域の子ども達が、当館の所蔵作品を鑑賞しながらお互いの意見や感想を述べ合い交流を深めた。活動後には日韓共に相手国に対する印象が大幅に改善したことから、国際的友好関係を築く手立てとして、美術を通じた国際交流の有効性を改めて確認することができた。

日時：11月24日(火) 10:00~12:15

会場：長崎県美術館、南島原市立加津佐小学校、釜山市立美術館地下1階講堂

対象：南島原市立加津佐小学校5、6年生、釜山市立ドンネ小学校6年生

内容：当館所蔵品を基にした対話型鑑賞による授業

ナビゲーター：長崎県美術館エドゥケーター

鑑賞作品：全3点

- ・エドゥアルド・アロージョ 《ハエの楽園、あるいはヴァルター・ベンヤミンのポル・ボウでの最期》
- ・パブロ・ピカソ 《鳩のある静物》
- ・鴨居玲 《私の話を聞いてくれ》

参加費：無料

募集方法：南島原市立加津佐小学校は公募　ドンネ小学校は釜山市立美術館より依頼

参加人数：95人（南島原市立加津佐小学校65人　ドンネ小学校30人）



6. 収集事業

1) 新収蔵資料

平成27年度の新収蔵資料に関する情報は平成28年度年報に記載。

2) 新収蔵図書

(冊)

	購入	寄贈	計
和書	101	275	376
洋書	20	10	30
逐次刊行物	258	359	617
展覧会図録	17	410	427
視聴覚資料 (DVD 等)	1	0	1
計	397	1054	1451

(年報・紀要は逐次刊行物の中に含む)

3) 寄贈図書

寄贈者	書名	出版社	出版年
椛島良介 氏	小説 日米戦未来記	新潮社	1934年
椛島良介 氏	虎の牙 ルパン怪奇探偵	三木書房	1948年
椛島良介 氏	海底旅行	講談社	1957年

7. 保存・修復事業

平成27年度の保存修復事業に関する情報は平成28年度年報に記載。

8. 作品貸出記録

松田安生彫刻展（1点）

長崎県美術館県民ギャラリーC：平成27年7月7日(火)～7月12日(日)

松田安生 《図南の志士》Bニ0003

広島・長崎 被爆70周年 戦争と平和展（43点）

広島県立美術館：平成27年7月25日(土)～9月13日(日)

フランシスコ・デ・ゴヤ 『戦争の惨禍』(1), (2), (7), (15), (30), (41), (50), (53), (57), (59), (60), (63), (70), (72), (79), (80) (80点組のうち16点) A3イ0081

東松照明 《上野町から掘り出された腕時計／長崎国際文化会館・平野町》Hイ0001

《熱線と火災で溶解変形した瓶／長崎国際文化会館・平野町》Hイ0008

《浦上天主堂のキリスト像／本尾町》Hイ0007

《片岡津代さん1／本原町》Hイ0015

《末次助作さん1／江平町》Hイ0051

《爆風により崩壊した浦上天主堂の天使像／本尾町》Hイ0002

《浦川志津香さん1／坂本町》Hイ0136

《山口仙二さん2／中園町》Hイ0095

《片岡津代さん／長崎市石神町》Hイ0580

《山口仙二さん3／柳谷町》Hイ0201

《浦川志津香さん2／坂本町》Hイ0137

《久松スミエさんとかんざし／長崎市平野町 長崎国際文化会館 長崎原爆資料館》Hイ0379

《片岡津代さん7／石神町》Hイ0185、《山口仙二さん／長崎市平野町 長崎原爆資料館》

Hイ0435

《浦川志津香さんと娘たち1 左から千佳・朋世・美加・志津香さん／アートアイスタジオ・上町》Hイ0139

《谷口稜暉さん／長崎原爆被災者協議会・岡町》

Hイ0182

ジョアン・ミロ 《絵画》A2イ0240

富永直樹 《少年平和像（原爆子供記念像）》Bハ0032

上野誠 《長崎の廃墟（浦上の廃墟A）》A3イ0021

《浦上の幻想（浦上の廃墟B）》A3イ0022

《希望（hope）》A3イ0023

池野清 《樹骨》A2イ0037

《木立》A2イ1083

小川緑 《追憶》A2イ0015

田川憲 《長崎原爆遺構（浦上天主堂）》A3ロ0418

福田徳樹 《ADNOS,NAGASAKI（私たちの長崎へ）》

A2イ1081

小山敬三 《浦上聖堂》A2イ0027

ゴヤ銅版画集〈妄〉一人間の不条理（23点）

早稲田大学會津八一記念博物館：平成27年9月10日(木)～10月11日(日)

フランシスコ・デ・ゴヤ 『妄／ロス・デスパラーテス』（18点組）A3イ0082

『妄／ロス・デスパラーテス』

（4点組）A3イ0034

『気まぐれ／ロス・カプリチヨ

ス』A3イ0041

ピカソ展 誰でもわかる天才の名画（1点）

ふくやま美術館：平成27年9月19日(土)～11月23日(月・祝)

パブロ・ピカソ 《静物》A2イ0246

9. 調査・研究事業

1) 研究活動

当館の職員による研究活動。

川口佳子

- 展覧会の企画・構成
 - ・「1[∞]ミナカケル—ミナ ペルホネンの今までとこれから」展
- 執筆
 - ・「1[∞]ミナカケル—ミナ ペルホネンの今までとこれから」展図録
テキスト「概論：ミナ ペルホネンと『1[∞]ミナカケル』展」
- 講演等
 - ・「長崎の伝統産業—三川内焼を中心に」（コレクション・イン・フォーカス第11回）2016年2月21日
 - ・「建築作品としての長崎県美術館」（コレクション・イン・フォーカス第12回）2016年3月6日

豊田唯

- 展覧会の企画・構成
 - ・「プラド美術館所蔵 スペイン黄金世紀の静物画——ボデゴンの神秘——」展
- 執筆等
 - ・「セビーリヤ、サンタ・カリダード聖堂研究」（博士論文、早稲田大学）
 - ・『プラド美術館所蔵 スペイン黄金世紀の静物画——ボデゴンの神秘——』（展覧会図録／編集・執筆・翻訳）
論文「トマス・イエバスの画業——17世紀バレンシアの静物画家——」
作品解説
 - ・「セビーリヤ、サンタ・カリダード聖堂研究——ムリーリョの『七つの慈悲の業』連作をめぐって——」『鹿島美術研究（年報第32号別冊）』（第23回鹿島美術財団賞）
 - ・「ベラスケスの肖像画と神話画（「美術に関する国際交流援助」研究報告）」『鹿島美術研究（年報第32号別冊）』
 - ・「スペイン黄金世紀の静物画——研究のこれまでとこれから——」『地中海学会月報』第386号
 - ・「趣旨報告（ハビエル・ポルトゥース「ベラスケス、肖像を描く画家」講演録）」『長崎県美術館研究紀要』第7号
 - ・『ゴヤ銅版画集〈妄〉——人間の不条理——』（展覧会図録、會津八一記念博物館／編集協力・執筆等）
解題・作品解説「〈妄〉」／巻末解説「ゴヤの版画技法」／年譜（編）／参考文献一覧（編）
- 翻訳
 - ・ハビエル・ポルトゥース「スペイン黄金世紀絵画におけるボデゴン」（『プラド美術館所蔵 スペイン黄金世紀の静物画——ボデゴンの神秘——』所収）
 - ・『プラド美術館展——スペイン宮廷 美への情熱——』（展覧会図録、三菱一号館美術館）
作品解説（共訳）
作家解説（共訳）
- 研究発表
 - ・「トマス・イエバスの静物画——《ブドウの樹のある風景》をめぐって——」（早稲田大学美術史学会 総会）
- 講演等
 - ・「スペイン黄金世紀の美術とボデゴンの誕生」（コレクション・イン・フォーカス第1回）2015年5月17日
 - ・「トマス・イエバスの画業——スペイン黄金世紀の静物画家——」（コレクション・イン・フォーカス第3回）2015年7月5日

野中明

- 展覧会の企画・構成
 - ・「スペインの彫刻家 フリオ・ゴンサレス展」
 - ・「竹田信平 アンチモニュメント」
- 執筆等
 - ・『スペインの彫刻家 フリオ・ゴンサレス展』（展覧会図録／企画・構成、編集、執筆等）美術館連絡協議会、平成27年6月

エッセイ「フリオ・ゴンサレス——時代を生きた彫刻家」

章解説／コラム／作品解説／年表（編）／主要展覧会歴（編）／主要参考文献（編）

・『竹田信平 アンチモニュメント』（展覧会図録／編集、デザイン、執筆等）

エッセイ「アンチモニュメント——『二つの時』を忘れないために」

・「独自のスタイル『空間の中のドロ잉』」『新美術新聞』2015年6月11日

・「フリオ・ゴンサレス展（全3回）」『読売新聞』2015年6月17日～19日

・「スペインの彫刻家 フリオ・ゴンサレス展」『美連協ニュース』No. 126、2015年4月29日

・「若い世代が自らに問う『自分にとっての原爆』」『月刊美術』12月号、実業之日本社、2015年11月20日

●講演等

・「フリオ・ゴンサレスの生涯と作品」2015年8月15日（於、岩手県立美術館）

・「『アンチモニュメント』長崎県美術館・竹田信平展カタログ出版記念トーク」2015年11月25日（於、NADiff a/p/a/r/t/司
会：毛利嘉孝／パネラー：竹田信平、今福龍太、野中明）

・「マノロ・バルデスとエキポー・クロニカ」（コレクション・イン・フォーカス第6回）2015年9月6日

・「ジョアン・ブロッサの作品」（コレクション・イン・フォーカス第7回）2015年11月1日

●その他

・「スペインの彫刻家 フリオ・ゴンサレス展」記念フォーラム「フリオ・ゴンサレス—その可能性の中心」（2015年6月7
日／於、長崎県美術館）企画 ※タカシマヤ文化基金助成事業

・「2015年美連協カタログ論文賞 優秀論文賞（美連協展部門）」受賞

・「VOCA 展2016 現代美術の展望—新しい平面の作家たち」推薦委員

福満葉子

●展覧会の企画・構成

・「井上孝治の写真—軍艦島と長崎」

・「レンブラントハウス美術館所蔵 レンブラント版画名品展」（共同企画）

・「ソフィ・カルー最後のとき／最初のとき」（共同企画）

●執筆等

・「井上孝治の写真—軍艦島と長崎」リーフレット執筆・編集

・「戦争と平和」展図録 作家解説・作品解説執筆

・「ソフィ・カルー最後のとき／最初のとき」展リーフレット執筆・編集

●講演等

・「なつかしい町の思い出—井上孝治の写真」（コレクション・イン・フォーカス第2回）2015年6月21日

・「ダリ《海の皮膚を引き上げるヘラクレスが……》について」（コレクション・イン・フォーカス第8回）2015年11月22日

・講演会「ルーヴル美術館入門」2015年12月20日（於、壱岐市立一支国博物館）

・レクチャー「ソフィ・カルー『不在』をめぐって」2016年3月5日（於、長崎県美術館ホール）

森園敦

●執筆

・「広島・長崎被爆70周年 戦争と平和展」図録
作品解説（10作品）

・「広島・長崎被爆70周年 戦争と平和展」展覧会報告『美術年鑑』（美術年鑑社、2016年）

・「百花繚乱 中国リアリズムの煌めき」展図録
章解説（3章分）、作品解説（22作品）

●講演等

・「現代スペイン・リアリズムの諸相」（コレクション・イン・フォーカス第5回）2015年8月2日

・「鴨居玲の芸術」（コレクション・イン・フォーカス第9回）2015年12月6日

2) 刊行物一覧

[展覧会図録等]

1

藤城清治展 聖なる光

長崎県美術館開館10周年・長崎新聞創刊125周年記念

ごあいさつ

造型詩人『藤城清治』讃（岡本愛彦）

「藤城清治展に寄せて」（長崎県美術館 館長 米田耕司）

65年振りに再会したほくの初期の油絵「白い服の少女」（藤城清治）

藤城清治略歴

藤城清治著書一覧

博覧会で上演した藤城清治影絵劇

影絵劇の海外公演

藤城清治影絵劇作品（原作・音楽）

影絵 CD-ROM

影絵ビデオ&レーザーディスク&DVD

音楽 CD

藤城清治の影絵を展示しているミュージアム

影絵のある空間・店

藤城清治が永年の間連載をつづけていた雑誌



藤城清治事務所

印刷・製本：株式会社 雄進印刷

A4判変形、226ページ、3,500円

2

Julio González

スペインの彫刻家 フリオ・ゴンサレス展

目次 | Contents

メッセージ／ホセ・ミゲル・ガルシア・コルテス

Message / José Miguel García Cortés

メッセージ／フィリップ・グリマンジャー

Message / Philippe Grimmeringer

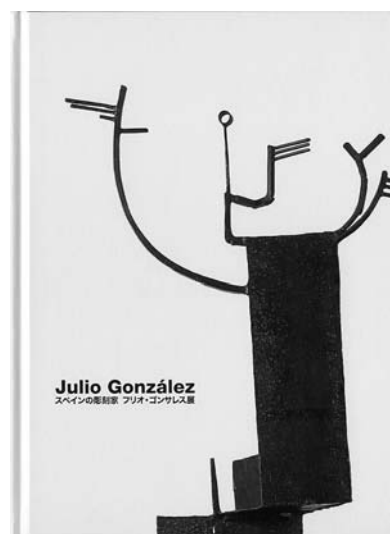
あいさつにかえて／酒井忠康

In Lieu of a Foreword / Tadayasu Sakai

総論 | Texts

フリオ・ゴンサレスと20世紀彫刻／トマス・リョレンス

フリオ・ゴンサレス——時代を生きた彫刻家／野中明



カタログ | Catalogue

- 第1章：「彫刻家」への道程
- 第2章：彫刻家の誕生——平面から立体へ
- 第3章：空間とのコラボレーション——素材としての空間
- 第4章：石の頭部——量塊をめぐる試行
- 第5章：終わりなき探求
- 第6章：金工職人としての仕事

ドローイング | Drawings

- コラム 19世紀末のバルセロナ——伸びゆく都市の「モデルニスモ」
- コラム ゴンサレスとピカソ
- コラム ゴンサレスとデイヴィッド・スミス
- コラム ゴンサレス作品の素材と技法——ブロンズ鑄造
- コラム モンセラ——戦争の影

English and Spanish Texts

- Julio González and Twentieth Century Sculpture / Tomàs Llorens
- Julio González y la escultura del siglo XX / Tomàs Llorens
- Julio González: A Sculptor of His Time / Akira Nonaka

資料 | Data

- フリオ・ゴンサレス略年譜 Biography of Julio González
- 主要展覧会 Selected Exhibitions
- 主要参考文献 Selected Bibliography
- 日本語文献 Bibliography in Japanese
- 国内公的コレクション Public Collection in Japan
- 出品作品リスト List of Works in the Exhibition
- 参照作品名「和訳：原綴」対照一覧 List of Works for Reference
- 所蔵者名省略表記一覧 List of Abbreviations of the Collections

企画・構成：野中明（長崎県美術館）

執筆：トマス・リョレンス、酒井忠康、野中明、吉田尊子、塚田美紀、生田ゆき

翻訳：吉本由江、スタンレー・N. アンダソン、ブレンダン・ランベ&アグスティン・ニエト

編集：長崎県美術館／野中明

岩手県立美術館／大野正勝、吉田尊子

世田谷美術館／杉山悦子、塚田美紀

三重県立美術館／毛利伊知郎、生田ゆき

SD アート／高平雅史、堀越啓

編集協力：清水裕子

制作：印象社

発行：SD アート

27×20cm、235ページ、ハードカバー、2,700円

3

1[∞] ミナカケル

ミナ ペルホネンの今までとこれから

もくじ

WORDS

ごあいさつ

巻頭特別エッセイ：皆川明

エッセイ：100年への助走 関直子

論考：見えないものを形にする——ファッション史におけるミナ ペルホネン
成実弘至

概論：ミナ ペルホネンと「1[∞] ミナカケル」展 川口佳子

出品リスト

略歴

主要参考文献

FASHION

洋服

PRODUCTS

原画・テキスタイル・プロダクト

EXHIBITION

展覧会風景

編集：長崎県美術館

協力：株式会社ミナ

執筆：皆川明、関直子、成実弘至、川口佳子

翻訳：スタンレー・N. アンダソン、小川紀久子

アートディレクション・デザイン：菊地敦己

写真撮影：高橋マナミ（FASHION、PRODUCTS、EXHIBITION）、株式会社スタジオパッション 山崎信一（PRODUCTS）

印刷：東京印書館

発行：長崎県美術館

発行日：2015年11月30日

A4判変形、39ページ、ソフトカバー、1,944円



百花繚乱 中国リアリズムの煌めき

中国第12回全国美術展受賞優秀作品による「現代中国の美術」

From The 12th Chinese National Exhibition of Fine Arts 2014

All Sorts of Flowers – The Sparkling Garden of Chinese Realism

もくじ

ごあいさつ

図版

中国画

油彩画／壁画／ミクストメディア

水彩画・パステル画

版画

漆画

年画／挿絵／アニメーション

彫刻

消費社会における人々の暮らし

—第12回「全国美術展」に見るデジタル画像時代の造形芸術（^{シエンファイ}尚輝）

「百花繚乱 中国リアリズムの煌めき展」選考に当たって（南城守）

作品情報・作家略歴

発行：公益財団法人日中友好会館

編集：公益財団法人日中友好会館文化事業部、奈良県立美術館、長崎県美術館、福岡アジア美術館

デザイン：福原一郎（有限会社スタジオオントース・オン）

印刷：株式会社 旭クリエイト

著作権：主催者、著者、作家

30×22cm、115ページ、ソフトカバー、1,000円



5

ソフィ・カル——最後のとき／最初のとき

Sophie Calle For the Last and First Time

リーフレット

翻訳：松浦寿夫、原美術館、福満葉子（長崎県美術館）

執筆：福満葉子

デザイン：納富司（納富司デザイン事務所）

発行：長崎県美術館

A4判、7ページ



ソフィ・カル——最後のとき／最初のとき

Sophie Calle For the Last and First Time

English Version

翻訳：松浦寿夫、原美術館、福満葉子（長崎県美術館）

執筆：福満葉子

デザイン：納富司（納富司デザイン事務所）

発行：長崎県美術館

A4判、6ページ



くまのプーさん展

Disney's Winnie the Pooh Exhibition catalogue

INDEX

プーさんの魔法の森へ

物語のはじまり

ウォルト・ディズニーの「くまのプーさん」

くまのプーさんに伝えたい 大切な心の友達

年譜

監 修：ザ・ウォルト・ディズニー・カンパニー

ウォルト・ディズニー・アーカイブス

ウォルト・ディズニー・アニメーション・リサーチ・ライブラリー

ウォルト・ディズニー・ジャパン

執 筆：ポーラ・シグマン・ロワリー

編 集：白泉社書籍編集部

編集協力：柴田こずえ

デザイン：畠山香織

印 刷：大日本印刷株式会社

制作・発行：NHK サービスセンター

26×21cm、48ページ、ソフトカバー、1,166円



プラド美術館所蔵 スペイン黄金世紀の静物画——ボデゴンの神秘

長崎県美術館 開館10周年記念

Naturalezas muertas en la España del Siglo de Oro: el misterio del bodegón.

Obras maestras del Museo del Prado

ごあいさつ

目次 | Sumario

展覧会に寄せて (ミゲル・スガサ・ミランダ)

Presentación (Miguel Zugaza Miranda)

スペイン黄金世紀の絵画におけるボデゴン (ハビエル・ポルトゥース)

El bodegón en el contexto de la pintura española del Siglo de Oro (Javier Portús)

当代の“リュパログラフォス”ベラスケスのボデゴン

——その生成、機能と受容、時代環境—— (大高保二郎)

カタログ | Catálogo (豊田唯)

トマス・イエペスの画業——17世紀バレンシアの静物画家—— (豊田唯)

編集: 豊田唯

執筆: ハビエル・ポルトゥース、大高保二郎、豊田唯

翻訳: 豊田唯

デザイン: 納富司

印刷: 株式会社 昭和堂

発行: 長崎県美術館

26×21cm、48ページ、ソフトカバー、1,296円



井上孝治の写真——軍艦島と長崎

Koji Inoue : Gunkanjima and Nagasaki

写真提供: 井上孝治写真館

解説: 福満葉子 (長崎県美術館)

表紙デザイン: 桐野真由美 (長崎県美術館)

発行: 長崎県美術館

発行日: 2015年4月28日

26×19cm、リーフレット



謝辞

ごあいさつ

目次 | Contents

アンチモニュメント・マニフェスト (竹田信平)

ANTIMONUMENT MANIFEST / Shinpei Takeda

原爆の第二の目撃のために (今福龍太)

Witnessing Nagasaki for the Second Time / Ryuta Imafuku

「竹田信平 アンチモニュメント」展示風景

Installation Views of the Exhibition

アンチモニュメント——「二つの時」を忘れないために (野中明)

Antimonument : For "Two Times" Not to Be Forgotten / Akira Nonaka

主要作品、寄稿

Selected Installations and Art Works by the Artist and Texts on the Artist

α 崩壊シリーズThe installation series *Alpha Decay**β* 崩壊シリーズThe installation series *Beta Decay*

その他の代表作

Others

声を与えるために (マルセラ・キロズ)

Por dar (la) voz / Marcela Quiroz

For granting (a) voice / Marcela Quiroz

竹田信平——*β* 崩壊 / Beta Decay (シュテファン・ア・ヴァンゲン)

Shinpei Takeda – Beta Zerfall / Stefan à Wengen

Shinpei Takeda – Beta Decay / Stefan à Wengen

我々はボーダーラットである! (ダニエル・ルアノバ)

We are the Borderrats! / Daniel Ruanova

展覧会関連企画記録、作家略歴

Records of Exhibition – Related Events and Brief Biography of the Artist

対談：竹田信平×岡村幸宣

Conversation: Shinpei Takeda and Yukinori Okamura

さるくツアー「モニュメントからアンチモニュメントへ」

Walking Tour: From Monument to Antimonument

作家略歴

Brief Biography of the Artist

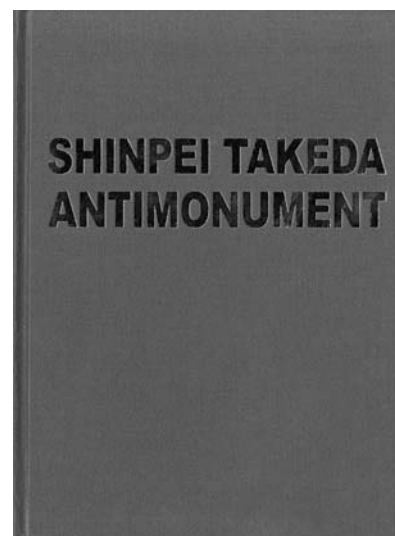
執筆：竹田信平、今福龍太、野中明、マルセラ・キロズ、シュテファン・ア・ヴァンゲン、ダニエル・ルアノバ

翻訳：竹田信平、金子奈美、クリストファー・ステイヴンズ、小長井貴絵・ザシャ&ベアナー、ペペ・ロホ、

ポール・ウォルシュ、メリンダ・チメント

編集・デザイン：長崎県美術館

印刷：株式会社 昭和堂



発行日：2015年11月29日

発行：長崎県美術館

27×20cm、99ページ、ハードカバー、2,500円

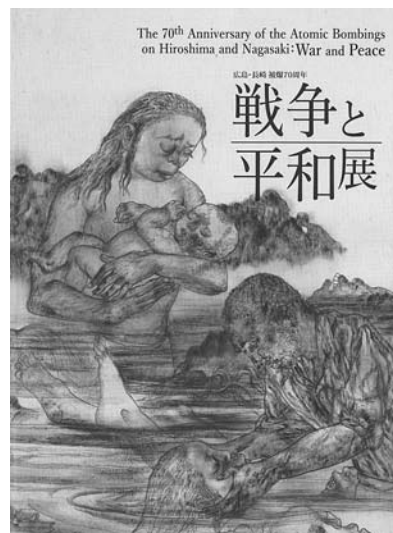
10

広島・長崎 被爆70周年

戦争と平和展

The 70th Anniversary of Atomic Bombings on Hiroshima and Nagasaki

War and Peace



目次

ごあいさつ／Foreword

描かれた戦争と平和——ナポレオン時代を中心として

千足伸行（広島県立美術館 館長）

〈戦争の世紀〉と葛藤する美術——二つの世界大戦とその狭間で

河本真理（日本女子大学 教授）

広島・長崎における希望の表象——生き残るイメージ

山下寿水（広島県立美術館 学芸員）

図版

I 総力戦の先触れ——ナポレオン戦争の栄光と悲惨

II 最初の総力戦と次なる戦争の予感——第一次世界大戦と両大戦間期の美術（1914～1938）

III 史上最大の戦争と破局の表象——第二次世界大戦と美術（1939～1945）

IV 被爆70年——広島・長崎に残された記憶のかたち（1945～）

Commentary on Chapters

Images of War and Peace In and Around the Age of Napoleon

Senzoku Nobuyuki (Director, Hiroshima Prefectural Art Museum)

The “Century of War” and Art in Conflict: The Two World Wars and the Years Between

Komoto Mari (Professor, Japan Women's University)

Surviving Images: Representations of Hope in Hiroshima and Nagasaki

Yamashita Hisana (Curator, Hiroshima Prefectural Art Museum)

主要参考文献

出品目録

執筆・編集：広島県立美術館

千足伸行、角田新、石川哲子、藤崎綾、山下寿水、隅川明宏

長崎県美術館

野中明、福満葉子、森園敦、伊藤晴子

学術協力：河本真理

翻訳：クリストファー・スティヴンス

制作・印刷：第一美術印刷株式会社. VS.

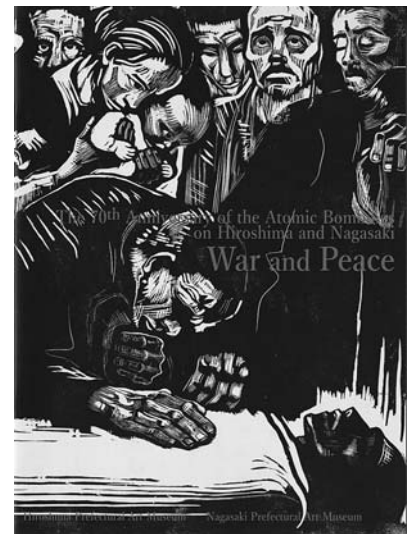
発行：広島・長崎県美術館平和発信事業委員会

29×21cm、213ページ、ソフトカバー、1,800円

The 70th Anniversary of the Atomic Bombings on Hiroshima and Nagasaki
War and Peace

英語版カタログ

編集：広島県立美術館、長崎県美術館
制作・印刷：第一美術印刷株式会社 VS.
発行：広島・長崎県美術館平和発信事業委員会
29×21cm、18ページ、ソフトカバー、500円



戦争と平和展こどもガイド

広島・長崎 被爆70周年

執筆・編集：山下寿水、弘津かおる（広島県立美術館）
発行：広島・長崎県美術館平和発信事業実行委員会
製作・印刷：第一美術印刷株式会社



[その他]

11

長崎県美術館概要

編集：長崎県美術館

デザイン：山崎加代子 (design hehe)

写真撮影：阿野太一 (FWD INC.)、八木拓也 (スタジオライズ) ほか

翻訳：スタンレー・N. アンダソン

印刷：株式会社インテックス

発行：長崎県美術館

A4判、16ページ、パンフレット



12

長崎県美術館 研究紀要 No. 7

Bulletin of Nagasaki Prefectural Art Museum

目次

ハビエル・ポルトゥース講演録

「プラド美術館所蔵 スペイン黄金世紀の静物画——ボデゴンの神秘——」展
記念講演「ベラスケス、肖像を描く画家」(長崎県美術館、2015年4月25日)

ベラスケス、肖像を描く画家

国立プラド美術館 ハビエル・ポルトゥース・ペレス

翻訳 大妻女子大学 貫井一美

Velázquez, pintor de retratos

Javier Portús Pérez, Museo Nacional del Prado

発行：長崎県美術館

印刷：株式会社インテックス

A4判、22、14ページ、ソフトカバー、非売品



目次

1. 沿革・主な出来事
2. 利用者数一覧
3. 展覧会事業
 - 1) 企画展
 - 2) コレクション展
4. 教育普及事業・生涯学習事業
5. 補助金等による事業
6. 収集事業
7. 保存・修復事業
8. 作品貸出記録
9. 調査・研究事業
10. アートボランティア事業
11. 広報マーケティング事業
12. イベント等
13. 貸施設事業
14. ショップ、カフェ
15. 収支
16. 組織
17. 建築概要
18. 基本理念
19. 関係法規

編集：公益財団法人 長崎ミュージアム振興財団

印刷：株式会社昭和堂

発行：公益財団法人 長崎ミュージアム振興財団

A4判、110ページ、ソフトカバー、非売品



10. アートボランティア事業

1) 登録人数 (H28年3月31日現在)

男	18人	13%
女	116人	87%
合計	134人	100%

2) 活動内容

名 称	内 容
共 通	<ul style="list-style-type: none"> ・情報コーナーでの活動 ・イベント補助 ・ボランティア通信作成 ・チラシ等発送作業 ・ポスター掲示配布 ・美術館の清掃 ・自主運営活動 (チャリティー活動、ワークショップなど)
図 書	<ul style="list-style-type: none"> ・図書登録作業 ・書庫資料整理 ・情報コーナーでの活動
学 芸	<ul style="list-style-type: none"> ・コレクション展などの作品解説 ・所蔵作品の情報収集 ・資料整理
運 営	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント補助、来館者誘導案内等
広 報	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシ等発送作業 ・資料整理、新聞切り抜き ・ボランティア通信作成
教 育	<ul style="list-style-type: none"> ・教育普及生涯学習事業補助 (スクールプログラム、ワークショップ、アートクラブ等のサポート) ・アトリエ整備

3) 活動実績

開催時期	内 容
5月31日(日)	ボランティア特別講座「美術館におけるボランティア活動について－他館の事例より－」
5月28日(木)～7月23日(木)	東日本大震災復興支援 チャリティー活動「バナーバッグづくり」
7月26日(日)	東日本大震災復興支援 チャリティー活動「バナーバッグ販売・募金活動」
8月1日(土)	第3期 長崎県美術館アートボランティア認定式
8月1日(土)、25日(火)	ボランティアワークショップ「夏のさわやか絵手紙をつくろう」事前説明会・準備
8月26日(木)、27日(木)	ボランティアワークショップ「夏のさわやか絵手紙をつくろう」
9月17日(木)	情報交換会 (布ぞうり・新聞コサージュ作り)
10月26日(月)	ボランティア通信 Vol. 19発行
10月1日(木)、8日(木)、15日(木)、22日(木)、29日(木)、11月12日(木)	スペイン文化講座 (全6回)
11月19日(木)～26日(木)	スペイン芸術研修
平成28年1月17日(日)	学芸ボランティア「話し方研修」
1月31日(日)	スペイン研修報告会
3月6日(日)	平成27年度ボランティア活動修了式
3月8日(火)、17日(木)、25日(金)	くまのプーさん展関連「ぬりえ&マグネットワークショップ」試作・準備
3月19日(土)、20日(日)、26日(土)、27日(日)	くまのプーさん展関連「ぬりえ&マグネットワークショップ」
3月29日(火)	ボランティア通信 Vol. 20発行

4) 研修、交流会等

(1) ボランティア特別講座「美術館におけるボランティア活動について―他館の事例より―」

概要：

他館の活動の様子と当館の活動とを比較する場を設けることで、今後のボランティアの在り方や活動のヒント等について考えるための講座を開催した。

日時：5月31日(日) 10:30～12:30

会場：ホール

講師：鬼本佳代子（福岡市美術館主任学芸主事）

参加人数：49人



(2) 東日本大震災復興支援 チャリティー活動「バナーバッグづくり」

概要：

使用済みの展覧会告知用バナーをリサイクル素材としてオリジナルバナーバッグを制作する活動。それを販売した売上金は東日本大震災復興支援の義援金とした。社会貢献活動として、多くの当館ボランティアが意欲的に参加した。また、4月から加わった新規ボランティアを交えた交流の場ともなった。

期間：5月28日(木)～7月23日(木)

会場：アトリエ、講座室

参加人数：延べ156人（全25回）

制作個数：362個



(3) 東日本大震災復興支援 チャリティー活動「バナーバッグ販売、募金活動」

概要：

制作したバナーバッグをエントランスロビーで販売した。募金箱も設置し、後日、売上金と併せて全額を全国美術館会議へ寄付した。リピーターを中心に非常に人気が高く、購入希望者が多かったため、入場制限を実施し混乱はなかった。本年度は、募金を頂いた方にボランティア手作りの新聞コースージュをプレゼントする心配りが好評であった。

日時：7月26日(日) 12:30～15:30

会場：エントランスロビー

売上金と募金の合計金額：304,716円



(4) 第3期長崎県美術館アートボランティア認定式

概要：

当館アートボランティア第3期生として、平成27年2月からの約半年間に渡る研修を終えた45人の認定式を実施した。3期生は、平成26年12月の募集終了後、平成27年2月～3月の必修研修と4月～7月の実地研修を経て活動を開始した。学芸ボランティアは、更に専門研修を重ねた後、平成28年3月から活動を開始した。

※「平成26年度 長崎県美術館年報」81ページ「(5)第3期長崎県美術館アートボランティア募集」参照

日時：8月1日(土) 11:30～12:30

会場：ホール

参加人数：45人

(7)スペイン文化講座

概要：

長崎県美術館の収蔵作品であるスペイン美術への理解を深めるとともに、11月のスペイン芸術研修の実施に向けた事前研修として開催した。講師である滝澤修身氏は10年間マドリッドに滞在した経験があり、スペインの美術や文化について、現地での経験も生かした切り口から学ぶことができる機会となった。

日時：10月1日(木)～11月12日(木) (全6回) 18:00～19:30

会場：講座室、アトリエ

参加人数：計125人



	開催日	テーマ	参加人数	講師
第1回	10月1日(木)	「スペインの風土・文化を探る」	21人	滝澤修身 (長崎純心大学 比較文化学科教授)
第2回	10月8日(木)	「スペインの歴史を学ぶ」	26人	
第3回	10月15日(木)	「スペイン芸術を知る」	20人	
第4回	10月22日(木)	「スペインの宗教を考える」	22人	
第5回	10月29日(木)	「スペインで話されている言葉」	16人	
第6回	11月12日(木)	「スペイン研修で見学する美術館」	20人	森園敦 学芸員

(8)スペイン芸術研修

概要：

当館収蔵作品であるスペイン美術への理解を深めるため、スペイン芸術研修を実施した。研修地では、当館と連携しているブラド美術館において、学芸部長のハビエル・ポルトゥース氏や日本人修復家の和田美奈子氏からご対応をいただくなど充実した内容となった。スペイン美術や文化、風土を直接体験する貴重な機会であり、アートボランティアのスキルアップと活動意欲の向上に資する研修となった。

期間：11月19日(木)～26日(木)

日程：

11月20日(金) ブラド美術館、マドリッド市内研修

11月21日(土) ソフィア王妃芸術センター、トレド研修

11月22日(日) ティッセン＝ボルネミッサ美術館

11月23日(月) バルセロナ市内研修

11月24日(火) ピカソ美術館、タピエス美術館、カタルーニャ美術館、ミロ美術館

※11月19日(木)、25日(水)、26日(木)は移動日

参加人数：13人 (他当館職員4人)

(9)スペイン研修報告会

概要：

スペイン芸術研修参加者による研修報告会を実施した。訪れた各美術館や文化施設について、研修での経験や学んだことを発表した。アントニオ・ロペスの代表作の舞台「グランビア」通りや松尾敏男が描いた「トレド」への訪問、また、ピカソ、ミロ、ダリなど当館の収蔵作家の作品をはじめとする、各美術館での良質な作品との出会いなど、現地訪問でしか味わえない貴重な体験についての報告があった。

日時：1月31日(日) 13:00～15:30

会場：ホール

発表者数：13人

参加人数：38人



(10)アートボランティアワークショップ「ぬりえ&マグネット
作りのワークショップ」

概要：

当館ボランティアがサポートして実施したワークショップ。
くまのプーさんのシールとスパンコールで飾ったオリジナル
のマグネットを制作するコースとプーさんのぬりえで遊ぶ
コースの2種類を設けた。夏の絵手紙ワークショップでの経
験が自信となり参加するボランティアが増加するとともに、
ワークショップ利用者への対応の質も向上した。ボランティ
ア活動の更なる活性化と活動意欲の向上を図る取り組みと
なった。

期日：3月19日(土) 3月20日(日) 3月26日(土) 3月27日(日)

時間：10:30~16:30

会場：アトリエ

対象：一般(こども~大人) ※当日受付

参加費：ぬりえ無料、マグネット作り1回100円(見学無料)

参加人数：3月19日(土) 302人 3月20日(日) 374人

3月26日(土) 371人 3月27日(日) 319人

合計1,366人

参加ボランティアの活動日程及び参加人数：延べ78人

期 日	活 動 内 容	参加ボランティア数
3月8日(火)	説明会、試作	15人
3月17日(木)	準備、会場設営、リハーサル	10人
3月19日(土)	ワークショップ(1日目)	11人
3月20日(日)	ワークショップ(2日目)	12人
3月25日(金)	準備、会場設営	7人
3月26日(土)	ワークショップ(3日目)	13人
3月27日(日)	ワークショップ(4日目)	10人

11. 広報マーケティング事業

1) 主要広報記録

テレビ・新聞（展覧会事業は除く）

放送日・発売日	種別	媒体	内容
4月9日	テレビ	OBS 大分「旬感！3ch」	館長出演
4月17日	新聞	大分合同新聞（夕刊）「光れ！アートの新風」③	館紹介
4月28日	新聞	長崎新聞	イブニングライブ10周年記念スペシャル By 長崎大学
4月29日	ラジオ	エフエム長崎「Spicy vox」	はじめてミュージアム
7月10日	テレビ	NHK 総合・九州沖縄「きん☆すた」	美術館から生中継
7月17日	新聞	長崎新聞	「弱虫ペダル」×長崎県美術館
8月4日	テレビ	NHK 総合「いのちのうた」	美術館から生中継
8月14日	新聞	長崎新聞	講演会「弱虫ペダル」～渡辺航先生のルーツを探る～
9月4日	新聞	毎日新聞	ショップ商品紹介（BISCUI 10）
9月5日	新聞	長崎新聞	ショップ商品紹介（BISCUI 10）
9月29日	新聞	西日本新聞	ショップ商品紹介（BISCUI 10）
10月4日	新聞	読売新聞「九州・山口 ぐらしピックアップ」	カフェ紹介
10月21日 10月23日 10月26日	新聞	長崎新聞 中村修二「ミュージアムの挑戦 県美術館10周年」（全3回）	館批評、館長インタビュー
11月7日	新聞	朝日新聞	ショップ商品紹介（BISCUI 10）
11月25日	新聞	長崎新聞	遠隔授業 （南島原市加津佐小学校、韓国・釜山市）
12月23日	テレビ	Eテレ 日曜美術館40年特番「みつけよう、美」	収蔵品紹介（ホセ・グティエレス・ソラーナ《軽業師たち》1930年）
2月1日	ラジオ	NHK ラジオ第一「旅するラジオ」	運河劇場から全国中継
2月22日	テレビ	NBC「報道センター NBC」	遠隔授業 （小値賀町立小値賀中学校、小値賀小学校）
2月23日	新聞	長崎新聞	遠隔授業 （小値賀町立小値賀中学校、小値賀小学校）
3月27日	新聞	長崎新聞「長崎新聞ジュニア版 メクル」	館紹介

雑誌等（展覧会事業は除く）

発売日・掲載日	種別	媒体	コーナー	内容
4月1日	機関誌	ソラタネ 4月号	デザインがつくる豊かな空間 建築をめぐると旅	館紹介
7月15日	ガイドブック	まっふる 長崎・ハウステンボス・佐世保・五島		館紹介
9月1日	月刊誌	クリム 9月号		館紹介
2月5日	月刊誌	防水ジャーナル 2月号	屋上探訪	館紹介
2月27日	月刊誌	ながさきプレス 3月号	特集 しあわせのお菓子	ショップ商品紹介（BISCUI 10）
3月4日	ガイドブック	呼吸九州 九州旅遊2016-17全新版		館紹介
3月10日	ガイドブック	マニマニ 長崎・ハウステンボス・五島列島		館紹介
3月10日		日本の美術館 ベスト200最新案内		館紹介

プレスリリース (58件)

発行日	内 容
4月1日	キッズふれアート はじめてミュージアム
4月9日	「木梨憲武展×20years」3万人セレモニー
4月14日	イブニングライブ10周年記念スペシャル
4月19日	「ブラド美術館所蔵スペイン黄金世紀の静物画——ボデゴンの神秘」オープニングセレモニー
4月22日	「藤城清治展」1万人セレモニー
4月24日	藤城清治氏サイン会中止
5月1日	「スペインの彫刻家 フリオ・ゴンサレス展」
5月6日	「藤城清治展」2万人セレモニー
5月9日	「竹田信平 アンチモニュメント」対談：竹田信平×岡村幸宣
5月20日	「藤城清治展」3万人セレモニー
5月27日	「藤城清治展」4万人セレモニー
6月1日	「フリオ・ゴンサレス展」オープニングセレモニー
6月7日	「戦後70年、被爆70年—瀬戸内寂聴展」
6月19日	「岡村剛一郎のダンボールアート遊園地」
6月25日	「広島・長崎 被爆70周年 戦争と平和展」「竹田信平 アンチモニュメント」
6月26日	バナーバッグチャリティー販売 in 長崎県美術館/2015ながさきみなとまつり「打ち上げ花火」鑑賞/平和の折りトーク&コンサート2015
7月2日	「竹田信平 アンチモニュメント」さるくツアー「モニュメントからアンチモニュメントへ」
7月4日	「弱虫ペダル」×長崎県美術館
7月15日	「瀬戸内寂聴展」開場式
7月22日	「瀬戸内寂聴展」「希望の木」出版記念 山本二三×新井満トークショー/ボランティアワークショップ「夏のさわやか絵手紙をつくろう」
7月25日	「竹田信平 アンチモニュメント」オープニングセレモニー
8月4日	平成28年度県民ギャラリー使用者募集
8月5日	「広島・長崎 被爆70周年 戦争と平和展」
8月6日	「岡村剛一郎のダンボールアート遊園地」開幕
8月18日	「岡村剛一郎のダンボールアート遊園地」1万人セレモニー
8月18日	開館10周年祝い菓子「BISCUIT10」
8月21日	「瀬戸内寂聴展」1万人セレモニー
8月21日	「1° ミナカケル—ミナ ペルホネンの今までとこれから」
8月24日	台風による臨時閉館
8月25日	文化庁メディア芸術祭優秀作品紹介
8月26日	「岡村剛一郎のダンボールアート遊園地」2万人セレモニー
9月15日	「レンブラントハウス美術館所蔵 レンブラント版画名品展」/コレクション展展示替え
9月17日	「戦争と平和展」オープニングセレモニー
10月2日	「1° ミナカケル」オープニングセレモニー
10月2日	「弱虫ペダル複製原画展」
10月27日	長崎・南島原・釜山の3点同時中継による遠隔授業
11月4日	遠隔授業日程変更
11月11日	クリスマスイベント
11月12日	「1° ミナカケル」1万人セレモニー
11月18日	「百花繚乱 中国リアリズムの煌めき」
12月2日	「1° ミナカケル」2万人セレモニー
12月4日	「レンブラント版画名品展」オープニングセレモニー
12月7日	「中国リアリズムの煌めき」オープニングセレモニー/お正月限定お年玉企画
12月26日	コレクション展展示替え
1月8日	「ソフィ・カル—最後のとき/最初のとき」
1月29日	「ソフィ・カル」オープニングセレモニー
2月3日	「くまのプーさん展」
2月15日	平成28年度 展覧会スケジュールのお知らせ
2月15日	コレクション展展示替え
2月16日	小値賀小・中学生との遠隔授業
3月2日	「くまのプーさん展」オープニングセレモニー
3月2日	「ミュシャ展 アール・ヌーヴォーの華」

発行日	内 容
3月23日	「くまのプーさん展」1万人セレモニー
3月24日	春のぼかぼか美術館
3月24日	「ミュシャ展」オープニングセレモニー
3月25日	2016年度子どもアートクラブメンバー募集

2) 広報印刷物

展覧会スケジュールを紹介する「年間スケジュール」、全館広報紙「月間イベントスケジュール」を発行し、展覧会情報及びイベント、貸館、カフェ、ショップ情報を積極的に紹介。公共施設、全国の美術館、各種企業等に広く配布した。また、1週間の美術館情報を集約した「今週のご案内」は館内2箇所に掲示し、週ごとの情報発信を行った。

内容：

- 年間スケジュール（日本語） A3変形、4色/4色、両観音折 42,000部
- 月間イベントスケジュール B4、4色/4色、見開き 24,000部（2,000部/月）
- 今週のご案内 B2、片面2色、毎週月曜日に情報更新



3) ホームページ

webサイトの全面的なリニューアルを行い、平成27年4月1日より公開した。新機能として、主な事業（展覧会、イベント、貸会場）の一覧を表示する週間スケジュールやイベントカレンダーを設置したほか、貸会場の貸出状況を表示できるようにした。また、スマートフォン専用サイトを制作したことにより、アクセス件数は過去最高を記録した。

<http://www.nagasaki-museum.jp>

ページ構成：

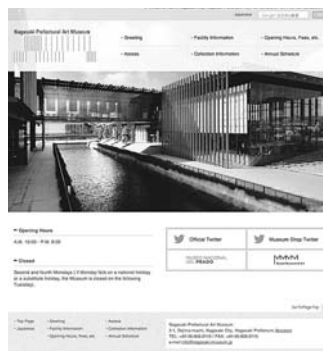
- ・トップページ（週間スケジュール、イベントカレンダー、お知らせ、ピックアップ情報）
- ・企画展（H27年度企画展情報、企画展年間スケジュール）
- ・コレクション展（開催中の展覧会情報、コレクション展及び移動展年間スケジュール）
- ・県民ギャラリー等（貸会場のうち、展覧会を紹介）
- ・学校利用（スクールプログラム学校利用案内）
- ・各種イベント（ワークショップ、講演会等、コンサート、アートビジョン、その他イベント情報）
- ・基本情報（施設情報、料金・アクセス、貸会場、館長あいさつ、コンセプト、沿革、条例、ボランティア、他館との連携、年報、財団財務状況）
- ・所蔵品検索（名品案内、作家検索、作品検索、コレクション展の作品、美術図書検索）
- ・各種申込み（ワークショップ、講演会、メルマガ申込み、会員（プレミアムメンバーズ）、スクールプログラム、貸会場、団体申込み、ミュージアムショップ）
- ・ショップ&カフェ（ミュージアムショップ情報、カフェ情報）
- ・年間会員・寄附（パートナーズ紹介、寄附について）
- ・プログアトリエ便り（教育普及・生涯学習事業の活動紹介）
- ・美術館公式ツイッター
- ・ミュージアムショップ公式ツイッター
- ・美術館公式 YouTube
- ・英語版サイト（館長あいさつ、施設案内、開館時間等、アクセス、収蔵作品案内、年間スケジュール）
- ・リクルート（職員募集等）
- ・リンク（県内主要施設・観光団体・提携美術館・交通機関など17件にリンク）

アクセス件数：

607,046件（1日平均1,659件）



PC用日本語版トップ画面



PC用英語版トップ画面



スマートフォン用トップ画面

4) アートビジョン

展覧会など館主催事業の基本情報、当館賛助会員企業名表記など基本上映を行った。自主企画として、10周年を記念した事業紹介映像、文化庁メディア芸術祭受賞作品の上映を行った。また、パブリックビューイングとして、瀬戸内寂聴展開幕式、ミナカケル展特別対談、県内高校生が出演する野球放送も行った。貸し施設として、NHK 総合テレビ及び長崎ケーブルメディアの番組同時放送、県内高校生の映像作品を上映した。

(1)主な基本上映内容

- ・総合案内映像（美術館基本情報）
- ・展覧会案内（企画展・コレクション展・県民ギャラリー・運河ギャラリーを告知）
- ・美術館ロゴモーショングラフィックス（日本デザインセンター制作）
- ・美術館イメージ映像（高城剛氏制作）
- ・スペースシャワー TV 告知映像
- ・協賛企業名表記

(2)作品上映（全て長崎県美術館主催・視聴無料）

文化庁メディア芸術祭優秀作品上映

概要：「エンターテインメント・アニメーション部門セレクション2015」
平成26年度〔第18回〕のエンターテインメント部門、アニメーション部門の中から厳選された12作品を上映。（約60分）

日時：9月1日(火)～10月31日(土)

11：00～12：02、14：00～15：02



(3)その他上映

No	上映日時	上映時間	上映回数	内容	主催者
1	7月25日(土)	10：00～10：30	1回	瀬戸内寂聴展開場式パブリックビューイング	長崎新聞社、長崎県美術館
2	8月4日(火)	19：30～20：43	1回	NHK 総合テレビ「いのちのうた」同時放送	NHK 長崎放送局
3	8月14日(金)	14：30～	1回	第97回全国高等学校野球選手権大会 創成館高校出場試合同時放送	日本高等学校野球連盟、朝日新聞社
4	10月10日(土)	14：00～15：30	1回	「1 ⁰⁰ ミナカケル」展関連企画 「特別対談：皆川 明×田根 剛」パブリックビューイング	長崎県美術館、KTN テレビ長崎
5	12月16日(水)～20日(日)	10：30～16：00の間	30回	平成27年度長崎県高等学校総合文化祭【美術部門】現代アート部門（映像）優良作品	長崎県高等学校文化連盟美術専門部
6	12月23日（水・祝）	17：00～18：00	1回	「出張なんでんカフェ in けんび」同時放送	長崎ケーブルメディア
7	3月 ①24日(水)、②27日(日)	①14：00～、 ②14：30～	2回	第88回選抜高等学校野球大会 海星高校出場試合同時放送	日本高等学校野球連盟、毎日新聞社

No. 1、3、4、7は主催、その他は貸し施設として上映。

5) 会員事業

(1)メールマガジン

毎月1回メールマガジンを発行。館長コラムや展覧会、イベント情報の他、その他メルマガ会員限定プレゼントなどを実施。メールマガジン登録はホームページより行い、発行履歴はホームページ上に掲載される。

年間発行回数：11回／会員数：1,613人（平成28年3月末）

(2)年間フリーパスポート

- ・コレクション展の年間フリーパス

料金：一般1,200円、大学生900円、小中高生600円、シニア（70歳以上）900円

年間発行実績：9枚

(3)プレミアメンバーズカード（個人会員）

- ・館主催企画展とコレクション展の年間フリーパス
- ・ミュージアムショップ（一部商品を除く）とカフェの料金を10%割引
- ・毎月、月間イベントスケジュール他最新情報を郵送

年会費：5,000円

会員数：926人（平成28年3月末）

(4)ミュージアムパートナーズカード（賛助会員）

- ・館主催企画展とコレクション展の年間フリーパス（1口につきカード1枚発行）
- ・1口につき館主催企画展招待券を50枚、コレクション展招待券を20枚発行
- ・ミュージアムショップ（一部商品を除く）とカフェの料金を10%割引
- ・館内、アートビジョン、およびホームページにて賛助会員リストを記載
- ・毎月、月間イベントスケジュール他最新情報を郵送

年会費：1口50,000円

会員数：52法人・70口（平成28年3月末）

(5)キャンパスパートナーズ（大学会員）

- ・学生証の提示でコレクション展が年間フリーパス
- ・館主催企画展はコレクション展との差額料金（差額が500円を超える場合は500円）。
- ・カフェの料金を10%割引

年会費：

学生数	年会費（税込）
300人未満	30,000円
1,000人未満	80,000円
2,000人未満	150,000円
4,000人未満	250,000円
4,000人以上	350,000円

平成27年度会員：長崎外国語大学、長崎歯科衛生士専門学校

6) 入館者アンケート

アンケート収集方法・・・毎月1～2回（土日祝）、エントランスロビーにてインタビュー方式により収集。

アンケートサンプル数・・・1,074

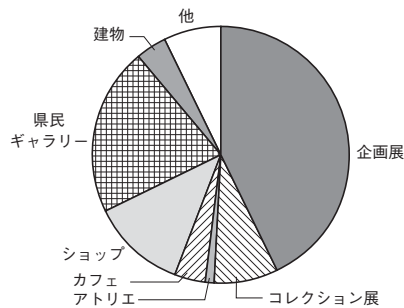
アンケート質問内容

1. 来館目的
2. 満足度
3. 来館回数
4. 基本情報（性別、年齢、居住地）

集計結果：

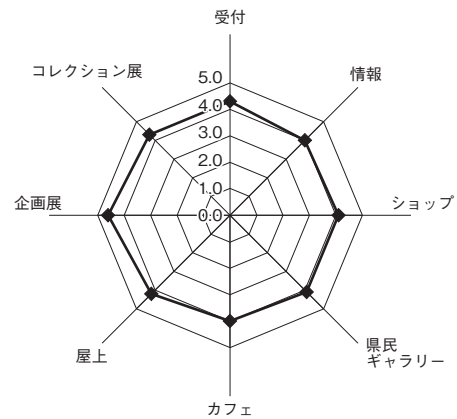
1

来館目的（複数回答）							
企画展	コレクション展	アトリエ	カフェ	ショップ	県民ギャラリー	建物	他
43%	8%	1%	4%	12%	21%	4%	7%



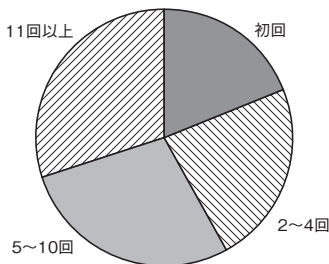
2

満足度（5段階評価）							
受付	情報	ショップ	県民ギャラリー	カフェ	屋上	企画展	コレクション展
4.3	4.0	4.1	4.1	4.0	4.2	4.6	4.3



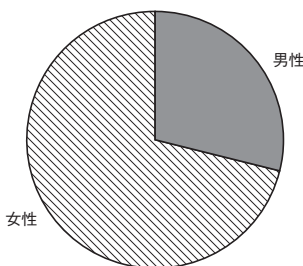
3

来館回数			
初回	2～4回	5～10回	11回以上
19%	23%	28%	30%

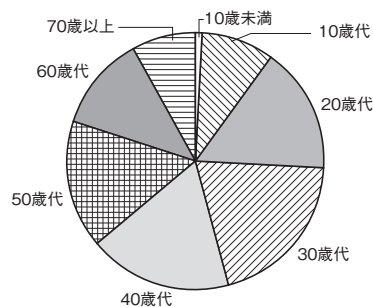


4

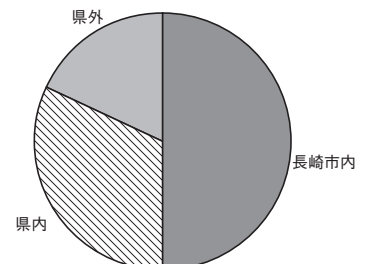
性別	
男性	女性
29%	71%



年齢構成（歳代）							
10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1%	9%	16%	20%	18%	16%	12%	8%



県内外		
長崎市	県内	県外
50%	32%	18%



12. イベント等

1) コンサート・イベント (主催・共催)

(1)イブニングライブ

概要：芸術の発信場所である美術館として、美術はもとより、芸術性の高い音楽を提供する事業として、開館年度である平成17年5月から開催。美術と音楽との融合を目指し、展覧会に沿った内容や季節に応じたコンサートを開催。また展覧会のオープニングセレモニーでの演奏も行う。更に大学との連携事業として、学生の学外における体験型教育の支援事業としても推進するとともに、学生ボランティアの活動の場を提供することで、広く地域との交流を持った事業として展開。27年度は、開催回を記念してスペシャルを行った。

出演：長崎大学教育学部、活水女子大学音楽学部 学生・教員・卒業生

日時：毎月第2・4日曜日 1日2ステージ開催 ※平成27年度(第239回～第258回) ※第235回は大雪のため中止。

会場：エントランスロビー

入場料：無料

総入場者数：3,210人



(2)10周年記念コンサート

①イブニングライブ10周年記念スペシャル By 長崎大学

出演：長崎大学教育学部教員・卒業生

日時：4月26日(日) ①16:30～17:15 ②18:30～19:15

会場：エントランスロビー

入場者数：450人



②イブニングライブ10周年記念スペシャル By 活水女子大学

出演：活水女子大学音楽学部教員



日時：5月10日(日) ①16:30～17:15 ②18:30～19:15

入場者数：270人

会場：エントランスロビー

③長崎県美術館10th Anniversary「沖仁 con 渡辺香津美」

日時：6月22日(月・休館日) 開場18:30 開演19:00

会場：エントランスロビー

主催：長崎県美術館、エフエム長崎

入場者数：240人

入場料：全席自由6,480円(税込)



(3)花火イベント

①2015長崎帆船まつり関連イベント「打ち上げ花火」鑑賞

概要：「長崎帆船まつり」の打ち上げ花火を屋上庭園にて観賞。

日時：4月25日(土)、26日(日)

各日開場20:10、打ち上げ20:30～(15分程度)

会場：屋上庭園

入場料：無料

入場者数：240人

②2015ながさきみなとまつり「花火大会鑑賞会」

概要：「ながさきみなとまつり」の打ち上げ花火を屋上庭園にて観賞。

日時：7月25日(土) 開場20:10、打ち上げ20:30～

※26日は中止

会場：屋上庭園

入場料：無料

入場者数：813人

(4)平和の祈りトーク&コンサート2015 ～長崎から世界へ。次世代へつなぐ平和への思い～

概要：長崎出身の日本画家・松尾敏男氏を中心に長崎を愛するアーティストが、芸術を通してトークと音楽で平和への思いを発信。

出演者：松尾敏男(日本画家)、中西弾(ヴァイオリン)、得

田サトシ（ピアノ）、吉本啓倫（パーカッション）、
家長玲於（チェロ）

日時：8月1日(土) 17:00~18:30

会場：エントランスロビー

入場料：無料

入場者数：200人



(5)文化庁メディア芸術祭優秀作品上映会

概要：平成26年度 [第18回] のエンターテインメント部門、アニメーション部門の中から厳選された12作品を上映

日時：9月27日(日) ①11:00~12:02 ②14:00~15:05

会場：ホール

入場料：無料

入場者数：42人

2) 主催以外のイベント (協力)

(1)横山浩平とミュージカルレビューコンサート~赤い花の記憶 天主堂物語~

概要：信徒発見150年「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」世界遺産登録支援ミュージカル「赤い花の記憶 天主堂物語」(8/11ブリックホールにて開催)のレビューコンサート。

日時：6月7日(日) 18:30~19:00

会場：エントランスロビー

入場料：無料

入場者数：120人

主催：ミュージカル「赤い花の記憶 天主堂物語」実行委員会

(2)STELLER LIGHT CONCERT~長崎県美術館10周年に寄せて~

概要：長崎県美術館10周年に寄せて、美術館ゆかりのスペインの名曲や、ジャズ、ポップスなどのプログラムを七夕の日に実施。

出演者：フルート/永田明 (九州交響楽団)、長崎フルート

コンサート、ギター/山口修、ピアノ/樋口梨絵、
ベース/森しのぶ、ドラムス/関家真一郎

日時：7月7日(火) 19:00~19:40

会場：エントランスロビー

入場料：無料

入場者数：120人

主催：長崎フルートコンサート

(3)市原隆靖 いっちゃん楽しいコンサート

日時：7月19日(日) ①13:00~13:30 ②15:00~15:30

会場：エントランスロビー

入場料：無料

入場者数：160人

主催：「市流」プロジェクト実行委員会

協力：長崎ケーブルメディア

(4)The Late Show of Jazztronik

概要：野崎良太による特定のメンバーを持たないミュージックプロジェクト=Jazztronik。1st作『numero uno』がヨーロッパで人気を博し、日本でも話題となる。今回は Sax/Bass/Piano スタイルでの公演。

日時：10月12日(月・祝) 開場20:00 開演20:30

会場：エントランスロビー

入場料：無料

入場者数：90人

主催：エフエム長崎

(5)ヨーロッパ・ピアノ五重奏団 in 長崎県美術館

概要：世界屈指の名門オーケストラの若手弦楽奏者と、チェコの名ピアニストで構成されたヨーロッパ・ピアノ5重奏団による演奏。「マダム・バタフライフェスティバル2015」(11/15 ブリックホールにて開催)のレビューコンサート。

日時：11月14日(土) 16:00~17:00

会場：エントランスロビー

入場料：無料

入場者数：180人

主催：国際の街・長崎コンサート実行委員会

(6)Fortuna クリスマスコンサート

概要：音楽大学卒業生を中心に作られた Fortuna による女



声合唱。

出演者：女声合唱／Fortuna（フォルトゥーナ）

指揮／加藤豊 ピアノ／吉田真深

日時：12月12日(土) 16：00～16：30

会場：エントランスロビー

入場料：無料

入場者数：120人

主催：Fortuna

(7)BRIDGET お披露目ライブ in 長崎県美術館

概要：7人組のダンス・ヴォーカルグループ「BRIDGET」

（ブリジット）の美術館、初お披露目ライブ。

日時：2016年3月25日(金) 19：00～19：30

会場：エントランスロビー

入場料：無料

入場者数：100人

主催：(株) タクト

13. 貸施設事業

1) 県民ギャラリー

No.	開催期間	展覧会名	展示室	使用者	入場者数(人)
1	4月16日(木)～4月19日(日)	第14回南島原市セミナーヨ版画展長崎巡回展	全室	南島原市セミナーヨ版画祭実行委員会	385
2	(前期)4月28日(火)～5月3日(日) (中期)5月5日(火)～5月10日(日) (後期)5月12日(火)～5月17日(日)	第40回記念長崎県書道展	全室	株式会社長崎新聞社	5,118
3	5月19日(火)～5月24日(日)	第91回白日会展 長崎巡回展	全室	白日会・白日会長崎支部	2,504
4	5月26日(火)～5月31日(日)	尾田芳炎陶芸絵画展「中欧ヨーロッパ」 夢 旅 舞ものがたり	A	一念窯 尾田芳炎	645
5	5月26日(火)～5月31日(日)	第15回「上野彦馬賞」九州産業大学フォトコンテスト受賞作品展	B	九州産業大学・毎日新聞社	931
6	5月26日(火)～5月31日(日)	第4回最上静山書展－現代に甦る古代文字－	C	最上静山	812
7	6月4日(木)～6月7日(日)	第12回長崎県ねんりんピック生きがい作品展	全室	(公財)長崎県すこやか長寿財団	1,418
8	6月9日(火)～6月14日(日)	ハンセン病療養所長崎県出身入所者等の作品展	A	長崎県福祉保健部 国保・健康増進課	800
9	6月9日(火)～6月14日(日)	第13回水彩連盟長崎支部展	B	水彩連盟長崎支部	720
10	6月9日(火)～6月14日(日)	九州産業大学芸術学部・芸術研究科作品展(九芸展)	C	九州産業大学芸術学部	600
11	(前期)6月17日(火)～6月21日(日) (後期)6月24日(火)～6月28日(日)	第46回長崎県美術協会展	全室	長崎県美術協会	2,836
12	6月30日(火)～7月5日(日)	第42回長崎県水彩画展	全室	長崎県水彩画協会	1,385
13	7月7日(火)～7月12日(日)	第34回長崎県美術協会工芸部会員展	A	長崎県美術協会工芸部	966
14	7月7日(火)～7月12日(日)	第32回長崎青房会南画展	B	長崎青房会	1,052
15	7月7日(火)～7月12日(日)	松田安生 彫刻展(手で見る彫刻展)	C	松田安生	1,022
16	7月14日(火)～7月19日(日)	第13回長崎アートフェスティバル	全室	NPO法人長崎市美術振興会	1,056
17	7月22日(水)～7月26日(日)	第50回長崎書道会/第38回師範会書作展合同展	全室	長崎書道会	1,259
18	7月28日(火)～8月2日(日)	おさがりの長靴はいて(五島ふるさと賛歌)廣瀬健司写真展	A	廣瀬健司	1,130
19	7月28日(火)～8月2日(日)	第99回チャールズ会・長崎絵画展	B	チャールズ会・長崎	700
20	7月28日(火)～8月2日(日)	日韓美術交流・長崎展-2015-	C 運河G	NPO法人長崎市美術振興会	1,046
21	8月5日(水)～8月9日(日)	第36回ながさき8・9平和展	全室	ながさき8・9平和展企画委員会	1,802
22	8月12日(水)～8月31日(月)	岡本剛一郎のダンボール遊園地	全室	長崎県美術館	25,040
23	9月13日(日)～9月27日(日)	第60回記念長崎県美術展覧会	全室 企画展示室	長崎県美術展覧会実行委員会	11,928
24	10月1日(木)～10月4日(日)	散展(psy-ten)2015	全室	散展実行委員会	546
25	10月6日(火)～10月11日(日)	第34回長崎現展(現代美術家協会長崎支部展)	A	現代美術家協会長崎支部	943
26	10月6日(火)～10月11日(日)	第49回日本リアリズム写真集団(JRP)長崎支部写真展	B	日本リアリズム写真集団(JRP)長崎支部	886
27	10月6日(火)～10月11日(日)	傘寿記念尾崎木堂書作展(大字かなの歩み)	C	尾崎木堂	1,002
28	10月14日(水)～10月18日(日)	長崎・セントポール姉妹都市交流60周年記念「高校生が写真でつなぐ姉妹都市」～あなたが選ぶ長崎・セントポール～“長崎”そして“セントポール”の人々、暮らし、文化、祭り、風景	A	長崎・セントポール姉妹都市委員会	940
29	10月14日(水)～10月18日(日)	国際公募アート未来第9回長崎支部展	B	国際公募アート未来長崎支部	943
30	10月14日(水)～10月18日(日)	第34回グループ爽かな書作展	C	かな書道 グループ爽	960
31	10月20日(火)～10月25日(日)	第49回長崎市書作家協会展	全室	長崎市書作家協会	832
32	10月27日(火)～11月1日(日)	三菱重工長崎造船所 2015年洋画部作品展	A B	三菱重工長崎造船所 洋画部	1,388
33	10月27日(火)～11月1日(日)	第42回日本水彩画会長崎支部展	C	日本水彩画会長崎支部	1,359
34	11月4日(水)～11月8日(日)	第47回長崎日本大学高等学校デザイン美術科卒業制作展	全室	長崎日本大学高等学校デザイン美術科	2,099
35	(前期)11月12日(水)～11月19日(水) (後期)11月21日(土)～11月29日(日)	第64回長崎市民美術展	全室	長崎市民美術展実行委員会	8,390

No.	開催期間	展覧会名	展示室	使用者	入場者数(人)
36	12月1日(火)～12月13日(日)	純心女子学園創立80周年記念《純心ゆかりの作家・長崎ゆかりの作家》展	全室	学校法人 純心女子学園	2,549
37	12月16日(水)～12月21日(日)	平成27年度長崎県高等学校総合文化祭【美術部門】(第45回長崎県高等学校美術展)	全室	長崎県高等学校文化連盟美術部門	1,901
38	12月22日(火)～12月27日(日)	童美研・児童幼児作品展	A	長崎児童美術研究会	558
39	12月22日(火)～12月27日(日)	日韓国交正常化50周年記念!長崎&釜山日韓交流写真展	B	日韓国交正常化50周年記念!長崎&釜山日韓交流写真展実行委員会	644
40	12月22日(火)～12月27日(日)	三菱重工グループ「子どもスケッチ大会」	C	三菱重工株式会社長崎造船所	500
41	1月6日(水)～1月10日(日)	第35回長崎県美術協会洋画部会員展	A B	長崎県美術協会洋画部	1,643
42	1月6日(水)～1月10日(日)	大浦澄泉先生 遺墨展	C	墨融会	703
43	1月14日(木)～1月24日(日)	第11回 長崎県選抜作家美術展	全室	長崎県選抜作家美術展運営委員会	2,601
44	1月26日(火)～1月31日(日)	第61回長崎県小・中学校児童生徒美術作品展「子ども県展」	全室	長崎県教育委員会 長崎県造形教育研究会	4,016
45	2月2日(火)～2月7日(日)	第65回長崎市小中学校連合美術展	全室	長崎市中学校書写研究部 共催 長崎市教育委員会	14,690
46	2月9日(火)～2月14日(日)	第10回地域開放講座西高絵画教室 かわの会	A	地域開放講座西高絵画教室 かわの会	1,937
47	2月9日(火)～2月14日(日)	友友展(僚さんの絆展)	B	友友展実行委員会	1,451
48	2月9日(火)～2月14日(日)	活水女子大学生生活デザイン学科作品展	C	活水女子大学生生活学部生活デザイン学科	1,118
49	2月16日(火)～2月21日(日)	第10回タナカタケシ油絵教室作品展	A	タナカタケシ油絵教室	976
50	2月16日(火)～2月21日(日)	第17回長崎県合同押花作品展	B	長崎つばき押花会	986
51	2月16日(火)～2月21日(日)	第16回西の会展	C	加野絵画研究室	1,739
52	2月23日(火)～2月28日(日)	第34回長崎県美術協会日本画部合同展	A B	長崎県美術協会日本画部	1,138
53	2月23日(火)～2月28日(日)	長崎県美術協会 第14回写真部会員展	C	長崎県美術協会写真部	1,340
54	3月1日(火)～3月6日(日)	NPO 法人長崎市美術振興会第27回南画部展	A	NPO 法人長崎市美術振興会南画部	849
55	3月1日(火)～3月6日(日)	NPO 法人長崎市美術振興会洋画部展 MINI	B	NPO 法人長崎市美術振興会洋画部	925
56	3月1日(火)～3月6日(日)	第19回池田勉写真展「長崎のクリシタン・潜伏と承継の祈り」	C	イケベン事務所	1,000
57	3月12日(土)～4月17日(日)	くまのブーさん展	全室	長崎新聞社	18,293
県民ギャラリー入場者数合計					147,000

2) ホール等

No.	使用日	行事名	会場	使用者
1	4月10日(金)	平成27年度学校法人 川島学園 入学式	ホール 講座室	学校法人 川島学園
2	4月22日(水)	STAR-T キャラバンセミナー	ホール	ダイキンHVACソリューション九州(株)長崎支店
3	4月29日(水)	モバイルワークショップ	講座室	株式会社長崎新聞社
4	5月3日(日)～5月10日(日)	第6回長崎写真コンクール入賞作品展	運河ギャラリー	長崎の教会群インフォメーションセンター
5	5月19日(火)～5月24日(日)	日本刺繍光緒会展	ホール	日本刺繍光緒会
6	5月25日(月)	第58回理事会	講座室	長崎日仏協会
7	6月24日(水)～6月28日(日)	こまつゆきこ いとまきあそび	運河ギャラリー	こまつゆきこ
8	6月29日(月)	ダイキン省エネ・節電セミナー	ホール	ダイキンエアテクノ株式会社九州支店
9	7月11日(土)	出島と表門橋シンポジウム	ホール 講座室	長崎市文化観光部出島復元整備室
10	7月20日(月)	第20回長崎県子ども舞台芸術祭典「たっちゃんの紙芝居ライブ」	ホール	ながさき子ども劇場
11	7月23日(木)～7月26日(日)	Art Jamming (透力シソウ)	運河ギャラリー	INDIES ART CLUB and GALLERY
12	7月28日(火)～8月2日(日)	日韓若者作品展	運河ギャラリー	日韓美術交流展実行委員会
13	8月4日(火)～8月9日(日)	ポルトガル作家 VÍOR ESPALDA 展	運河ギャラリー	Pray for Piece 実行委員会
14	8月6日(水)	長崎インテリアコーディネーター協会	講座室	第8回 世界中の壁紙 インテリアって楽しい!! モバイルアート作り
15	8月14日(金)～8月16日(日)	日本の伝統工芸 鍋島緞通展	運河ギャラリー	吉島伸一鍋島緞通株式会社
16	8月21日(金)～8月23日(日)	NAGASAKI ART ふらっと。	運河ギャラリー	INDIES ART CLUB and GALLERY
17	9月20日(日)～9月23日(水・祝)	智書展 (さとりしよてん)	運河ギャラリー	智ちゃん先生商店
18	9月23日(水・祝)	定期演奏会	ホール	長崎フルートコンソート
19	10月12日(月・祝)	The Late Show of Jazztronik	エントランスロビー	株式会社エフエム長崎
20	10月17日(土)～10月18日(日)	Love fes2015	運河劇場	株式会社テレビ長崎
21	10月24日(土)～10月25日(日)	Art Jamming 2	運河ギャラリー	INDIES ART CLUB and GALLERY
22	11月2日(月)～11月7日(土)	長崎デザインアワード2015	エントランスロビー	長崎県産業デザインネットワーク
23	11月10日(火)～11月23日(月・祝)	浜和幸写真展～バリ・長崎 異国との出会い～	運河ギャラリー	浜和幸写真展実行委員会 協力/長崎大学写真部
24	11月28日(土)	第5回 出島復元連続シンポジウム	ホール 講座室	長崎市文化観光部出島復元整備室
25	11月29日(日)	国際ロータリー2740地区 長崎ローターアクトクラブ45周年記念式典	ホール 講座室	長崎ローターアクトクラブ
26	12月12日(土)～12月13日(日)	SD レビュー入選記念 スペシャルデザインセッション 佐々木翔	運河ギャラリー	長崎都市・景観研究所
27	12月13日(日)	KTN×FM 長崎 朗読会2015～愛をつないで～	ホール	株式会社テレビ長崎
28	12月15日(火)～12月19日(土)	WooRi、平和の泉を訪ねて	運河ギャラリー	昌原大学校芸術大学有志団体 WooRi
29	12月19日(土)～1月6日(水)	ホーランドジャポニズム展	ホール	ホーランドジャポニズム展実行委員会
30	12月22日(火)	第31回長崎県地域文化章授与式	エントランスロビー 講座室	長崎県文化観光国際部文化振興課
31	12月23日(水・祝)	生中継「出張!なんでんカフェ in けんぴ」	エントランスロビー	株式会社長崎ケーブルメディア
32	1月22日(金)～1月27日(水)	第27回長崎県まちづくりの絵コンクール作品展展示会	運河ギャラリー	長崎県都市計画課
33	1月23日(土)	三和幼稚園・キンダーガルデン作品展	アトリエ	三和幼稚園
34	1月29日(金)～31日(日)	どんぐりっこ作品展	運河ギャラリー	長崎市立小学校校長会 特別支援教育研究部 西部ブロック
35	2月1日(月)	NHK ラジオ番組「旅ラジ!」公開放送	運河劇場	NHK 長崎放送局
36	2月7日(日)	山王保育園 造形作品展	運河ギャラリー	社会福祉法人 山王保育園
37	2月11日(木・祝)～2月14日(日)	長崎工業高校インテリア科作品展	運河ギャラリー	長崎県立長崎工業高等学校インテリア科
38	2月13日(土)	長崎大学長崎奏楽堂を活用したアートマネジメント育成事業	講座室	長崎奏楽堂アートマネジメント講座
39	2月15日(月)	Rie's やさしい YOGA	運河ギャラリー	やさしい YOGA 教室
40	2月18日(木)～2月21日(日)	平成27年度ながさきユニバーサルデザインアイデアコンクール作品展展示会	運河ギャラリー	長崎県福祉保健課
41	2月23日(火)～2月28日(日)	長崎市美術振興会日本画部 小品展	運河ギャラリー	長崎市美術振興会日本画部
42	3月4日(金)	コリアンユースフェスティバル2016	講座室	在日韓国青年同盟
43	3月9日(水)	平成27年度 学校法人川島学園 卒業証書授与式	ホール 講座室	学校法人 川島学園
44	3月12日(土)	世界腎臓デーイベント キドニーウォーク2016	運河劇場	長崎市健康づくり課
45	3月29日(火)～4月3日(日)	めし椀グランプリ展	エントランスロビー	めし椀グランプリ展実行委員会

14. ショップ、カフェ

1) ショップ事業

売上実績は、計画比140%・前年比138%の92,667千円と過去最高実績となった。要因としてミナカケル展特設ショップの貢献度が大きく、多くの来場者がブランドの良質なものづくりに共感し購買動機につながった。

また、開館10周年を機に開発した「長崎県美術館 BISCUT 10」や「ねこ」「椿」といった長崎らしさの伝わる商品が好評であった。

〈売れ筋商品〉

ミナ ペルホネン関連（バッグ類、端切れ、小物等）

長崎県美術館 BISCUT10

長崎県美術館まちねストラップ&キーホルダー

福来椿（真珠付きストラップ）

	利用者数	来館者利用割合	年間収入額
1Fショップ	23,504人	6.0%	44,344千円
特設ショップ	18,779人	4.8%	48,323千円
合計	42,283人	10.9%	92,667千円

2) カフェ事業

売上実績は、計画比83%・前年比91%の24,015千円となり収益も△5,240千円と大幅赤字計上となった。

原価率・人件費率の増加によるものや多客想定時期の展覧会来場数が伸び悩んだことが要因にあげられる。

3月中旬よりフードメニューを廃止しスイーツ中心のカフェへとリニューアルをかけるなどの赤字体質脱却策に取り組んだ。

利用者数	来館者利用割合	年間収入額
28,748人	7.4%	24,015千円

平成27年度

長崎県美術館年報 No. 10

2017年 3月発行

編集・発行：長崎県美術館（公益財団法人 長崎ミュージアム振興財団）

〒850-0862 長崎市出島町2番1号

TEL 095 - 833 - 2110 / FAX 095 - 833 - 2115

印刷：株式会社昭和堂

©Nagasaki Prefectural Art Museum, 2017

長崎県美術館



Nagasaki Prefectural Art Museum